

令和 8 年度

白石町当初予算説明資料

主要事項内容説明書

目 次

各 課 の 主 要 事 項 説 明

《 一般会計予算 主要事項説明 》

【総務課】

広報戦略推進事業	1
防災費	2

【企画財政課】

ふれあい郷管理費	3
----------	-------	---

【総合戦略課】

地域づくり推進費	4
地域づくり協議会設置支援事業	5
地域づくり団体設立・活動支援事業	6
地域おこし協力隊推進事業	7
しろめしデジタル商品券(補足)給付事業	【新】.....	8
結婚新生活支援事業	9
住まいる”しろいし”応援事業	10
空き家・空き地バンク事業	11
地域創造型アスリート支援プロジェクト	【新】.....	12
土地政策推進費	13
企業誘致対策推進費	14

【住民課】

国民健康保険事業費	15
後期高齢者医療事業費	16

【保健福祉課】

予防接種事業費(成人関係)	17
成人検診事業費	18

【(仮称)こども課】

子どもの医療事業費	19
私立保育園費	20
認定こども園費、福富こども園・六角保育園施設整備費補助金	21-23
保育対策総合支援事業、医療的ケア児保育支援事業	【新】.....	24・25
学童保育事業費	26
地域子育て支援事業費	27
こども誰でも通園事業費	【新】.....	28
母子健康診査事業	29
産後ケア事業	【新】.....	30
こども家庭センター事業費	31
予防接種事業費(母子関係)	32

【長寿社会課】

障害者自立支援給付費	33
障害児通所支援給付費	34
重度心身障害者医療給付費	35
相談支援事業所自動車・備品購入費補助事業	【新】.....	36
敬老の日記念事業費	37
生きがい活動支援通所(デイサービス)事業	38

【生活環境課】

地域猫活動推進事業	【新】.....	39
SAGAゼロカーボン加速化事業	【新】.....	40
廃棄物処理事業	41
物価高騰等に伴う水道料金特別減免事業	【新】.....	42
浄化槽整備推進事業費	43
下水道事業推進費	44

【農業振興課】

新規農業就業者対策支援事業	・・・	45-47
しろいし農業塾	・・・	48
白石町良質米生産事業	【新】・・・	49
ブランド化農産物作付拡大推進事業	・・・	50
スマート農業機械導入推進事業	・・・	51
肥育素牛生産拡大施設等整備事業費補助金	【新】・・・	52

【商工観光課】

ふるさと応援事業費	・・・	53
しろいしブランド確立対策事業	・・・	54
道の駅しろいし推進事業費	・・・	55
観光費	・・・	56

【農村整備課】

基幹水利施設ストックマネジメント事業費	・・・	57
地域農業水利施設ストックマネジメント事業費	・・・	58
クリーク防災機能保全対策事業費	・・・	59
土地改良施設維持管理適正化事業	・・・	60
幹線水路維持管理事業費	・・・	61
農業生産基盤改善対策事業費補助金	・・・	62
多面的機能支払交付金事業	・・・	63
基盤整備促進事業(農道整備)	・・・	64
白石町基盤整備促進事業	・・・	65
森林環境基金事業費	・・・	66
林道維持費	・・・	67
漁港整備事業費	・・・	68

【建設課】

道路改築・修繕事業	・・・	69
道路新設改良費	・・・	70
通学路整備事業	・・・	71
交通安全施設費	・・・	72
道路メンテナンス事業	・・・	73
住民協働・道路等環境整備事業費	・・・	74

道路維持費	・・・	75
河川総務費	・・・	76
住宅浸水対策事業	・・・	77
公営住宅ストック総合改善事業改善事業	【新】・・・	78
分譲住宅地整備事業	・・・	79

【学校教育課】

フリースクール就学支援事業	【新】・・・	80
学校ICT教育推進費	・・・	81
AIの活用による英語教育強化事業	・・・	82
国際教育交流事業	【新】・・・	83
中学校体育館空調整備費	【新】・・・	84
閉校施設管理費	【新】・・・	85
学校給食運営費	・・・	86
学校給食材料費	・・・	87

【新しい学校づくり課】

新しい学校づくり事業	・・・	88
部活動新たな環境づくり事業	・・・	89
遠距離通学者支援事業費	・・・	90
白石地域新設小学校施設整備費	・・・	91
福富小学校施設整備費	・・・	92

【生涯学習課】

須古城跡総合調査事業費	・・・	93
文化活動推進・文化財保護費	・・・	94
歴史文化史編さん事業費	【新】・・・	95
スポーツ人材育成補助事業費	・・・	96
旧有明公民館跡地整備事業	・・・	97

■令和8年度起債充当事業一覧	・・・98・99
■令和8年度ふるさと寄附金充当事業一覧	・・・100・101
■令和8年度地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費及びその他社会保障施策に要する経費	・・・102

《 特別会計予算 主要事項説明 》

【住民課】

国民健康保険特別会計	・・・103～107
後期高齢者医療特別会計	・・・108・109

【生活環境課】

下水道事業会計	・・・110・111
---------	------------

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円	
款	2	項	1	目	9	細事業名	広報戦略推進事業			所属	総務課 広報情報係
目 名 称	広報広聴費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	1,248					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	52
	前年度当初	0	前年度最終	18,700					1,248	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】	施策 33	広報・まちの魅力発信・広聴の推進				
				第 1 節	参加と協働の促進	取組 1	広報の充実				

1 目的

白石町広報戦略に基づき、本町のブランドメッセージである「しろめし町 しろいし町」を活用し町の魅力を発信することで、町のブランディング、町に関わる人のシビックプライドの醸成を図る。

2 事業内容

各種メディア広告、宣材制作等 一式

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
10. 需用費	507	消耗品費	広報用消耗品、チラシ・送付用OPP袋、ブランドシール等 507,000円
12. 委託料	741	その他委託料	各種宣材制作 241,290円 各種メディアPR委託 499,000円 741,000円
合計	1,248		

4 事業の効果

ブランドメッセージ「しろめし町 しろいし町」のPR用動画、各種宣材を活用し、各種メディアやWeb広告などにより積極的にPRを行うことで、町外における町の認知度向上が期待でき、また町内においても町民のシビックプライドの醸成につなげることができる。
町の認知度向上により、特産物販促、移住・定住、観光等の主要施策へ大きな波及効果が期待できる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計				総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円
款	9	項	1	目	4	細事業名	防災費					所属	総務課 危機管理・防災係
目名称	防災費					財 源 内 訳						予算書頁	
予 算 額	13,126					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		130	
	前年度当初		3,371		前年度最終		3,371				8,000	5,126	継 続

第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】	施策 8	防犯対策の推進
	第 2 節	災害に強く安全・安心な生活環境の整備	取組 1	関係機関が連携した防犯体制の強化

1 目的 その他財源 ふるさと基金繰入金
 災害から町民の生命・身体及び財産を保護するため、白石町地域防災計画に基づき防災対策の充実強化を図る。

2 事業内容
 防災会議・・・白石町地域防災計画の作成及びその実施の推進
 防災訓練・・・町主催による防災訓練の実施し、地域の防災力強化を図る
 防災啓発・・・広報又はホームページ、SNSによる情報提供、出前講座による防災意識の啓発を行う
 災害時用の備蓄品・・・災害に備えて避難所用資機材の整備、また、食糧や飲料水等の計画的な備蓄を実行する
 白石町防災ハザードマップの作成・・・防災情報や浸水想定等の見直しにより、新たな情報を反映したハザードマップを作成する。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明	
1.報酬	72	非常勤職員報酬	防災会議委員報酬	72,000 円
8.旅費	12	費用弁償	防災会議委員費用弁償	12,000 円
10.需用費	745	消耗品費	災害対策用消耗品、防災訓練消耗品 災害用備蓄食料、衛生用品等	245,000 円 500,000 円
11.役務費	2,268	通信運搬費	緊急用電話料・FAX	72,000 円
		その他保険料	災害対策費用保険(B) ドローン保険	2,141,000 円 55,000 円
12.委託料	9,460	その他委託料	災害時避難者送迎委託料 白石町防災ハザードマップ作成委託料	60,000 円 9,400,000 円
13.使用料及び賃借料	121	機械借上料	災害等対策用(重機借上)	121,000 円
15.原材料費	100	原材料費	災害対策・復旧用土のう(真砂土)	100,000 円
18.負担金、補助及び 交付金	348	負担金	県水難救済会負担金 防災士資格取得負担金	124,000 円 24,000 円
		補助金	自主防災組織資機材等整備事業費補助金	200,000 円
合 計	13,126			

4 事業の効果

災害時における被害の最小化を図るとともに、避難所運営や初動対応体制を強化し、町民の生命と財産を守る実効性の高い防災体制を構築することができる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円																													
款	2	項	1	目	5	細事業名			ふれあい郷管理費																														
目 名 称		財産管理費				財 源 内 訳					所属	企画財政課 財産管理係																											
予 算 額		110,986				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁																												
		前年度当初	164,789	前年度最終	164,789				46,529	64,457	41																												
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 6 章 参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			施策 36	公共施設等の適正管理																																
			第 3 節 健全な行財政運営の推進			取組 1	公共施設等の適正な維持管理																																
1 目的	指定管理者制度により管理運営を行っている有明スカイパークふれあい郷は、令和8年度から令和12年度までの5年間、新たな委託期間となる。施設は、築30年が経過しており、機械設備・設置備品類も老朽化により修繕・交換が必要となってきたため、公共施設等総合管理計画に基づき、今後の施設の在り方について検討が必要である。					その他の財源																																	
						・公共施設維持管理基金繰入金		40,000																															
						・佐賀県市町村振興協会市町村交付金		4,992																															
						・スポーツ振興くじ助成金		1,537																															
2 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理の委託業務 ①5年間の基本協定 ②各年ごとの年度協定 ・施設の修繕及び改修 協定により、委託先法人の修繕額は、経年劣化による軽微なもので100万円以内としており、それ以外は町発注となる。 工事 ・爽明館プール本体改修工事は、令和7年度に完了したが、附随する設備の老朽化対策を含め、今後の利用(小学校の授業利用等)を考慮した改修を実施する。 ・施設のトイレ洋式化改修工事については、現状の和式トイレの3カ所分のスペースに対して洋式トイレ2カ所を設置する。 																																						
3 予算額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>予算額</th> <th>細節</th> <th>内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10.需用費</td> <td>2,000</td> <td>修繕料</td> <td>突発的な修繕工事 2,000,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">12.委託料</td> <td rowspan="3">99,653</td> <td rowspan="3">施設設備管理委託料</td> <td>指定管理委託料 92,753,000 円</td> </tr> <tr> <td>電気料等高騰増額分 5,590,000 円</td> </tr> <tr> <td>法定検査等委託料 1,310,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">14.工事請負費</td> <td rowspan="3">7,333</td> <td rowspan="3">工事請負費</td> <td>ふれあい郷爽明館プール機械室分電盤更新工事 3,353,000 円</td> </tr> <tr> <td>ふれあい郷爽明館プール空調機モーター更新工事 1,980,000 円</td> </tr> <tr> <td>爽明館等トイレ洋式化改修工事 2,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>17. 備品購入費</td> <td>2,000</td> <td>その他備品購入費</td> <td>トレーニング機器 1台 2,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>110,986</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											節	予算額	細節	内容説明	10.需用費	2,000	修繕料	突発的な修繕工事 2,000,000 円	12.委託料	99,653	施設設備管理委託料	指定管理委託料 92,753,000 円	電気料等高騰増額分 5,590,000 円	法定検査等委託料 1,310,000 円	14.工事請負費	7,333	工事請負費	ふれあい郷爽明館プール機械室分電盤更新工事 3,353,000 円	ふれあい郷爽明館プール空調機モーター更新工事 1,980,000 円	爽明館等トイレ洋式化改修工事 2,000,000 円	17. 備品購入費	2,000	その他備品購入費	トレーニング機器 1台 2,000,000 円	合計	110,986		
節	予算額	細節	内容説明																																				
10.需用費	2,000	修繕料	突発的な修繕工事 2,000,000 円																																				
12.委託料	99,653	施設設備管理委託料	指定管理委託料 92,753,000 円																																				
			電気料等高騰増額分 5,590,000 円																																				
			法定検査等委託料 1,310,000 円																																				
14.工事請負費	7,333	工事請負費	ふれあい郷爽明館プール機械室分電盤更新工事 3,353,000 円																																				
			ふれあい郷爽明館プール空調機モーター更新工事 1,980,000 円																																				
			爽明館等トイレ洋式化改修工事 2,000,000 円																																				
17. 備品購入費	2,000	その他備品購入費	トレーニング機器 1台 2,000,000 円																																				
合計	110,986																																						
4 事業の効果	指定管理委託により、施設の維持管理と利用者の利便性に寄与することができる。																																						

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円	
款	2	項	1	目	8	細事業名	地域づくり推進費				所属	総合戦略課 白石創生推進係
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	2,314					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	44・45	
	前年度当初	3,584	前年度最終	3,584						2,314	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 6 章 参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			施策 32	参加と協働の促進				
				第 1 節 参加と協働の促進			取組 1	町民協働によるまちづくり				

1 目的

高校や企業等との連携により人材育成と地域社会の発展を推進すると共に、国際化が進展する中で海外自治体との国際交流や、町内在住外国人との多文化共生を推進する。在京会との交流を深めることにより、ふるさと白石の応援につなげていく。その他、地域づくりに関する一般事務を行う。

2 事業内容

- ・大学や企業との連携協力の包括協定に基づく取り組みを行う。町民グループとの協働による日本語交流教室やイベントの開催により外国人と地域住民との交流を深める。
- ・台湾嘉義県民雄郷と友好協定を締結し、交流を行う。
- ・地域づくり諸会議、研修会、交流会や県内のイベント等への参加により町のPRを行う。地域活性化センターが行う事業への参加、及び助成事業等のPRを行う。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明	
7. 報償費	190	謝礼及び謝金	産官学連携事業、多文化共生事業等	10,000 円
			台湾交流事業 通訳謝金	100,000 円
			台湾交流事業 添乗員謝金	80,000 円
8. 旅費	1,620	特別旅費	東京白石ふるさと会参加旅費	180,000 円
			関西福富会参加旅費	90,000 円
			台湾交流事業 旅費	1,350,000 円
10. 需用費	340	消耗品費	ふるさと会消耗品費	200,000 円
			多文化共生、国際交流、地域づくり推進消耗品費	140,000 円
11. 役務費	70	通信運搬費	台湾交流事業 国際宅急便送料	30,000 円
		手数料	台湾交流事業 食事予約手数料	10,000 円
		その他保険料	台湾交流事業 旅行保険料	30,000 円
18. 負担金、補助 及び交付金	94	負担金	地域活性化センター会費	70,000 円
			東京佐賀県人会	22,000 円
			関西佐賀県人会	2,000 円
合 計	2,314			

4 事業の効果

首都圏における白石町のPRや海外自治体との国際交流の遂行ができる。
地域づくりに関する事務の遂行ができる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	有	単位：千円		
款	2	項	1	目	8	細事業名	地域づくり協議会設置支援事業			所属	総合戦略課 白石創生推進係	
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	4,917					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	46	
	前年度当初	4,458	前年度最終	4,458						4,917	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 6 章 参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			施策 32	参加と協働の促進				
				第 1 節 参加と協働の促進			取組 1	町民協働によるまちづくり				

1 目的

急激な人口減少や高齢化に伴い、地域では様々な課題が出てきている中、これらを把握し対応する「新しい地域の体制づくり」が必要となっている。このため、まち・ひと・しごと創生総合戦略(基本目標④-1 町民協働のまちづくり)に基づき、これまでの行政主導ではなく、地域住民が主体となって課題解決に取り組むためのノウハウの習得や人材確保の支援を行うとともに、地域住民の積極的な参加の促進により、住民の声を行政に反映できる仕組みを構築する。

2 事業内容

- ・「町民協働によるまちづくり」事業の実施 … 設立に向けた取組地区の支援、町全域での「地域づくり協議会」設立に向けた取組。
- ・地域づくり協議会設立後の運営支援 … 活動交付金、話し合いや活動への参加、情報発信、協議会同士の意見交換や情報共有。
- ・研修会の実施 … 取組地区や職員を対象にした研修、視察等。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
7. 報償費	60	講師謝金	講師謝金 50,000円
		謝礼及び謝金	視察研修謝礼 10,000円
10. 需用費	200	消耗品費	消耗品等 100,000円
		印刷製本費	地域づくり協議会設立チラシ 100,000円
12. 委託料	3,000	その他委託料	地域づくり協議会設立支援業務委託料 3,000,000円
13. 使用料及び賃借料	30	会場使用料	地域づくりワークショップ 30,000円
18. 負担金、補助及び交付金	1,627	交付金	地域づくり協議会活動交付金(3地区) 1,627,000円
合 計	4,917		

4 事業の効果

- ・町民と行政の協働体制の確立。
- ・地域の誰もが活躍できる社会の実現。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円			
款	2	項	1	目	8	細事業名			地域づくり団体設立・活動支援事業	所属	総合戦略課 白石創生推進係	
目 名 称		地域づくり推進費				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		1,540				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	46	
		前年度当初	1,500	前年度最終	1,500		700			840	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 6 章	参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			施策 32	参加と協働の促進				
			第 1 節	参加と協働の促進			取組 1	町民協働によるまちづくり				

1 目的

まち・ひと・しごと創生総合戦略(基本目標④-1 町民協働のまちづくり)に基づき、住民団体等が行う地域に存在する自然、人等の地域資源を活かした自発の地域づくりの取り組みを支援する。

2 事業内容

CSO(行政区、公民館等の地域住民で構成される組織、NPO法人、住民活動団体、ボランティア団体など)が行う地域の活性化に資する取り組みに対し、予算の範囲内で補助金を交付する。

- ① 白石町さが未来アシスト事業費補助金【補助率】90%(県50%、町40%、実施主体10%)
- ②-1 白石町地域づくり団体設立・活動支援事業費補助金【補助率】90%(町90%、実施主体10%) ※60千円を上限
- ②-2 白石町地域づくり団体設立・活動支援事業費補助金(連携枠)【補助率】90%(町90%、実施主体10%) ※100千円を上限

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18. 負担金、補助 及び交付金	1,540	補助金	・白石町さが未来アシスト事業費補助金 1,260,000円 ・白石町地域づくり団体設立・活動支援補助金 280,000円
合 計	1,540		

4 事業の効果

CSO活動の活性化と町と協働するパートナーの創出が図れる。
地域資源の活用による地域活性化が図れる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円	
款	2	項	1	目	8	細事業名	地域おこし協力隊推進事業			所属	総合戦略課 白石創生推進係
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	16,094					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	47
	前年度当初	8,050	前年度最終	8,050					16,094	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 6 章 参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			施策 32	参加と協働の促進			
				第 1 節 参加と協働の促進			取組 1	町民協働によるまちづくり			

1 目的

第3期白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、令和7～10年度までの4年間で5人の地域おこし協力隊隊員を採用する目標を掲げている。
そのため、地域おこし協力隊を活用して地域活性化の推進や各事務事業の充実を図るとともに、将来的に任期終了した隊員の地域への定住・定着を目指す。

2 事業内容

【地域おこし協力隊導入】令和8年度は、1企画(活動テーマ)に1人の採用に向け、下記①②③を行う。また、着任中の隊員の伴走支援を行っていく。

- ①企画作成(協力隊制度および現状の確認、活動テーマの設定、活動地域のリサーチおよび企画の骨組みづくり、地域内での一定の同意)
- ②募集戦略(具体的な業務内容と人物像の設定、具体的な募集条件と選考プロセスの設定、募集要項と募集計画の確認)
- ③募集採用(取材撮影、1次選考と2次選考の準備、採用振り返りと着任準備) ※2次選考は、おためし地域おこし協力隊を活用

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明	
1. 報酬	6,310	非常勤職員報酬	隊員分 基本給、時間外 隊員④移住・定住担当 隊員⑤高校生居場所づくり担当	6,310,000円
4. 共済費	1,086	職員共済組合負担金 社会保険料 雇用保険料 共済組合事務費負担金	隊員分 隊員分 隊員分 隊員分	412,000円 592,000円 70,000円 12,000円
8. 旅費	467	費用弁償 普通旅費 特別旅費	隊員分 随員職員分 隊員募集イベント参加旅費	46,200円 240,000円 180,000円
10. 需用費	20	消耗品費		20,000円
12. 委託料	5,600	その他委託料	地域おこし協力隊導入業務委託料(1企画) 地域おこし協力隊日々のサポート支援委託料(3名分)	4,300,000円 1,300,000円
13. 使用料及び賃借料	160	その他使用料	隊員募集イベント出展料	160,000円
18. 負担金、補助及び 交付金	2,468	補助金	地域おこし協力隊住宅賃補助金 地域おこし協力隊活動補助金	1,300,000円 1,168,000円
合 計	16,111			

4 事業の効果

- ・地域課題の解決や活性化のために、職員と一緒にチームとなって二人三脚で働いてくれる人材を呼び込むことができる。
- ・十分な募集設計によって適切な人材が採用でき、3年後にその政策の継続を担う人材に成長し担い手になることができる。または事業の受託団体等を立ち上げることも見込める。
- ・行政で把握しきれいいなかった地域内移住者のネットワークや移住希望者のニーズを協力隊を通して知ることができる。
- ・将来的に、任期が終了した隊員の地域への定住・定着が見込める。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	2	項	1	目	8	細事業名	しろめしデジタル商品券(補足)給付事業			所属	総合戦略課 白石創生推進係
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	3,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	47
	前年度当初	0			前年度最終	0	3,000			0	新規
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 6 章 参加と協働で築く町民主体のまち【町民参加・町民協働】			施策	-				
			第 1 節 参加と協働の促進			取組	1				

国庫財源:物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

1 目的

令和7年11月28日付け令和7年度補正予算(第1号)が閣議決定され、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の配分(食料品の高騰に対する特別加算含む)があったため、子育て世帯に対しては18歳以下の子ども一人当たり15,000円のしろめし子育て応援デジタル商品券を給付するが、基準日(R8.2.1)以降の出生者及び転入者に対しても18歳以下の子ども一人当たり15,000円のしろめし子育て応援デジタル商品券を補足給付する。

2 事業内容

エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う、町民の生活支援を図るため、デジタル商品券を子育て世帯へ18歳以下の子ども一人当たり15,000円分を補足給付する。

- ・ 給付対象者 R8.2.2以降に出生及び転入し、住民基本台帳に登録される18歳以下(平成19年4月2日生まれ以降)の子どもの保護者
- ・ 給付額 18歳以下の子ども一人当たり15,000円のデジタル商品券
- ・ 給付方法 スマートフォンでデジタル商品券を取得するためのQRコード付用紙を郵送
- ・ 利用方法 店頭のQRコードを利用者のスマートフォンで読み取り、金額を入力して支払
- ・ 商品券の利用店舗 デジタル商品券の取扱店として登録した白石町内の事業所等
- ・ 商品券の使用期間 予定期間 受取日 ~ R8.8.31(※R7事業で実施する従前のしろめしデジタル商品券と同様)

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
11. 役務費	20	通信運搬費	定形郵便物(再送郵送料等含む) QRコード(アプリ型)110円*(180人)=19,800円
12. 委託料	2,980	その他委託料	デジタル商品券給付事業委託料 (デジタル商品券、システム使用料) 2,980,000円
合 計	3,000		

※積算人口(6か月間の出生者:50~70人)(6か月間の転入者:110~130人)

4 事業の効果

物価高騰の影響を受けた町民生活の負担軽減が図られる。
デジタルを活用した住民サービスに着手できる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円		
款	2	項	1	目	8	結婚新生活支援事業				所属	総合戦略課 白石創生推進係	
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳				予算書頁		
予 算 額	10,550					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	48	
	前年度当初	10,500	前年度最終	15,782			5,200		2,500	2,850	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			施策 1	移住・定住の促進					
			第 1 節 生活基盤の充実			取組 2	移住・定住者への支援					
										その他の財源	ふるさと基金繰入金	
<p>1 目的 まち・ひと・しごと創生総合戦略(基本目標③-1結婚推進対策の充実)に基づき、新婚世帯の新生活を経済的に支援することで希望を叶え、少子化対策及び定住促進に寄与する。</p> <p>2 事業内容 婚姻に伴い新婚夫婦が令和8年4月1日から令和9年3月31日までに支払った結婚新生活のスタートアップに係る費用に対して、支援する。</p> <p>【共通要件】</p> <p>①令和8年1月1日から令和9年3月31日までに婚姻届を提出し、受理された夫婦のいる世帯 ②白石町内に住民登録の上居住している。(愛情プラン選択時は当該住宅の住所で要住民登録) ③他の公的制度による家賃補助等を受けていない。 ④過去にこの補助金を受けていない。</p> <p>⑤補助金の交付を受けてから2年以上白石町に定住する意思がある。 ⑥町税等の滞納がない。 ⑦暴力団等の関係者でない。 ⑧下記の⑨~⑫のいずれか1つを行う。(国庫補助該当者の場合のみ)</p> <p>⑨ライフデザイン支援講座の受講 ⑩医療機関への妊娠・出産に関する相談 ⑪プレコンセプションケアに関する講座の受講 ⑫共家事・子育て講座の受講</p> <p>【対象経費(契約が夫婦いずれかの名義に限る)】 <愛情プラン> I 住宅取得費用 II リフォーム費用 III 引越費用 IV 住宅賃借費用 <円満プラン> V 家具家電購入費用 VI 新婚旅行費用</p> <p>【補助上限額】</p> <p>夫婦ともに29歳以下および夫婦の合計所得が500万円未満(A世帯) 愛情プラン選択の場合60万円 又は 円満プラン選択の場合20万円 夫婦ともに39歳以下および夫婦の合計所得が500万円未満(B世帯) 愛情プラン選択の場合30万円 又は 円満プラン選択の場合20万円 夫婦ともに39歳以下および夫婦の合計所得が500万円以上(C世帯) 愛情プラン選択の場合20万円 又は 円満プラン選択の場合20万円 ※年齢は婚姻日時点</p>												
3 予算額												
節	予算額	細 節		内容説明								
7. 報償費	50	講師謝金		共家事・子育て講座講師謝金 50,000円								
11. 役務費	700	広告料		SNS、CM、雑誌等広告料 700,000円								
18. 負担金、補助及び交付金	9,800	補助金		結婚新生活支援事業補助金 愛情プラン(A世帯) 4,800,000円(国2/3、町1/3) 愛情プラン(B世帯) 3,000,000円(国2/3、町1/3) 愛情プラン(C世帯)、円満プラン(A・B・C世帯) 2,000,000円(町100%)								
合 計	10,550											
4 事業の効果 本町の少子化対策及び定住促進に寄与できる。												

※共家事・子育て講座は、R8からの国庫補助の要件として新たに設定された4つの要件上記の表の⑨~⑫のうちの一つ。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円																																				
款	2	項	1	目	8	細事業名	住まいる”しろいし”応援事業			所属	総合戦略課 重点プロジェクト係																																			
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					予算書頁																																			
予 算 額	26,900					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	48・49																																			
	前年度当初	21,918	前年度最終	31,918					20,000	6,900	継 続																																			
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				施策 1	移住・定住の促進																																							
		第 1 節 生活基盤の充実				取組 2	移住・定住者への支援																																							
											その他の財源 ふるさと基金繰入金																																			
<p>1 目的 まち・ひと・しごと創生総合戦略(基本目標②-2 定住促進、移住支援)に基づき、町内への若者世帯や子育て世帯の住宅取得及び人口減少の抑制を図る。また、各種団体が主催する移住相談会への出展やSNS等を活用し、移住希望者に対し本町の移住支援制度の周知を図る。</p> <p>2 事業内容 補助金を申請する年度の4月1日現在で、夫婦共に39歳以下または中学生以下の子供がいる世帯が住宅を取得する場合に補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ずっと住まいる応援事業補助金 ・ 各種団体が主催する移住相談会への出展および若者世帯や子育て世帯への移住支援施策の情報発信 <p>3 予算額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>予算額</th> <th>細節</th> <th>内容説明</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8. 旅費</td> <td>360</td> <td>特別旅費</td> <td>ふるさと回帰フェア他</td> <td>360,000円</td> </tr> <tr> <td>10. 需用費</td> <td>400</td> <td>印刷製本費</td> <td>移住制度周知用パンフレット等作成費用</td> <td>400,000円</td> </tr> <tr> <td>11. 役務費</td> <td>1,000</td> <td>広告料</td> <td>SNS等を活用した広告料</td> <td>1,000,000円</td> </tr> <tr> <td>13. 使用料及び賃借料</td> <td>140</td> <td>その他使用料</td> <td>ふるさと回帰フェア2026出展料(会場:東京国際フォーラム)</td> <td>140,000円</td> </tr> <tr> <td>18. 負担金、補助及び交付金</td> <td>25,000</td> <td>補助金</td> <td>白石町ずっと住まいる応援事業補助金</td> <td>25,000,000円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>26,900</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4 事業の効果 若者世帯や子育て世帯が定住することにより、人口減少の抑制に寄与することが出来る。</p>												節	予算額	細節	内容説明		8. 旅費	360	特別旅費	ふるさと回帰フェア他	360,000円	10. 需用費	400	印刷製本費	移住制度周知用パンフレット等作成費用	400,000円	11. 役務費	1,000	広告料	SNS等を活用した広告料	1,000,000円	13. 使用料及び賃借料	140	その他使用料	ふるさと回帰フェア2026出展料(会場:東京国際フォーラム)	140,000円	18. 負担金、補助及び交付金	25,000	補助金	白石町ずっと住まいる応援事業補助金	25,000,000円	合 計	26,900			
節	予算額	細節	内容説明																																											
8. 旅費	360	特別旅費	ふるさと回帰フェア他	360,000円																																										
10. 需用費	400	印刷製本費	移住制度周知用パンフレット等作成費用	400,000円																																										
11. 役務費	1,000	広告料	SNS等を活用した広告料	1,000,000円																																										
13. 使用料及び賃借料	140	その他使用料	ふるさと回帰フェア2026出展料(会場:東京国際フォーラム)	140,000円																																										
18. 負担金、補助及び交付金	25,000	補助金	白石町ずっと住まいる応援事業補助金	25,000,000円																																										
合 計	26,900																																													

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円		
款	2	項	1	目	8	細事業名	空き家・空き地バンク事業			所属	総合戦略課 重点プロジェクト係	
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	4,444					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	48	
	前年度当初	4,044	現計予算	6,044		1,080				3,364	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			施策 1	移住・定住の促進			
				第 1 節	生活基盤の充実			取組 1	空き家利活用の促進			

国庫 社会資本整備総合交付金

1 目的

まち・ひと・しごと創生総合戦略(基本目標②-2 定住促進、移住支援)に基づき、町内の利活用できる空き家及び住宅建設が可能な空き地の情報を空き家・空き地バンクHPを通じて町内外に情報発信し、物件の利用希望者と物件所有者をマッチング・成約させることで、町内の空き家・空き地の利活用と移住・定住の推進、及び、地域の活性化を図る。

2 事業内容

「空き家を売りたい、貸したい」、「空き地を売りたい」という物件所有者から申込みを受けた物件を、白石町空き家・空き地バンクホームページに掲載し、「白石町に住みたい」、「空き家や空き地を探している」という人に情報発信を行う。なお物件のホームページへの掲載申込みについては、町と協定を締結している宅地建物取引業者を通じて行う。また、本事業を通じて物件の契約等が成立し、別に定める補助金交付要綱の要件を満たす場合は、奨励金、支援金、及び空き家改修工事費用に対する補助金を交付する。

- ・ 町と協定を締結している宅地建物取引業者(4社)と空き家・空き地バンク制度に関する連絡会議を実施
- ・ 白石町空き家・空き地バンクホームページのシステム(レイアウト等)更新
- ・ 空き家・空き地バンク事業を通じて物件成約となった際の物件の元所有者及び移住者に対する奨励金等の交付

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明	
7. 報償費	44	その他報償費	空き家・空き地バンク連絡会議報償費	43,200円
11. 役務費	100	手数料	システム更新等手数料	100,000円
18. 負担金、補助及び交付金	4,300	補助金	白石町「空き家・空き地バンク物件」流通促進奨励金	2,400,000円
			白石町移住・定住支援「空き家・空き地バンク物件」空き家改修事業補助金	1,200,000円
			白石町「空き地バンク物件」移住定住支援金	700,000円
合 計	4,444			

4 事業の効果

町内に現存する空き家・空き地の利活用により、特定空家になることの防止、及び、本町への移住・定住の推進や地域の活性化に寄与することが出来る。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円		
款	2	項	1	目	8	細事業名	地域創造型アスリート支援プロジェクト			所属	総合戦略課 重点プロジェクト係	
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	55,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	49	
	前年度当初	0			前年度最終	0		55,000		0	新規	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			施策 28	スポーツ・レクリエーションの振興				
			第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実			取組 1	スポーツの振興によるまちづくり				

地方債の名称: 過疎対策事業債

1 目的

令和7年度から運用する「ジムナスティクスホール白石」は、九州最大級を誇る体操競技専用施設であり、全国からアスリートが集う拠点となっている。そのため全国から合宿に参加する競技者を受け入れ、地域交流の場としても活用できる合宿施設の整備を行い、スポーツ振興を軸にした、地域経済活性化、住民との社会的交流促進、全国的な認知度向上、そしてスポーツ文化の育成や地域発展を目的とする。

2 事業内容

合宿所の整備

- ・場所: ジムナスティクスホール白石横 旧部室
- ・事業内容: 実施設計(建築確認申請含)、工事監理業務委託等、改修工事

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
12. 委託料	10,000	その他委託料	合宿所実施設計業務委託等 10,000,000円
14. 工事請負費	45,000	工事請負費	合宿所改修工事 45,000,000円
合 計	55,000		

4 事業の効果

若年層の地域への流入と将来的な定住につながる人口対策、スポーツを通じた地域活力の向上、交流人口・関係人口の増加、地域経済への波及(宿泊、消費、雇用など)に繋がる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円		
款	2	項	1	目	8	細事業名			土地政策推進費	所属	総合戦略課 重点プロジェクト係
目 名 称		地域づくり推進費				財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	2,110				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	50・51	
	前年度当初	50	前年度最終	50		38			2,072	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			施策 2	計画的な土地の利用				
			第 1 節 生活基盤の充実			取組 1	調和のとれた土地の利活用				
						県費	国土利用計画法関連調査委託金	10			
							土地利用規制等対策費交付金	28			
1 目的											
●策定に関すること											
国土利用計画法第8条の規定に基づき、長期にわたって安定した均衡のある土地利用を確保することを目的として第2次「国土利用計画」を策定する。											
●法届出に関すること											
国土利用計画法(昭和49年法第92号)の適切な執行を図るため、同法第23条第1項の規定に違反した事業について、その的確な把握を図るとともに関係者に対し適正な指導を講ずる。											
2 事業内容											
●策定に関すること											
(1)国土利用計画審議会の設置											
国土利用計画策定に関する町長の諮問に応じて調査審議を行い、町議会議員、駐在員等20人以内で構成。											
(2)策定に向けての内容											
審議会の開催、基礎調査、計画策定、パブリックコメントの実施、関係機関との調整など。											
●法届出に関すること											
・町内において、国土利用計画法に基づく届出が必要な面積の土地取引の有無を調査し、無届取引次案が無いが四半期ごとに県土地利用課に報告する。											
・一定面積(都市計画区域内5,000㎡、区域外10,000㎡)以上の土地取引について、国土利用計画法に基づき申請者から届出を受理し、佐賀県知事宛てに意見書を提出する。											
3 予算額											
節	予算額	細節	内容説明								
1. 報酬	480	委員報酬	国土利用計画審議会委員報酬 480,000円								
8. 旅費	80	費用弁償	国土利用計画審議会委員出席費用弁償 80,000円								
10. 需用費	50	消耗品費	土地取引調査に係る事務用消耗品等 50,000円								
12. 委託料	1,500	その他委託料	白石町国土利用計画策定に伴う土地利用現況・構想図作成業務委託 1,500,000円								
合 計	2,110										
4 事業の効果											
国土利用計画法を適正に運用することにより、土地の投機的取引や地価高騰を抑制するとともに、適正かつ合理的な土地利用の確保を図ることが出来る。											

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円	
款	2	項	1	目	8	細事業名	企業誘致対策推進費			所属	総合戦略課 重点プロジェクト係
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					
予 算 額	5,894					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	51
	前年度当初	465	前年度最終	465				3,000	2,894	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 3 章 活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			施策 22	企業誘致			
				第 2 節 商工業の振興			取組 1	企業誘致の推進			

その他の財源 ふるさと基金繰入金

1 目的

まち・ひと・しごと創生総合戦略(基本目標①-1 企業や教育機関、公共的機関の移転の誘致による雇用の確保)に基づき、町内への企業誘致活動を実施する。町内への企業進出により雇用の場を確保し、若い世代の町外流出を食い止め、地域の活性化を図る。

2 事業内容

- ・ 業界動向や設備投資の情報収集、及び、企業との意見交換による繋がりを確立するため、企業訪問を実施する
- ・ 佐賀県企業立地課及び県内20市町で構成する佐賀県企業立地推進協議会の負担金
- ・ 佐賀県企業立地推進協議会が主催する研修等への参加
- ・ 進出協定締結企業の町内事業所開所に対する支援等

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
8. 旅費	360	特別旅費	企業訪問(首都圏等) 360,000円
10. 需用費	10	消耗品費	企業誘致に係る事務用消耗品等 10,000円
18. 負担金、補助 及び交付金	5,524	負担金	佐賀県企業立地推進協議会負担金 45,000円
		補助金	白石町企業立地促進奨励金 ①雇用奨励金 3,000,000円 ②配置転換者等奨励金 1,800,000円 ③事業所開所支援補助 250,000円 ④事業所等賃料補助金 429,000円
合 計	5,894		

4 事業の効果

県及び佐賀県企業立地推進協議会の構成市町と連携しながら企業訪問を行い、本町への企業誘致の機運醸成を図ることが出来る。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円		
款	3	項	1	目	1	国民健康保険事業費				所属	住民課 保険係
目 名 称	社会福祉総務費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	154,767					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	65・66
	前年度当初	165,809	前年度最終	160,008		30,149	71,324			53,294	継 続
第3次白石町総合計画			第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 18	社会保障制度の適正な運用				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 4 節 社会保障の充実			取組 1	国民健康保険制度の健全な運営				
1 目的											
国民健康保険事業費については、保険基盤安定繰出金、事務費等繰出金、財政安定化支援事業繰出金、未就学児均等割保険税繰出金、産前産後保険税繰出金を繰り出し国保財政を支援する。											
2 事業内容											
①保険基盤安定繰出金(保険税軽減分)【法定繰出】											
市町村は、政令の定めるところにより、低所得者に対する保険税軽減相当額を一般会計から国保特別会計に繰り出さなければならないとされている(法第72条の3第1項)。なお、都道府県は、政令の定めるところにより、その繰出金の3/4に相当する額を負担することとなっている。											
②保険基盤安定繰出金(保険者支援分)【法定繰出】											
保険税軽減の対象となった一般被保険者の数に応じて平均保険税の一定割合を公費で補填することにより、低所得者を多く抱える市町村を支援し、中間所得者層を中心に保険税負担を軽減する保険者支援制度が創設され、市町村は、政令の定めるところにより、支援額を一般会計から国保特別会計に繰り出さなければならないとされている(法附則第24条第1項)。なお国、都道府県は、政令の定めるところにより、それぞれの繰出金の1/2、1/4を負担することとなっている。(法附則第24条第2項、第3項)											
③事務費等繰出金【法定繰出】											
国保事業を執行するために必要な国保特別会計の一般管理費・連合会負担金・運営協議会費で支出された額相当分を繰り出している。											
④財政安定化支援事業繰出金【法定繰出】											
被保険者の応能保険料(税)負担能力が特に不足していること、被保険者の年齢構成が高齢者に偏っていることの二つの事由を想定して地方財政措置が講じられている。											
⑤未就学児均等割保険税繰出金【法定繰出】											
未就学児の均等割額5割軽減分を、国、都道府県は、政令の定めるところにより、それぞれの繰出金の1/2、1/4を負担することとなっている。(法第72条の3の2第1項)											
⑥産前産後保険税繰出金【法定繰出】											
出産被保険者の保険税免除分を、国、都道府県は、政令の定めるところにより、それぞれの繰出金の1/2、1/4を負担することとなっている。(法第72条の3の3第1項)											
3 予算額											
節	予算額	細節	内容説明								
27. 繰出金	154,767	国民健康保険特別会計繰出金	国民健康保険保険基盤安定繰出金(保険税軽減分) 75,000,000 円								
			国民健康保険保険基盤安定繰出金(保険者支援分) 57,000,000 円								
			事務費等繰出金 10,071,000 円			財政安定化支援事業繰出金 9,397,500 円					
			未就学児均等割保険税繰出金 2,498,000 円			産前産後保険税繰出金 800,000 円					
合 計	154,767										
4 事業の効果											
国民健康保険事業の安定的な財政運営が図られる。											

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	3	項	1	目	3	細事業名	後期高齢者医療事業費			所属	住民課 保険係
目 名 称	老人福祉費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	531,158					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	79
	前年度当初	506,015	前年度最終	503,110			98,112			433,046	継 続
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 18	社会保障制度の適正な運用				
			第 4 節 社会保障の充実			取組 3	後期高齢者医療制度の充実				

1 目的

後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律により、国民の共同連帯の理念に基づき高齢者の適切な医療の給付等を行い、国民保健の向上及び高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。

2 事業内容

町は、広域連合の経費負担、一定以上所得者分を除いた医療給付費の12分の1の定率負担、保険基盤安定制度の負担等が義務付けられている。

保険基盤安定制度は、低所得者等の保険料軽減分を公費で補填する制度 【保険基盤安定制度の負担割合】

町…1/4

県…3/4

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18. 負担金、補助及び交付金	377,858	負担金	後期高齢者市町定率負担金 373,858,000 円
27. 繰出金	153,300	後期高齢者医療特別会計繰出金	徴収経費等事務費 1,664,000 円
			広域連合共通経費一般会計分 7,316,000 円
			広域連合共通経費特別会計分 13,098,000 円
			保険基盤安定負担金 130,816,000 円
			健康診査事務費 406,000 円
合 計	531,158		

4 事業の効果

後期高齢者医療制度の円滑な運営に寄与する。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	有	単位:千円	
款	4	項	1	目	2	細事業名	予防接種事業費(成人関係)				所属	保健福祉課 健康づくり係
目 名 称	予防費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	47,298					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	90・91	
	前年度当初	105,598	前年度最終	89,328	1,100				46,198	継 続		
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 16	保健体制の充実				
				第 3 節 保健・医療体制の充実			取組 4	感染症等への総合的な対策				
												国庫:新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金
1 目的												
感染症の発生、重症化及びまん延を予防する。												
2 事業内容												
○ 予防接種法による成人の定期接種の実施 高齢者肺炎球菌、高齢者インフルエンザ、新型コロナワクチン、带状疱疹ワクチン 対象者:65歳以上の者(高齢者インフルエンザ・新型コロナワクチン)、65歳の者(高齢者肺炎球菌・带状疱疹ワクチン)、その他 実施方法:佐賀県内の実施医療機関での個別接種												
○ 予防接種健康被害調査委員会(任期2年) 組織:副町長・杵藤保健福祉事務所長・県医師会推薦医師(2名)・地区医師会推薦医師(1名)・学識経験者(1名)												
3 予算額												
	節	予算額	細節	内容説明								
1.	報酬	40	委員報酬	予防接種被害調査委員報酬 40,000円								
8.	旅費	11	費用弁償	予防接種被害調査委員費用弁償 4,000円								
			特別旅費	予防接種従事者研修会 7,000円								
10.	需用費	63	消耗品費	色上質紙(予診票)、書籍代 63,000円								
11.	役務費	774	手数料	審査支払事務手数料 774,000円								
12.	委託料	45,310	その他委託料	予防接種委託料 45,310,000円								
19.	扶助費	1,100	扶助費	予防接種健康被害救済給付金 1,100,000円								
	合計	47,298										
												歳入財源:新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金 国庫:10/10
4 事業の効果												
免疫効果を上げることにより、感染予防と重症化防止につながる。												

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円		
款	4	項	1	目	2	細事業名			成人検診事業費			
目 名 称		予防費				財 源 内 訳					所属	保健福祉課 健康づくり係
予 算 額		28,489				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁	
		前年度当初	29,660	前年度最終	23,803	964	1,141		2,761	23,623	92	
						964	1,141		2,761	23,623	継 続	
第3次白石町総合計画			第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 16	保健体制の充実					
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 3 節 保健・医療体制の充実			取組 2	主体的な健康づくりの推進					
1 目的						その他の財源 各種検診費用徴収金						
<p>がんが町民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状を踏まえ、がん検診を実施し、がんの予防及び早期発見の推進を図ることにより、がんによる死亡率を減少させるとともに、医療費の適正化を図る。</p>												
2 事業内容						がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針(健発第0331058号平成20年3月31日厚生労働省健康局長通知)その他の法令に基づき、がん検診を実施する。						
【検診項目】						<ul style="list-style-type: none"> ■胃がん ■大腸がん ■子宮頸がん ■肝炎ウイルス検査 ■歯周疾患検診 ■肺がん・結核 ■乳がん ■前立腺がん ■骨粗鬆症検診 						
3 予算額												
節	予算額	細 節		内訳説明								
7. 報償費	354	その他報償費		検診通知発送事務	85,000円							
				住民健診受付業務	269,000円							
10. 需用費	425	消耗品費		未受診者勧奨用はがき、検診用品、歯科健康診査票、トナー	130,000円							
		燃料費		灯油代	5,000円							
		印刷製本費		受診勧奨用窓あき封筒、住民健診ガイドブック	290,000円							
11. 役務費	2,047	通信運搬費		受診勧奨通知	1,997,000円							
		手数料		審査支払手数料	46,000円							
		傷害保険料		保健師等(随時勤務)傷害保険料	4,000円							
12. 委託料	25,058	その他委託料		集団・個別検診委託料、歯周病検診委託料	25,058,000円							
13. 使用料及び賃借料	150	その他使用料		検診施設使用料(ふれあい郷)	100,000円							
		その他借上料		検診会場用品リース料	50,000円							
17. 備品購入費	55	備品購入費		ポータブル冷蔵庫購入費	55,000円							
18. 負担金、補助及び交付金	400	補助金		アピアランスケア支援補助金	400,000円							
合 計	28,489											
4 事業の効果						歳入財源		新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業国庫補助金 国庫:1/2 佐賀県健康増進事業費補助金のうち、健康診査費に係る分 県費:2/3 佐賀県アピアランスケア支援事業費補助金 県費1/2				
<p>各種がんの早期発見・早期治療により、がんによる死亡率を減少させ、医療費の適正化を図ることができる。</p>												

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	4	項	1	目	1	細事業名	子どもの医療事業費				所属	保健福祉課(こども課) こども家庭係
目 名 称	保健衛生総務費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	108,670					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	89	
	前年度当初	103,651	前年度最終	107,251			15,967	85,600	101	7,002	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 11	子育て支援				
				第 1 節 子育て支援の充実			取組 1	家庭養育支援体制の整備				

1 目的
出生から高校生までの子どもの医療費助成により、疾病の早期治療と家庭の経済的負担の軽減に努める。

2 事業内容

更なる子育て家庭の経済的負担の軽減を図るとともに、疾病への早期治療を促すため、令和5年度から、子ども医療費助成制度の対象年齢を「15歳年度末」から「18歳年度末」までに拡充し助成を実施している。
助成金額については、医療機関及び保険者ごとに、1月当たり入院は上限1,000円、入院外は上限1回目500円・2回目500円の自己負担を控除した医療費について助成を行う。ただし、薬局は一部負担金を全額助成する。

令和8年度子どもの医療費歳出見込み (単位:千円)

歳出内訳	役務費	扶助費	計
未就学児分	906	23,429	24,335
小中高校生分	1,900	82,435	84,335
ひとり親医療分		7,700	
計	2,806	105,864	108,670

県補助充当	役務費	扶助費	計
未就学児分	453	11,664	12,117
ひとり親医療分	-	3,850	3,850
計	453	15,514	15,967

※未就学児のみ
県補助対象 1/2

地方債の名称 過疎対策事業債
その他の財源 子どもの医療費高額療養費

【扶助費】対象者:出生から高校生まで

支払月	令和6年度		令和7年度	
	件数	金額	件数	金額
4月	4,354	8,771,541	3,642	7,508,855
5月	4,608	9,678,212	4,683	9,636,211
6月	3,715	7,725,510	3,751	8,065,948
7月	4,094	7,801,244	4,186	9,042,583
8月	3,900	8,142,387	3,856	8,201,747
9月	4,575	9,516,121	3,841	9,172,584
10月	3,744	8,271,224	3,719	9,149,057
11月	3,682	7,300,570	3,511	8,337,296
12月	3,777	7,910,387	3,776	8,317,226
1月	4,212	8,246,645	4,213	8,669,141
2月	4,778	9,761,213	4,787	10,326,506
3月	3,810	7,855,494	3,807	8,297,551
計	49,249	100,980,548	47,772	104,724,705

※4月～11月までは実績。12月以降は見込

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明	財源内訳			
				県補助金	地方債	その他	一般財源
11.役務費	2,806	手数料	審査支払手数料 2,806,000円	453			2,353
19.扶助費	105,864	扶助費	ひとり親、重心含む 105,864,000円	15,514		101	90,249
合 計	108,670			15,967	0	101	92,602

※101千円は、高額療養費
(現年分)100千円、(過年度分)1千円

4 事業の効果

出生から高校生までの子どもに対して医療費を助成することで、子どもの疾患の早期発見及び早期治療が出来るとともに、保護者の経済的負担の軽減が図られる。

区分	令和8年度 当初	会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円		
款	3	項	2	目	4	細事業名	私立保育園費		所属	
目 名 称	児童福祉施設費					財 源 内 訳			保健福祉課(こども課) 保育支援係	
予 算 額	398,019					国庫	県費	地方債	その他	一般財源
	前年度当初	281,930	前年度最終	305,908		182,086	91,936		73,800	50,197
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				施策 11	子育て支援			
		第 1 節 子育て支援の充実				取組 3	ニーズに応じた子育て支援サービスの充実			

その他の財源 私立保育園保育料 23,800
ふるさと基金繰入金 50,000

1 目的

家庭での保育に欠ける児童の保育を保護者に代わって実施することにより児童福祉の増進を図る。

2 事業内容

(単位:人、円)

保育園名	利用定員	年 齢 区 分(R7.11.1)										合計	運営費委託料	保育料	国徴収基準		
		0歳		1歳		2歳		3歳		4歳						5歳	
		標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間					標準	短時間
あかり保育園	60	3		7	2	6	2	8	2	7	4	11		52	95,600,000	4,800,000	5,700,000
須古保育園	60	3		4	1	6	1	8	3	3	2	5	3	39	67,200,000	4,200,000	5,100,000
有明ふたば保育園	120	9	1	17		15	1	19	2	19	1	16	3	103	130,700,000	10,000,000	12,000,000
有明わかば保育園	50	5		10		7	1	15	1	7	1	10	1	58	95,600,000	4,800,000	5,700,000
合計	290	20	1	38	3	34	5	50	8	36	8	42	7	252	389,100,000	23,800,000	28,500,000

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
12. 委託料	389,100	その他委託料	私立保育園運営費委託料 389,100,000円
18. 負担金、補助及び交付金	8,919	補助金	私立保育園運営補助金(延長保育) 5,360,000円 特別保育事業補助金 3,559,000円
合計	398,019		

【負担割合】
国1/2 県1/4 町1/4
国1/3 県1/3 町1/3
町10/10

4 事業の効果

安心・安全な保育を実施することができる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円		
款	3	項	2	目	4	細事業名	認定こども園費				所属	保健福祉課(こども課) 保育支援係
目名称	児童福祉施設費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	560,349					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	83	
	前年度当初	507,149	前年度最終	558,063		252,603	148,447		50,000	109,299	継 続	

第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	施策 11 子育て支援
	第 1 節 子育て支援の充実	取組 3 ニーズに応じた子育て支援サービスの充実

その他の財源 ふるさと基金繰入金

1 目的

就学前の子どもに対する保育及び教育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を行うことにより、地域の子育て支援と児童福祉の増進を図る。

2 事業内容

利用定員: 福富こども園(1号15人、2-3号80人)、六角保育園(1号15人、2-3号70人)、ふくたこども園(1号15人、2-3号50人)、みのりこども園(1号10人、2-3号40人)、ありあけ幼稚園(1号30人、2-3号90人)

年齢 (歳児)	教育時間 (1号)				2-3号										①公定価格(年額)		②保育料(年額)		③予算額(①-②)		④国徴収基準額			
	満3	3	4	5	0		1		2		3		4		5		1号	2-3号	1号	2-3号	1号	2-3号	1号	2-3号
	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間								
福富	0	5	7	4	4	0	9	2	5	3	9	1	11	1	9	0								
六角	5	5	4	6	9	1	10	2	11	0	10	0	5	1	10	0								
ふくた	4	6	4	4	5	0	8	1	3	0	8	1	11	0	10	0	168,500	409,800	0	28,400	168,500	381,400	0	34,800
みのり	0	1	0	0	0	0	0	2	8	1	4	1	4	0	5	1								
ありあけ	0	1	2	8	3	0	8	1	11	2	16	2	12	4	16	3								
合計	9	18	17	22	21	1	35	8	38	6	47	5	43	6	50	4	168,500	409,800	0	28,400	168,500	381,400	0	34,800

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明	財源内訳							
				予算額③	公定価格⑤	国徴収基準④	補助対象額 (⑤-④)	財源内訳			
								国庫	県費	その他	一般財源
18.負担金、補助及び交付金	560,349	負担金	認定こども園負担金(1号)	168,500	126,206	0	126,206	63,103	52,697		52,700
			認定こども園負担金(2-3号)	381,400	409,800	34,800	375,000	187,500	93,750		100,150
		補助金	保育対策事業補助金(延長保育)	10,449				2,000	2,000	0	6,449
合計	560,349										

・⑤公定価格の教育認定(1号分)の金額は、①に74.9%を乗じた額
 ・認定こども園運営費負担割合:国庫 1/2、県費 1/4、町 1/4

・教育認定(1号分)の県費補助金には①公定価格の25.1%の1/2が加算される。
 ・認定こども園保育対策事業費負担割合:(延長保育)国庫1/3、県費1/3、町1/3 (特別保育)町10/10

4 事業の効果

安心・安全な保育を実施することができる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円	
款	3	項	2	目	4	細事業名	認定こども園費 (福富こども園施設整備費補助金)			所属	保健福祉課(こども課) 保育支援係
目 名 称	児童福祉施設費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	3,174					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	83
	前年度当初	260,234	前年度最終	240,948		2,116				1,058	継 続
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 11	子育て支援				
			第 1 節 子育て支援の充実			取組 3	ニーズに応じた子育て支援サービスの充実				

1 目的

幼稚園・保育所を利用する園児、保育士、保護者等の保育環境の改善と町民サービスの向上を図る。

2 事業内容

- ・令和7年度完了予定だった福富こども園の園舎改修について、工期延長のため令和8年度までの2か年事業で整備。
- ・国の就学前教育・保育施設整備 交付金交付要綱に基づき、社会福祉法人 いとわに交付する。
- ・既存園舎・・・平成元年4月築 木造平屋建
- ・園舎概要・・・面積1,264.01㎡、木造、利用定員75名(1号15名、2号37名、3号23名)

就学前教育・保育施設整備交付金総事業費	令和7年度 (98.7%)					令和8年度 (1.3%)					国庫補助率 嵩上げの有 無
	総事業費	事業者負担額	白石町補助額	国費	町費	総事業費	事業者負担額	白石町補助額	国費	町費	
347,050	342,538	101,590	240,948	160,632	80,316	4,512	1,338	3,174	2,116	1,058	無

※国補助額はR7単価で算定

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18.負担金、補助及び交付金	3,174	補助金	保育所等施設整備費補助金 3,174,000円

・国の就学前教育・保育施設整備交付金交付要綱に基づく負担割合：国2/4、町1/4、事業者1/4

4 事業の効果

保育環境の改善により、安心・安全な保育を実施することができる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円	
款	3	項	2	目	4	細事業名	認定こども園費 (六角保育園施設整備費補助金)			所属	保健福祉課(こども課) 保育支援係
目 名 称	児童福祉施設費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	300,506					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	83
	前年度当初	260,234	前年度最終	240,948		206,598			93,000	908	継 続
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 11	子育て支援				
			第 1 節 子育て支援の充実			取組 3	ニーズに応じた子育て支援サービスの充実				

地方債の名称 過疎対策事業債

1 目的

幼稚園・保育所を利用する園児、保育士、保護者等の保育環境の改善と町民サービスの向上を図る。

2 事業内容

六角保育園の園舎改修について、令和8年度に整備区分回改築で、国の就学前教育・保育施設整備 交付金交付要綱に基づき、社会福祉法人 北方福祉会に交付する。

既存園舎・・・平成元年4月築 木造平屋建

園舎概要・・・面積1,050.15㎡、木造、認可定員105名(1号15名、2号・3号90名)令和8年度着工、完成予定

就学前教育・保育施設整備交付金総事業費	令和8年度					国庫補助率 嵩上げの有無
	総事業費 (対象内)	事業者負担額 (対象内)	白石町補助額	国費	町費	
475,951	472,008	171,502	300,506	206,598	93,908	有

※国補助額はR7単価で算定

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18.負担金、補助及び交付金	300,506	補助金	保育所等施設整備費補助金 300,506,000円

・国の就学前教育・保育施設整備交付金交付要綱に基づく負担割合：国5.5/10、町1/4、事業者1/5

4 事業の効果

保育環境の改善により、安心・安全な保育を実施することができる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円	
款	3	項	2	目	4	細事業名	保育対策総合支援事業			所属	保健福祉課(こども課) 保育支援係
目名称	児童福祉施設費					財源内訳					
予算額	29,326					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	83
	前年度当初	24,126	前年度最終	21,654			23,795			5,531	継続
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第2章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 11	子育て支援			
				第1節 子育て支援の充実			取組 3	ニーズに応じた子育て支援サービスの充実			

1 目的
地域の実情に応じた多様な保育需要に対応するため、保育人材の確保等に必要な措置を講ずる。

2 事業内容

- ・ 保育補助者雇上強化事業 (補助率 5/6(国:2/3、県1/6)、市町1/6)
保育士の業務負担を軽減し、保育士の離職防止を図ることを目的として、保育士の補助を行う保育補助者(無資格者)の雇上げに必要な費用を補助する。

区分	補助基準額(年額)	
定員が121名未満の施設	平均3未	1,953,000円
	平均3以-7未	2,441,000円
	平均7以	3,255,000円
定員が121名以上の施設	平均3未	3,906,000円
	平均3以-7未	4,882,000円
	平均7以	6,510,000円

要望園	定員	補助金額	要望園	定員	補助金額
あかり保育園	60	2,441,000円	福富こども園	95	2,441,000円
須古保育園	60	2,441,000円	六角保育園	85	2,441,000円
ふくたこども園	65	2,441,000円	有明ふたば保育園	120	2,441,000円
有明わかば保育園	50	2,441,000円	みのりこども園	50	2,039,000円
ありあけ幼稚園	114	2,441,000円	計		21,567,000円

- ・ 保育体制強化事業 (補助率 3/4(国:1/2、県1/4)、市町1/4)
地域住民や子育て経験者などの地域の多様な人材を、清掃業務や遊具の消毒、給食の配膳、寝具の用意、片付けといった保育に係る周辺業務に活用し、保育士の業務負担の軽減を図り、保育士が働きやすい職場環境を整備することを目的として、配置に要する費用の一部を補助する。

区分	補助基準額(月額)
1か所当たり月額	100,000円
1か所当たり月額(園外活動時の見守り等に取り組む場合)	45,000円
1か所当たり月額(スポット支援員の配置を行う場合)	45,000円

要望園	補助金額(年額)	要望園	補助金額(年額)
あかり保育園	1,650,000円	福富こども園	800,000円
六角保育園	1,200,000円	ふくたこども園	1,650,000円
有明ふたば保育園	1,470,000円	ありあけ幼稚園	988,400円
		計	7,758,400円

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18.負担金、補助及び交付金	29,326	補助金	保育対策総合支援事業費補助金 保育補助者雇上強化事業 21,567,000円 保育体制強化事業費 7,759,000円

4 事業の効果

子どもを安心して育てることができる環境整備を行い、もって児童の福祉向上を図る。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円	
款	3	項	2	目	4	細事業名	保育対策総合支援事業 (医療的ケア児保育支援事業)			所属	保健福祉課(こども課) 保育支援係
目 名 称	児童福祉施設費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	5,798					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	83
	前年度当初	0			前年度最終	0		4,348		1,450	新規
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 11	子育て支援				
			第 1 節 子育て支援の充実			取組 3	ニーズに応じた子育て支援サービスの充実				

1 目的

保育所等において医療的ケア児の受け入れを可能とするための体制を整備し、医療的ケア児の地域生活支援の向上を図る。

2 事業内容

医療的ケア児保育支援事業

(補助基準額) 1施設あたり 5,798千円 : あかり保育園
(対象経費) 医療的ケア児保育支援事業を実施するために必要な報酬等 person 費
(補助率) 補助率 3/4(国:1/2、県1/4)、市町1/4

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18.負担金、補助及び交付金	5,798	補助金	保育対策総合支援事業費補助金 医療的ケア児保育支援事業 5,798,000円

4 事業の効果

子どもを安心して育てることができる環境整備を行い、もって児童の福祉向上を図る。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円	
款	3	項	2	目	6	細事業名	学童保育事業費			所属	保健福祉課(こども課) 保育支援係
目名称	子ども・子育て支援事業費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	106,522					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	83・84
	前年度当初	103,725	前年度最終	90,978		30,485	30,485		21,243	24,309	継 続

第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	施策 11 子育て支援
	第 1 節 子育て支援の充実	取組 3 ニーズに応じた子育て支援サービスの充実

その他の財源 放課後児童クラブ負担金 11,243
ふるさと基金繰入金 10,000

1 目的

保育に欠ける小学校児童を対象に、学校終了後から午後7時まで学校の余裕教室等で保育することにより児童の健全育成を図る。

2 事業内容

平日は、放課後から19時まで実施。
長期休暇時は、各クラブで7時40分～19時まで実施。
土曜日は、1箇所(六角小)で7時40分～18時まで実施。

財源内訳:国 1/3、県 1/3、町 1/3

区分	負担金の額(児童一人につき)		区分	負担金の額(児童一人につき)	
継続参加	4月～翌年3月まで(月～金)の参加	月額 3,000円	一時参加	夏季休業日(月～金)	月額 6,000円
	4月～翌年3月まで(月～土)の参加	月額 4,000円		夏季休業日(月～土)	月額 7,000円
	8月(月～金)の参加	月額 5,000円		冬季休業日	月額 3,000円
	8月(月～土)の参加	月額 6,000円		学年末休業日及び春季休業日	月額 3,000円
	延長利用分(午後6時～午後6時30分)	月額 500円		延長利用分(午後6時～午後6時30分)	月額 500円
	延長利用分(午後6時～午後7時)	月額 1,000円		延長利用分(午後6時～午後7時)	月額 1,000円
	申込時間を超えて利用した場合	30分ごと 50円		申込時間を超えて利用した場合	30分ごと 50円

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
1.報酬	68,394	非常勤職員報酬	学童支援員賃金 68,394,000円
3.職員手当等	23,878	期末手当 勤勉手当	学童支援員期末手当 12,977,000円 学童支援員勤勉手当 10,901,000円
4.共済費	2,177	職員共済組合負担金 共済組合事務費負担金	会計年度任用職員共済組合負担金 2,082,000円 会計年度任用職員共済事務負担金 95,000円
8.旅費	1,800	通勤手当	学童支援員通勤手当 1,800,000円
10.需用費	3,043	消耗品費	消耗品費 765,000円
		燃料費	灯油代 158,000円
		光熱水費	電気代 1,400,000円 水道代 190,000円
		印刷製本費	口座振替用紙印刷代 30,000円
		修繕料	修繕料 500,000円

節	予算額	細節	内容説明
11.役務費	313	通信運搬費	携帯電話使用料 288,000円 通知郵送料 18,000円
		手数料	浄化槽法定検査料 5,000円 振込手数料(スポーツ安全保険) 2,000円
		保守点検委託料	浄化槽維持管理委託料 66,000円 消防設備点検委託料 113,000円
12.委託料	209	施設整備管理委託料 その他委託料	害虫駆除シルバー委託 19,000円 浄化槽清掃委託料 11,000円
14.工事請負費	6,600	工事請負費	福富小学童保育室整備工事 6,600,000円
17.備品購入費	100	その他備品購入費	100,000円
18.負担金補助 及び交付金	8	負担金	防火管理者講習受講料 8,000円
合 計	106,522		

4 事業の効果

適切な放課後保育を行うことにより、子ども達の健全育成を図ることができる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円	
款	3	項	2	目	6	細事業名	地域子育て支援事業費				所属	保健福祉課(こども課) 保育支援係
目 名 称	子ども・子育て支援事業費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	21,053					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	85	
	前年度当初	19,929	前年度最終	19,201		7,017	7,017		4,000	3,019	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 11	子育て支援				
				第 1 節 子育て支援の充実			取組 3	ニーズに応じた子育て支援サービスの充実				

その他の財源 ふるさと基金繰入金

1 目的

少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、子供や子育てをめぐる環境が大きく変化するなか、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や負担感の増大といった問題が生じている。子育ての負担感等の緩和を図り、安心して子育て・子育てができる環境を整え、きめ細かな子育て支援サービスを提供し子育て支援機能の充実を図る。

2 事業内容

① 地域子育て支援拠点事業

常設のひろばを開設し、乳幼児とその保護者の相互交流を図る場を提供する。

事業形態 ひろば型、週5日(月曜日～金曜日・第2土曜日) 時間:午前9時～午後5時

※白石町社会福祉協議会が、白石町交流館1F白石町地域子育て支援センターで行う。

② 一時預かり事業(一般型):地域子育て支援拠点、駅周辺等利便性の高い場所など、一定の利用児童が見込まれる場所で実施するもの

事業形態:週5日(月曜日～金曜日・第2土曜日)、時間:午前9時～午後5時

※白石町社会福祉協議会が、白石町交流館1F白石町地域子育て支援センターで行う。

③ 一時預かり事業(余裕活用型・保育所一般型):保育所等で実施するもので、定員等の範囲内において実施するもの

※有明ふたば保育園、有明わかば保育園にて実施

④ 一時預かり事業(幼稚園型)

在園児(教育標準時間の子ども)と園児以外の子どもの一時預かりも併せて実施するもの

※ありあけ幼稚園、ふくたこども園、福富こども園にて実施

①・② ゆめてらす利用者数 (単位:人)				
年度	①【ゆめひろば】		②【ひよこぐみ】	
	子ども	大人	町内	町外
R6	995	860	230	2
①ゆめひろば 子育て拠点			12,397,000 円	
②ひよこぐみ 一時預り			3,240,000 円	

③一時預かり事業(余裕活用型・保育所一般型)	
有明ふたば保育園	150人×2,600円= 390,000 円
有明わかば保育園	180人×2,000円= 360,000 円

④一時預かり事業(幼稚園型)	
ありあけ幼稚園	1,903,900 円
ふくたこども園	1,355,000 円
福富こども園	1,406,850 円

予算内訳(一時預かり事業)	
② 一般型	3,240,000 円
③ 余裕活用型・保育所一般型	750,000 円
④ 幼稚園型	4,665,750 円
計	8,655,750 円

3 予算額

財源内訳:国1/3、県1/3、町1/3

節	予算額	細節	内容説明
12.委託料	360	その他委託料	・一時預かり事業委託料(保育所一般型) 360,000円
18.負担金、補助及び交付金	20,693	補助金	・地域子育て支援拠点事業 12,397,000円
			・一時預かり事業(一般型) 3,240,000円
			・一時預かり事業(余裕活用型) 390,000円
			・一時預かり事業(幼稚園型 I) 4,666,000円
合 計	21,053		

4 事業の効果

地域子育て支援拠点事業は、子育て家庭の身近な拠り所として、異世代交流、父親の育児参加、地域コミュニティ活性化を実現できる場とする。

また、一時預かり事業は、保護者の就労形態の多様化、疾病等、育児に伴う心理的、肉体的負担の軽減が期待できる。

区分	令和8年度 当初	会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円			
款	3	項	2	目	6	細事業名	こども誰でも通園事業費		所属	保健福祉課(こども課) 保育支援係	
目 名 称	子ども・子育て支援事業費					財 源 内 訳			予算書頁		
予 算 額	765					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	85
	前年度当初	0	前年度最終	0		573	95			97	新規
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 11	子育て支援			
				第 1 節 子育て支援の充実			取組 3	ニーズに応じた子育て支援サービスの充実			

1 目的

こどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらずの支援を強化する。

2 事業内容

保育所、認定こども園、幼稚園等に通っていない 0歳6か月～満3歳未満の未就園児を対象に、月10時間を上限として、保育所、認定こども園等を就労要件を問わず柔軟に利用できる事業。

・実施施設への補助単価(一人1時間当たり)

0歳児	1歳児	2歳児	障害児加算	要支援家庭のこども加算	医療的ケア児加算
1,700 円	1,400 円	1,400 円	600 円	600 円	2,500 円

・補助率 国6/8、県1/8、町1/8

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18.負担金、補助及び交付金	765	交付金	乳児等支援給付費 765,000 円

4 事業の効果

就労要件を問わず全てのこどもの育ちと子育て家庭を支援できる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円			
款	4	項	1	目	1	細事業名			母子健康診査事業	所属	保健福祉課(こども課) 母子保健係	
目 名 称		保健衛生総務費				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		17,946				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	86・87	
		前年度当初	14,710	前年度最終	15,332	575				17,371	継 続	
第3次白石町総合計画			第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 16	保健体制の充実					
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 3 節 保健・医療体制の充実			取組 1	妊産婦から子育て期への支援の充実					

1 目的

妊産婦、乳幼児期の健康の保持増進及び身体と精神の疾病・異常の早期発見、早期治療を図るとともに健全な発達支援を行う。また、経済的負担の軽減に努める。

2 事業内容

産婦健診 補助率:国1/2 町1/2

- ①乳児健康診査:個別健診(医療機関・小児科に委託)、(9か月頃)を実施
:集団健診、乳児健診(4~5か月児)、1歳6か月児健康診査(1歳7~8か月児) 3歳6か月児健康診査(3歳7~8か月児)を実施
- ②妊婦健康診査:医療機関に委託して実施(妊婦健康診査票を1人に14枚交付) R8~超音波検査・子宮頸がん検査追加
妊娠初期~妊娠23週(6か月末)まで:1回/4週、妊娠24週~35週(9か月末)まで:1回/2週、妊娠36週~:1回/1週
- ③産婦健康診査:医療機関委託(産婦健康診査票2枚を交付、産後2週間・1か月に実施)
- ④新生児聴覚検査:医療機関委託(初回1回、必要に応じて確認検査1回)R8 ~【新規】

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明		
7. 報償費	2,035	謝礼及び謝金	健診医師等謝金	2,035,000円	
10. 需用費	163	消耗品費	健診用事務用品等	163,000円	
11. 役務費	345	手数料	健診審査支払手数料	162,000円	
			医療機器点検手数料	160,000円	
			傷害保険料	23,000円	
12. 委託料	15,150	その他の委託料	妊婦健診委託料	12,815,000円	産婦健康診査委託料 1,100,000円
			乳児健診委託料	660,000円	新生児聴覚検査委託料 575,000円
19. 扶助費	253	扶助費	助成費(償還払)	253,000円	
合計	17,946				

4 事業の効果

妊産婦・乳幼児期における健康の保持増進、乳幼児においては身体の発達、精神発達を支援することができる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	4	項	1	目	1	細事業名	産後ケア事業			所属	保健福祉課(こども課) 母子保健係
目 名 称	保健衛生総務費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	6,981					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	88・89
	前年度当初	- 前年度最終			-	3,490	1,745			1,746	新規
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 16	保健体制の充実			
				第 3 節 保健・医療体制の充実			取組 1	妊産婦から子育て期への支援の充実			

1 目的

出産後1年以内の母子に対して心身のケアや育児サポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を行う。こども家庭センターや妊婦等包括相談支援との連携により、妊娠期からの子育て期にわたるまでの切れ目ない支援の提供を行う。

2 事業内容

対象者:産後ケアを必要とする者 内容:退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等きめ細かい支援を実施する

実施方法:①宿泊型(ショートステイ)・病院等の空きベッドの活用等により、宿泊による休養の機会の提供

②デイサービス型(日帰り)・個別・集団で支援を行える施設において、日中、来所した利用者に対し実施

自己負担:ショートステイ 5,000円/泊 デイサービス 1,000円/回

実施場所:佐賀県内での実施医療機関 補助率:子ども・子育て支援交付金 国1/2、子ども・子育て支援事業費 県1/4

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
10.需用費	13	消耗品費	色上質紙、宛名シール、はがき等 13,000円
11.役務費	72	通信運搬費	通知発送用郵送料 72,000円
12.委託料	6,216	その他委託料	ショートステイ(宿泊型) 3,696,000円
			デイサービス(日帰り) 2,520,000円
19.扶助費	680	扶助費	ショートステイ(宿泊型) 330,000円
			デイサービス(日帰り) 350,000円
合計	6,981		

4 事業の効果

退院直後の母子に対して、心身のケアや育児のサポートを行うことで、母子ともに安心して子育てができる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円		
款	4	項	1	目	1	細事業名	こども家庭センター事業費			所属	保健福祉課(こども課) 母子保健係	
目名称	保健衛生総務費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	9,958					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	90	
	前年度当初	5,881	前年度最終	5,881		6,638	1,659			1,661	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 16	保健体制の充実				
				第 3 節 保健・医療体制の充実			取組 1	妊産婦から子育て期への支援の充実				

1 目的

母子保健機能及び児童福祉機能の一体的な運営を行うため「こども家庭センター」を設置し、妊娠期から子育て期における総合的な相談支援を行い、切れ目のない包括的で継続的な支援を実施する。

2 事業内容

対象者: 妊娠期から子育て期までの家庭

主な業務: 妊産婦及び乳幼児の健康保持及び増進に関する包括的な支援及び全てのこどもと家庭に対して虐待への予防的な対応から個々の家庭に応じた支援

職員配置: 主に母子保健等を担当する保健師等、主に児童福祉(虐待対応を含む)の相談等を担当する子ども家庭支援員等、統括支援員など

補助金: 子ども・子育て支援交付金 国2/3、県1/6

基準額: 専任保健師+専任困難事例対応専任職員 1か所当たり15,628,000円、統括支援員 1か所当たり6,941,000円 (職員人件費 充当 国4,627千円、県1,156千円)

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明	
1.報酬	2,513	非常勤職員報酬	会計年度任用職員保健師	2,513,000円
2.給料	3,226	一般職給	会計年度任用職員社会福祉士	3,226,000円
3.職員手当等	2,364	通勤手当	会計年度任用職員通勤手当社会福祉士	125,000円
		時間外勤務手当	会計年度任用職員時間外勤務手当	22,000円
		期末手当	会計年度任用職員期末手当(保健師、社会福祉士)	1,204,000円
		勤勉手当	会計年度任用職員勤勉手当(保健師、社会福祉士)	1,013,000円
4.共済費	1,216	職員共済組合負担金	会計年度任用職員共済職員組合負担金(保健師、社会福祉士)	1,199,000円
		共済組合事務費負担金	会計年度任用職員共済費事務費負担金(保健師、社会福祉士)	17,000円
8.旅費	163	特別旅費	研修旅費	112,000円
		費用弁償	通勤手当	51,000円
10.需用費	67	消耗品費	事務用品	67,000円
12.委託料	369	その他委託料	保健師等委託料	369,000円
18負担金、補助及び交付金	40	負担金	研修会受講料 テキスト代	40,000円
合計	9,958			

4 事業の効果

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供実施することで、子育て世代が安心して育児が出来る。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円	
款	4	項	1	目	1	細事業名	予防接種事業費(母子関係)			所属	保健福祉課(こども課) 母子保健係
目名称	保健衛生総務費					財源内訳					予算書頁
予算額	56,394					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	91
	前年度当初 - 前年度最終 -						357			56,037	継続
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第2章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 16	保健体制の充実			
				第3節 保健・医療体制の充実			取組 4	感染症等への総合的な対策			

1 目的

感染症の発生、重症化及びまん延を予防する。

県費:佐賀県風しん予防接種事業費 県1/2 207
再接種費用助成事業 県10/10 150

2 事業内容

○ 予防接種法による定期接種の実施

五種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・ヒブ)、二種混合(ジフテリア・破傷風)、麻しん、風しん、日本脳炎、BCG、水痘、B型肝炎、小児肺炎球菌、ロタウイルス、RSウイルス(新規)

対象者:乳幼児、小・中学生、高校生、その他(妊婦含)

実施方法:佐賀県内の実施医療機関での個別接種

○ 任意接種の実施

・こどもインフルエンザ費用助成

実施方法:武雄杵島地区内の実施医療機関での個別接種 対象者:0歳~中学3年生 助成額:1人2,000円

・佐賀県風しん予防接種 対象者:抗体価の低い者(妊娠希望者、抗体価の低い妊婦の同居者等) 実施方法:佐賀県内の実施医療機関での個別接種

○ 予防接種健康被害調査委員会(任期2年)

組織:副町長・杵藤保健福祉事務所長・県医師会推薦医師(2名)・地区医師会推薦医師(1名)・学識経験者(1名)

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
1. 報酬	40	委員報酬	予防接種被害調査委員 40,000円
8. 旅費	11	費用弁償	予防接種被害調査委員 4,000円
		特別旅費	予防接種従事者研修会 7,000円
10. 需用費	101	消耗品費	色上質紙(予診票)、書籍代等 101,000円
11. 役務費	382	手数料	審査支払事務手数料 382,000円
12. 委託料	55,264	その他委託料	予防接種委託料 55,264,000円
19. 扶助費	596	扶助費	予防接種費用(償還払等) 596,000円
合計	56,394		

4 事業の効果

免疫効果を上げることにより、感染予防と重症化防止につなげることができる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円																																									
款	3	項	1	目	2	細事業名	障害者自立支援給付費			所属	長寿社会課 障がい福祉係																																								
目 名 称	障害者福祉費					財 源 内 訳					予算書頁																																								
予 算 額	856,678					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	67・68																																								
	前年度当初	757,880	前年度最終	815,504		426,206	213,103		60,000	157,369	継 続																																								
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				施策 14	障がい者福祉の充実																																												
		第 2 節 地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実				取組 1	誰もが地域で生活ができる支援体制の推進																																												
その他の財源 ふるさと基金繰入金																																																			
1 目的	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、必要な障害福祉サービスを給付する。																																																		
2 事業内容	障害者がサービス提供事業所と契約し、支給決定サービス量に応じた支援を受ける。 ○訪問系サービス（居宅介護、同行援護、行動援護など） ○日中活動系サービス（療養介護、生活介護、短期入所、就労移行支援、就労継続支援等） ○居住系サービス（施設入所支援、グループホーム） ○計画相談支援																																																		
3 予算額	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>予算額</th> <th>細節</th> <th>内容説明</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>08. 旅費</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td>普通旅費</td> <td>日当(県外出張・公用車)</td> <td style="text-align: right;">4,000円</td> </tr> <tr> <td>10. 需用費</td> <td style="text-align: center;">158</td> <td>消耗品費</td> <td>プリンタートナー、プリンタードラム 受給者証・ケースファイル等</td> <td style="text-align: right;">158,000円</td> </tr> <tr> <td>11. 役務費</td> <td style="text-align: center;">836</td> <td>手数料</td> <td>支援費給付事務手数料(自立支援給付費)</td> <td style="text-align: right;">836,000円</td> </tr> <tr> <td>12. 委託料</td> <td style="text-align: center;">396</td> <td>その他委託料</td> <td>ガバメントクラウド運用管理補助業務(長期継続契約・3年総額1,188千円)</td> <td style="text-align: right;">396,000円</td> </tr> <tr> <td>13. 使用料及び賃借料</td> <td style="text-align: center;">2,872</td> <td>その他使用料</td> <td>障害福祉業務システム等使用料(長期継続契約・3年総額5,544千円) ガバメントクラウド利用料</td> <td style="text-align: right;">1,848,000円 1,024,000円</td> </tr> <tr> <td>19. 扶助費</td> <td style="text-align: center;">852,412</td> <td>扶助費</td> <td>介護給付費・訓練等給付費・相談支援給付費・ 高額障害福祉サービス費</td> <td style="text-align: right;">852,412,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">856,678</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											節	予算額	細節	内容説明		08. 旅費	4	普通旅費	日当(県外出張・公用車)	4,000円	10. 需用費	158	消耗品費	プリンタートナー、プリンタードラム 受給者証・ケースファイル等	158,000円	11. 役務費	836	手数料	支援費給付事務手数料(自立支援給付費)	836,000円	12. 委託料	396	その他委託料	ガバメントクラウド運用管理補助業務(長期継続契約・3年総額1,188千円)	396,000円	13. 使用料及び賃借料	2,872	その他使用料	障害福祉業務システム等使用料(長期継続契約・3年総額5,544千円) ガバメントクラウド利用料	1,848,000円 1,024,000円	19. 扶助費	852,412	扶助費	介護給付費・訓練等給付費・相談支援給付費・ 高額障害福祉サービス費	852,412,000円	合計	856,678			
節	予算額	細節	内容説明																																																
08. 旅費	4	普通旅費	日当(県外出張・公用車)	4,000円																																															
10. 需用費	158	消耗品費	プリンタートナー、プリンタードラム 受給者証・ケースファイル等	158,000円																																															
11. 役務費	836	手数料	支援費給付事務手数料(自立支援給付費)	836,000円																																															
12. 委託料	396	その他委託料	ガバメントクラウド運用管理補助業務(長期継続契約・3年総額1,188千円)	396,000円																																															
13. 使用料及び賃借料	2,872	その他使用料	障害福祉業務システム等使用料(長期継続契約・3年総額5,544千円) ガバメントクラウド利用料	1,848,000円 1,024,000円																																															
19. 扶助費	852,412	扶助費	介護給付費・訓練等給付費・相談支援給付費・ 高額障害福祉サービス費	852,412,000円																																															
合計	856,678																																																		
4 事業の効果	障害者に必要な障害福祉サービスを提供することにより、障害者及びその家族の地域生活を支援することができる。																																																		

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円																											
款	3	項	1	目	2	細事業名	障害児通所支援給付費			所属	長寿社会課 障がい福祉係																										
目 名 称	障害者福祉費					財 源 内 訳					予算書頁																										
予 算 額	179,325					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	68																										
	前年度当初	132,930	前年度最終	184,547		89,469	44,734		20,000	25,122	継 続																										
第3次白石町総合計画		第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				施策 14	障がい者福祉の充実																														
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 2 節 地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実				取組 1	誰もが地域で生活ができる支援体制の推進																														
											その他の財源 ふるさと基金繰入金																										
1 目的	障害児(18歳未満)が必要とされる支援を受けることで、日常生活における基本的な動作の指導及び集団生活への適応訓練を行い、障害児の成長を支援する。																																				
2 事業内容	<p>○障害児相談支援【対象:全児童】必要とされる支援方法や内容について、指定相談事業所で個別支援計画を立て、定期的なモニタリングを実施する。</p> <p>○児童発達支援【対象:未就学児】支援事業所等に通所し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の習得、集団生活への適応訓練等を行う。</p> <p>○医療型児童発達支援【対象:重度障害児】上・下肢または体幹機能に障害のある児童が、医療型事業所へ通所し、児童発達支援及び治療を行う。</p> <p>○放課後等デイサービス【対象:就学児童生徒】授業の終了後や休業日に事業所に通い、生活能力の向上のために必要な訓練等を行う。</p> <p>○保育所等訪問支援【対象:未就学児等】児童が通っている保育所等に専門支援員が訪問し、集団生活への適応のための支援等を行う。</p>																																				
3 予算額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>予算額</th> <th>細節</th> <th>内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11. 役務費</td> <td>387</td> <td>手数料</td> <td>支援費給付事務手数料(児童通所給付費) 387,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">19. 扶助費</td> <td rowspan="6">178,938</td> <td rowspan="6">扶助費</td> <td>障害児相談支援 11,454,000 円</td> </tr> <tr> <td>児童発達支援 49,368,000 円</td> </tr> <tr> <td>医療型児童発達 0 円</td> </tr> <tr> <td>放課後等デイサービス 117,780,000 円</td> </tr> <tr> <td>保育所等訪問支援 264,000 円</td> </tr> <tr> <td>高額障害児通所費 72,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>178,938,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>179,325</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												節	予算額	細節	内容説明	11. 役務費	387	手数料	支援費給付事務手数料(児童通所給付費) 387,000 円	19. 扶助費	178,938	扶助費	障害児相談支援 11,454,000 円	児童発達支援 49,368,000 円	医療型児童発達 0 円	放課後等デイサービス 117,780,000 円	保育所等訪問支援 264,000 円	高額障害児通所費 72,000 円			計	178,938,000 円	合計	179,325		
節	予算額	細節	内容説明																																		
11. 役務費	387	手数料	支援費給付事務手数料(児童通所給付費) 387,000 円																																		
19. 扶助費	178,938	扶助費	障害児相談支援 11,454,000 円																																		
			児童発達支援 49,368,000 円																																		
			医療型児童発達 0 円																																		
			放課後等デイサービス 117,780,000 円																																		
			保育所等訪問支援 264,000 円																																		
			高額障害児通所費 72,000 円																																		
		計	178,938,000 円																																		
合計	179,325																																				
4 事業の効果	障害児に必要な支援と保護により福祉の向上を図ることができる。																																				

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円																																						
款	3	項	1	目	2	細事業名				所属	長寿社会課 障がい福祉係																																					
目 名 称	障害者福祉費					重度心身障害者医療給付費					所属	長寿社会課 障がい福祉係																																				
予 算 額	57,884					財 源 内 訳					予算書頁	69																																				
	前年度当初	49,258	前年度最終	55,456		国庫	県費	地方債	その他	一般財源		69																																				
							27,100		20,000	10,784		継 続																																				
第3次白石町総合計画						第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】		施策 14		障がい者福祉の充実																																						
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)						第 2 節 地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実		取組 1		誰もが地域で生活ができる支援体制の推進																																						
その他の財源 ふるさと基金繰入金																																																
1 目的	重度の身体障害者又は知的障害、精神障害を有する者について、医療費の一部を助成することにより、これらの者の保健の向上及び福祉の増進を図る。																																															
2 事業内容	<p>【白石町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例】【白石町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例施行規則】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 白石町に住所を有する者で次の各号のいずれかに該当する者。ただし、生活保護法による医療費扶助を受けている者を除く。 <ul style="list-style-type: none"> (1)重度身体障害者 身体障害者程度等級表の1級又は2級に該当する者 (2)重度知的障害者 知的障害の程度が佐賀県療育手帳Aに該当する者 (3)重度精神障害者 精神障害の程度が1級に該当する者、 (4)重複障害者 身体障害者等級表の3級に該当し、かつ知的障害の程度がIQ50以下の者 ・内容 (1)申請により受給資格登録を行い受給資格者証を交付する。(2)ひと月500円の自己負担額と高額療養費等を差し引いた額を助成する。 ・助成の制限 前年の所得(県の交付要綱により特別児童扶養手当等に関する法律第20条及び21条に規定する額)により、助成の制限あり。 																																															
3 予算額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>予算額</th> <th>細節</th> <th>内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 報酬</td> <td>2,397</td> <td>非常勤職員報酬</td> <td>一般事務補助職員報酬 2,397,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3. 職員手当等</td> <td rowspan="2">926</td> <td>期末手当</td> <td>一般事務補助職員期末手当 503,000 円</td> </tr> <tr> <td>勤勉手当</td> <td>一般事務補助職員勤勉手当 423,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4. 共済費</td> <td rowspan="2">248</td> <td>職員共済組合負担金</td> <td>一般事務補助職員共済会負担金 243,000 円</td> </tr> <tr> <td>共済組合事務費負担金</td> <td>一般事務補助職員共済会事務費負担金 5,000 円</td> </tr> <tr> <td>8. 旅費</td> <td>88</td> <td>費用弁償</td> <td>一般事務補助職員通勤手当 88,000 円</td> </tr> <tr> <td>10. 需用費</td> <td>25</td> <td>消耗品費</td> <td>受給者管理用ファイル、事務用品他 25,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">19. 扶助費</td> <td rowspan="2">54,200</td> <td rowspan="2">扶助費</td> <td>重度心身障害者医療費助成事業費 52,200,000 円</td> </tr> <tr> <td>子ども医療費支弁額精算 2,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>57,884</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											節	予算額	細節	内容説明	1. 報酬	2,397	非常勤職員報酬	一般事務補助職員報酬 2,397,000 円	3. 職員手当等	926	期末手当	一般事務補助職員期末手当 503,000 円	勤勉手当	一般事務補助職員勤勉手当 423,000 円	4. 共済費	248	職員共済組合負担金	一般事務補助職員共済会負担金 243,000 円	共済組合事務費負担金	一般事務補助職員共済会事務費負担金 5,000 円	8. 旅費	88	費用弁償	一般事務補助職員通勤手当 88,000 円	10. 需用費	25	消耗品費	受給者管理用ファイル、事務用品他 25,000 円	19. 扶助費	54,200	扶助費	重度心身障害者医療費助成事業費 52,200,000 円	子ども医療費支弁額精算 2,000,000 円	合計	57,884		
節	予算額	細節	内容説明																																													
1. 報酬	2,397	非常勤職員報酬	一般事務補助職員報酬 2,397,000 円																																													
3. 職員手当等	926	期末手当	一般事務補助職員期末手当 503,000 円																																													
		勤勉手当	一般事務補助職員勤勉手当 423,000 円																																													
4. 共済費	248	職員共済組合負担金	一般事務補助職員共済会負担金 243,000 円																																													
		共済組合事務費負担金	一般事務補助職員共済会事務費負担金 5,000 円																																													
8. 旅費	88	費用弁償	一般事務補助職員通勤手当 88,000 円																																													
10. 需用費	25	消耗品費	受給者管理用ファイル、事務用品他 25,000 円																																													
19. 扶助費	54,200	扶助費	重度心身障害者医療費助成事業費 52,200,000 円																																													
			子ども医療費支弁額精算 2,000,000 円																																													
合計	57,884																																															
4 事業の効果	重度障害者の保健の向上及び福祉の増進に寄与できる。																																															

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円													
款	3	項	1	目	2	細事業名	相談支援事業所自動車備品購入費補助事業			所属	長寿社会課 障がい福祉係												
目 名 称	障害者福祉費					財 源 内 訳					予算書頁												
予 算 額	1,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	69												
	前年度当初		0		前年度最終	0			1,000	0	新 規												
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 14 障がい者福祉の充実																	
			第 2 節 地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実			取組 1 誰もが地域で生活ができる支援体制の推進		その他の財源 ふるさと基金繰入金															
1 目的	町内の相談支援事業所の継続的な運営及び地域における福祉の維持向上を図ることを目的とする。																						
2 事業内容	<p>補助対象者 年度初日に町内で、相談支援事業所を営む法人 ※R8.1時点の対象事業者 3法人…社会福祉法人 蓮花の会、合同会社 YOURGOOD、合同会社 スマイルシェア</p> <p>補助対象経費 相談支援事業所に必要な自動車の車両本体、備品の購入費</p> <p>補助率 10/10(上限:予算額)</p>																						
3 予算額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>予算額</th> <th>細節</th> <th>内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18. 負担金、補助及び交付金</td> <td>1,000</td> <td>補助金</td> <td>相談支援事業所に必要な自動車の車両本体、備品の購入費</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											節	予算額	細節	内容説明	18. 負担金、補助及び交付金	1,000	補助金	相談支援事業所に必要な自動車の車両本体、備品の購入費	合計	1,000		
節	予算額	細節	内容説明																				
18. 負担金、補助及び交付金	1,000	補助金	相談支援事業所に必要な自動車の車両本体、備品の購入費																				
合計	1,000																						
4 事業の効果	必要な相談支援事業所を確保し、適切な障害福祉サービスの提供を図ることが出来る。																						

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	有	単位:千円	
款	3	項	1	目	3	細事業名	敬老の日記念事業費				所属	長寿社会課 高齢者係
目 名 称	老人福祉費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	14,143					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	72	
	前年度当初	14,632	前年度最終	13,842				10,000	4,143	継 続		
第3次白石町総合計画		第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 12		地域共生社会の構築					
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 2 節 地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実			取組 12		町民の福祉意識向上と人材確保・育成					
											その他の財源	ふるさと基金繰入金
1 目的												
長年にわたり、社会に貢献された高齢者に対し、敬意を表し、長寿を祝福する。												
2 事業内容												
・男女それぞれの最高齢者に敬老記念品を贈呈する。												
・75歳以上を対象とした地域で行われる、高齢者の長寿を祝う行事にかかる経費の一部を助成する。(R7年度までの単価1,500円をR8年度から1700円に増額)												
・長寿祝金を贈呈する。(R7年度まで80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上に各1万円を支給していたが、R8年度から80歳への支給を取りやめ、85、90、95、100歳以上への支給に変更)												
3 予算額												
節	予算額	細節	内容説明									
7. 報償費	10	記念品代	敬老記念品料(最高齢者男女各1人) 10,000円									
10. 需用費	200	消耗品費	消耗品費 200,000円									
11. 役務費	190	通信運搬費	郵送料 190,000円									
18. 負担金、補助及び交付金	8,313	補助金	地区敬老事業助成金 8,313,000円									
19. 扶助費	5,430	扶助費	長寿祝金 5,430,000円									
合 計	14,143											
4 事業の効果												
地域の敬老意識の高揚につながり、明るく豊かな長寿社会を築くことができる。												

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計				総合戦略	無	過疎計画	有	単位:千円
款	3	項	1	目	3	細事業名					生きがい活動支援通所(デイサービス)事業	所属	長寿社会課 高齢者係
目名称	老人福祉費					財源内訳					予算書頁		
予算額	12,744					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	73		
	前年度当初	10,500	前年度最終	10,500		1,877		8,000		2,867	継続		
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第2章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】				施策 13	高齢者の社会参加・高齢者福祉の充実				
				第2節 地域・高齢者・障がい者(児)福祉の充実				取組 1	介護予防と地域ケアの推進				
						国庫財源		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金					
						地方債の名称		過疎対策事業債					
1 目的													家に閉じこもりがちなおおむね65歳以上の者に対して、日常動作訓練、趣味活動、生きがい活動等の各種サービスを提供し、社会的孤立感の解消と心身機能の維持向上等を図る。
2 事業内容													
【委託先】													白石町社会福祉協議会
【対象者】													介護認定審査会において非該当と認定された者及びそれに準ずる者で町長が特に必要と認めるもの
【実施施設】													白石町交流館
【事業内容】													生きがいデイサービス(生活指導、日常動作訓練、健康チェック、昼食、養護、送迎)を実施する。(週4回開催し、登録者はいずれかに参加する。)
【利用実績】													
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度見込	R8年度予定	
登録者数	141人	111人	119人	98人	84人	79人	82人	81人	78人	77人	77人	78人	
延べ参加者数	5,356人	4,961人	3,954人	4,022人	3388	2,863人	2,865人	3,228人	3,233人	3,415人	3,415人	3500人	
開催予定日		240日	239日	196日	192日	173日	173日	192日	193日	196日	200日	200日	
【登録者数】													77人
【1回の平均利用者数】													R7年10月 延べ参加者数336人÷デイサービス 延べ実施回数19回=17.7人
※ 人件費及び物価高騰による事業費の増額について、町委託料単価及び個人負担額の増額で対応する。													
町補助単価3,600円×R7年10月末時点 1回の平均利用者数17.7人×年間実施予定日数 200日=12,744,000円													
						委託料単価:3,000円 個人負担額950円 (~令和7年度)			委託料単価:3,600円 個人負担額1,050円(見込) (令和8年度~)				
						R8収入見込額			R8収入見込額				
						委託金 10,290,000円			委託金 12,744,000円				
						利用料収入 3,167,220円			利用料収入 3,510,220円				
3 予算額													
節	予算額		細節		内容説明								
12. 委託料	12,744		その他委託料		生きがい活動支援通所事業委託料 12,744,000円								
合計	12,744												
4 事業の効果													社会的孤立感の解消と心身機能の維持向上等を図り、自立した生活を継続することができる。 高齢者が住み慣れた家庭や地域で生活を継続することができる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円											
款	4	項	1	目	3	地域猫活動推進事業				所属	生活環境課 環境係										
目 名 称	環境衛生費					財 源 内 訳					予算書頁										
予 算 額	300					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	94										
	前年度当初		0		前年度最終	0					300	新規									
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 5 章 自然環境と共生するまち【自然環境の保全】			施策 31		脱炭素社会・循環型社会の構築													
			第 2 節 環境にやさしいまちづくり			取組 3		環境問題への意識啓発													
1 目的	<p>地域住民やボランティアによる地域猫活動団体を設置し、飼い主のいない猫に不妊・去勢手術などのTNR活動※を行い、猫の過剰な繁殖を防ぐことにより、地域における将来的な野良猫の数を減らし、糞尿被害や鳴き声など生活環境問題の軽減を図る。</p> <p>※TNR活動:「Trap(トラップ=捕獲)」「Neuter(ニューター=不妊去勢手術)」「Return(リターン=元の場所に戻す)」</p>																				
2 事業内容	<p>地域猫活動に取組む団体が実施する、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術に要する経費への補助金。</p> <p>■団体の代表者になることができる者 (1) 駐在員又は区長、若しくは自治公民館長 (2) 住民グループの代表者 ※但し、(1)から推薦を受けた者に限る。</p> <p>■申請団体の要件 ※以下の全てを満たすもの (1) 町内に居住し、同一の世帯でない3人以上の者で構成されていること。 (2) 町内で地域猫活動を行うものであること。 (3) 営利を目的としないこと。 (4) 地域猫活動について、地域住民の理解を十分に得られていること。 (5) 地域猫の管理を行う場所の土地所有者の同意を得ていること。</p> <p>■補助金額(補助金上限額) (1) 不妊手術費用への補助 26,000円/匹 (2) 去勢手術費用への補助 13,000円/匹 (3) 捕獲器購入費用の補助 5,000円/器 ※但し、1団体あたりの補助金合計額の上限額は30万円とする。</p>																				
3 予算額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>予算額</th> <th>細節</th> <th colspan="2">内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18.負担金補助及び交付金</td> <td>300</td> <td>補助金</td> <td>地域猫活動団体補助金</td> <td>300,000円</td> </tr> </tbody> </table>											節	予算額	細節	内容説明		18.負担金補助及び交付金	300	補助金	地域猫活動団体補助金	300,000円
節	予算額	細節	内容説明																		
18.負担金補助及び交付金	300	補助金	地域猫活動団体補助金	300,000円																	
4 事業の効果	<p>飼い主のいない猫に関する苦情やトラブルが発生している地域において、地域コミュニティによる主体的な解決を促進することができる。</p>																				

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計				総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円										
款	4	項	1	目	3	細事業名	SAGAゼロカーボン加速化事業					所属	生活環境課 環境係										
目名称	環境衛生費					財 源 内 訳						予算書頁											
予 算 額	4,920					国庫	県費	地方債	その他	一般財源		94											
	前年度当初			0 前年度最終		0		4,920		0		新規											
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 5 章 自然環境と共生するまち【自然環境の保全】				施策 31		脱炭素社会・循環型社会の構築													
				第 2 節 環境にやさしいまちづくり				取組 1		脱炭素社会への取組													
													県費 SAGAゼロカーボン加速化事業補助金										
1 目的	<p>県が策定する「SAGAゼロカーボン加速化事業計画」に基づき、国の地域脱炭素推進交付金(地域脱炭素移行・再エネ推進交付金)を活用し、家庭用の自家消費型太陽光発電設備及び蓄電池の導入を支援することにより、脱炭素社会の推進を図ることを目的とする。</p>																						
2 事業内容	<p>■個人が自家消費用として設置する「太陽光発電」と「蓄電池」のセットで導入する場合の補助金。 ※FIT(固定価格買取制度)の認定は不可。但し、自家消費30%以上を満たすのであれば、FIT以外での売電は可能。 ※既設の太陽光発電への増設は補助対象外。但し、既設を撤去し、更新する場合は対象(既存設備の撤去費は対象外)。 ※事業者向けの支援(太陽光発電設備、高効率空調設備、高効率照明機器の導入補助)は、別途、県が直接補助を実施。(R7年度中途から実施)</p> <p>■事業期間 令和8年度～12年度まで(5年間)</p> <p>■市町への補助率 県費100%、市町の義務負担は無し。</p> <p>■1棟あたりの補助金額 ※交付上限 ①太陽光発電 70千円/kw ※交付上限 350千円(5Kw) ②蓄電池 47千円/kwh ※交付上限 470千円(10Kwh) ※①+②を合わせた1棟あたりの交付上限額は820千円</p>																						
3 予算額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>予算額</th> <th>細節</th> <th colspan="2">内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18.負担金補助及び交付金</td> <td>4,920</td> <td>補助金</td> <td>SAGAゼロカーボン加速化事業補助金</td> <td>4,920,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>■県から各市町への配分方法 県への交付金配分額を「新規住宅着工棟数割」、「均等割(1市町あたり5棟/年)」で各市町に配分。 白石町への配分予定は6棟分/年(内訳:新規住宅着工棟数割1棟+均等割5棟)</p> <p>■白石町への補助金配分予定額 年額 4,920千円(@820千円/棟×6棟分)</p>													節	予算額	細節	内容説明		18.負担金補助及び交付金	4,920	補助金	SAGAゼロカーボン加速化事業補助金	4,920,000円
節	予算額	細節	内容説明																				
18.負担金補助及び交付金	4,920	補助金	SAGAゼロカーボン加速化事業補助金	4,920,000円																			
4 事業の効果	<p>家庭用の自家消費型太陽光発電設備と併せた蓄電池の導入を推進し、二酸化炭素を始めとした温室効果ガスの排出削減に寄与することができる。</p>																						

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円		
款	4	項	2	目	2	細事業名			廃棄物処理事業			
目 名 称		塵芥処理費				財 源 内 訳					所属	生活環境課 環境係
予 算 額		155,609				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	予算書頁	
		前年度当初	135,904	前年度最終	135,904				46,334	109,275	95	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 5 章 自然環境と共生するまち【自然環境の保全】			施策 31		脱炭素社会・循環型社会の構築				
			第 2 節 環境にやさしいまちづくり			取組 2		循環型社会への取組				
1 目的										その他の財源	許可申請手数料	50
市町村の責務である一般廃棄物の適正処理のため、ごみの分別・排出マナーの周知や計画的なごみの収集運搬を行うと共に、											ごみ処理手数料	45,300
風水害や地震等の災害発生時における災害ごみの特別収集を行い、公衆衛生の向上と生活環境の保全を図る。											遠距離搬入補助金	984
2 事業内容												
<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物に関する研修会等への参加、廃棄物処理状況の現地確認。 ・ごみ集積所(ごみケージ)の新設・修理・交換。 ・ごみカレンダー(次年度版)の作成・配布。 ・「可燃・不燃・粗大ごみ」を収集し、さが西部クリーンセンター(伊万里市松浦町)まで運搬する業務を委託。 ・災害発生時における特別収集の実施。 												
3 予算額												
節	予算額	細節	内容説明									
8. 旅費	15	普通旅費	研修会、説明会、廃棄物処理状況現地確認 等 15,000 円									
10. 需用費	885	消耗品費	ごみケージ新設 200,000 円									
			事務用品費 10,000 円									
		印刷製本費	ごみカレンダー印刷費 450,000 円									
		修繕料	ごみケージの修理等 225,000 円									
12. 委託費	154,709	その他委託料	ごみ収集運搬委託料 154,609,000 円									
			災害廃棄物の特別収集 100,000 円									
計	155,609											
4 事業の効果												
ごみ出しルールの周知による分別排出の徹底、及び安定的なごみの収集運搬を行うことにより、公衆衛生の向上を図ることができる。												
災害発生時に災害ごみの特別収集を行うことにより、迅速な復興の支援に資することができる。												

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計				総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円
款	4	項	3	目	1	細事業名	物価高騰等に伴う水道料金特別減免事業				所属	生活環境課 環境係	
目名称	上水道費					財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額	41,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	96		
	前年度当初	0			前年度最終	0		41,000			0	新規	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				施策 4	上下水道の整備			
				第 1 節	生活基盤の充実				取組 1	上水道の安定供給			

国庫財源 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

1 目的

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者への負担軽減策として、水道料金のうち基本料金分を4箇月間減免することに伴い、水道事業を行う佐賀西部広域水道企業団に対し、基本料金の減免相当額及び減免にかかる水道企業団の事務費について補填する。

2 事業内容

- 対象者 町内の水道使用者(事業者を含む)。但し、官公庁等を除く。
- 減免内容 水道使用料のうち基本料金分を減免。
- 減免期間 4箇月間 (令和8年8月請求分及び10月請求分から減免)
※令和8年7月検針分(5月・6月使用分)及び9月検針分(7月・8月使用分)
- 減免額 【1箇月当たり】 税込1,056円(13mm口径)～ 41,074円(75mm口径)
【4箇月合計】 税込4,224円(13mm口径)～164,296円(75mm口径)
- 減免方法 申請手続きは不要。請求時に基本料金分を減免(控除)した額を請求。

■水道使用月に対する検針時期・請求月

使用月	5月・6月	7月・8月
検針時期 (隔月)	7月初旬	9月初旬
請求月 (隔月)	8月	10月

→各請求分から減免

※2箇月間の使用料金を1回で請求。

■水道料金の減免見込額

① 給水件数 (開栓中)	② うち対象外 件数 (官公庁等)	③ 減免対象 件数 (①-②)	④ 基本料金 月額 (税込)	⑤ 1箇月当り 減免見込額 (③×④)	⑥ 減免対象 月数	⑦ 減免見込額 計 (⑤×⑥)	予算計上額 ≒⑦
8,432件	216件	8,216件	1,056円～ 41,074円	9,970,532円	4箇月	39,882,128円	40,000,000円

■月額基本料金(令和8年4月改定後～令和10年3月)

口径	基本料金 (税込)	左の 4箇月分
13mm	1,056円	4,224円
20mm	2,101円	8,404円
25mm	4,257円	17,028円
30mm	6,336円	25,344円
40mm	10,978円	43,912円
50mm	17,281円	69,124円
75mm	41,074円	164,296円
100mm	73,359円	293,436円

※100mm口径の使用者は町内該当なし。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18. 負担金、補助 及び交付金	41,000	補助金	水道料金特別減免補助金 40,000,000円
			水道企業団減免事務費補助金 1,000,000円

4 事業の効果

長期化する物価高騰等のため、負担が増加している家計や事業活動への支援に資することができる。

区分	令和8年度 当初	会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円			
款	4	項	4	目	1	細事業名	浄化槽整備推進事業費		所属	生活環境課 下水施設係	
目 名 称	下水道費					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	40,295					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	97
	前年度当初	40,283	前年度最終	37,622		8,748	8,748	0	15,000	7,799	継 続
第3次白石町総合計画		第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				施策 4	上下水道の整備				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 1 節 生活基盤の充実				取組 3	水洗化率向上のための推進				

その他の財源 ふるさと基金繰入金

1 目的

公共用水域の水質汚濁の原因として、炊事、洗濯、入浴などの日常生活に伴って排出される生活排水が大きな問題となっている。水質汚濁を防止するために、家庭内において設置される浄化槽の経費の一部を助成し、生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与する。

2 事業内容

- ①下水道推進区域以外の地区において合併浄化槽を設置する費用の一部を補助する。(但し、事業所は除く。)
 ②汲取り便槽または単独浄化槽から合併浄化槽に転換する場合については、宅内配管工事と便槽等の撤去費について有期限で補助する。(但し、新築等は除く。)

	区 分	国の基準額	町費上乗せ額	補助上限額	補助見込数	備 考
①浄化槽設置補助 (事業所は除く)	5人槽	332,000円	268,000円	600,000円	20件	【国・県・町補助率】
	6～7人槽	414,000円	306,000円	720,000円	27件	国の基準額に対し、
	8～10人槽	548,000円	372,000円	920,000円	1件	国1/3、県1/3、町1/3
	11～20人槽	939,000円	0円	939,000円	1件	
	21～30人槽	1,472,000円	0円	1,472,000円	1件	なお、町費上乗せ補
	31～50人槽	2,037,000円	0円	2,037,000円	0件	助はR8年度までの予
浄化槽設置補助見込み件数 計					50件	定
②転換による拡充補助 (R5～R8の有期限)	宅内配管工事	300,000円	0円	200,000円	20件	【国・県・町補助率】
	単独浄化槽撤去	120,000円	0円	120,000円	1件	補助額に対し、
	汲取り便槽撤去	90,000円	0円	90,000円	15件	国1/3、県1/3、町1/3

[参考]
 浄化槽推進区域内における
 浄化槽整備率(R7年度末見込)

対象数	設置数	整備率
4,398件	2,270件	51.6%

3 予算額

節	予算額	細 節	内容説明
18. 負担金、補助 及び交付金	40,295	負担金	佐賀県浄化槽普及促進協議会会費(定額:人口1万人～5万人)
			佐賀県浄化槽普及促進協議会負担金
		補助金	浄化槽設置整備事業補助金
			宅内配管工事及び単独浄化槽・汲取り便槽撤去費補助金
合 計	40,295		

4 事業の効果

浄化槽設置事業を実施することにより、公共用水域の水質保全が保たれる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	4	項	4	目	1	細事業名	下水道事業推進費			所属	生活環境課 下水庶務係
目 名 称	下水道費					財 源 内 訳					
予 算 額	451,367					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	97
	前年度当初	476,700	前年度最終	504,430					451,367	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			施策 4	上下水道の整備		
				第 1 節	生活基盤の充実			取組 2	下水道施設の計画的な整備		

1 目的
農業集落排水事業及び特定環境保全公共下水道事業の円滑な事業推進を図る。

2 事業内容
下水道事業会計へ負担金、補助金、出資金を支出する。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明	
18 負担金、補助 及び交付金	314,587	負担金	人件費(6名分)	53,572,000 円
			特定環境保全公共下水道負担金(減価償却費相当分)	94,460,000 円
			特定環境保全公共下水道負担金(利子償還金相当分)	19,494,000 円
			農業集落排水負担金(減価償却費相当分)	99,361,000 円
			農業集落排水負担金(利子償還金相当分)	30,567,000 円
			農業集落排水負担金(雨水に係る減価償却費相当分)	1,431,000 円
			農業集落排水負担金(雨水に係る利子償還金)	128,000 円
		補助金	農業集落排水資源循環施設管理費補助金	15,574,000 円
23 投資及び出資金	136,780	出資金	一般会計出資金(特環 元金償還金相当分)	39,545,000 円
			一般会計出資金(農集 元金償還金相当分)	83,725,000 円
			一般会計出資金(特環 施設整備費相当分)	100,000 円
			一般会計出資金(農集 施設整備費相当分)	13,410,000 円
合 計	451,367			

4 事業の効果
適正な管理を行うことで、下水道事業の経営安定化を図る。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円		
款	6	項	1	目	2	細事業名	新規農業就業者対策支援事業(1/3)				所属	農業振興課 農業者係	
目 名 称	農業総務費					財 源 内 訳						予算書頁	
予 算 額	873					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	101		
	前年度当初	2,085	前年度最終	2,085			75			798	継 続		
第3次白石町総合計画				第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			施策 19	農林業の振興				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 1 節	農林水産業の振興			取組 1	担い手の育成・確保				

1 目的

農業において後継者は、減少傾向にあるものの、仕事に誇りを持ち、魅力ある職業として営み、地域の担い手として活力のある町づくりに取り組んでいる青年も存在しており、今後さらにそうした青年を数多く育成していく必要がある。町の担い手の減少は、農業振興面のみならず、農村社会においても様々な問題を生じているため、生産性の高い農業の確立と農村地域の活性化を実現するため、地域の実態に即した近代的、企業的な感覚を備えた後継者を確保することにより農業の振興を図る。

2 事業内容

1. 白石町農の担い手確保・育成推進事業費補助金

(1) 白石町農業技術連絡協議会 新規就農者確保対策専門会議補助金

○実施主体：白石町農業技術連絡協議会 新規就農者確保対策専門会議・・・構成員は、農業委員会、佐賀県農業士、青年農業士、JAさが白石地区生産部会長等
JAさが白石地区、白石青年実業会、佐賀農業高校、杵島農業振興センター、白石町

○事業内容：①専門会議の開催(委員報酬等の支出) ②事業費の支出

○補助率:町2/3 JA1/3

事業内容	事業費	負担区分		備考
		町費	その他(JA負担金)	
専門会議等の開催	186,000	200,000	100,000	委員報酬162,000円、協議会開催費24,000円
就農希望者の募集・啓発活動	94,000			農業やってみようセミナー経費94,000円
	20,000			先進農家派遣事業20,000円
合 計	300,000	200,000	100,000	

(2) 白石地区いちごトレーニングファーム運営協議会補助金

○実施主体：白石地区いちごトレーニングファーム運営協議会・・・構成員は、白石町、佐賀県、JAグループ佐賀県域担い手サポートセンター、JAさが

○事業内容：①企画会議 ②就農啓発・相談事業・就農相談会への出展・募集パンフレット、PR資材等の作成・体験実習 ③トレーナーの設置

○補助率:町50/100以内

(単位:円)

事業内容	事業費	負担区分		備考
		町費	その他(JA負担金)	
企画会議	30,000	450,000	450,000	会議費10,000円、通信費10,000円、印刷等10,000円
先進地事例調査の実施	0			
研修生募集活動	510,000			相談会350,000円、募集資材100,000円、体験実習60,000円
トレーナーの設置	360,000			謝金360,000円
合 計	900,000	900,000		

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円		
款	6	項	1	目	2	細事業名	新規農業就業者対策支援事業(2/3)				所属	農業振興課 農業者係	
目 名 称		農業総務費				財 源 内 訳						予算書頁	
予 算 額		873				国庫	県費	地方債	その他	一般財源		101	
		前年度当初	2,085	前年度最終	2,085		75			798	継 続		
第3次白石町総合計画				第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			施策 19	農林業の振興				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 1 節	農林水産業の振興			取組 1	担い手の育成・確保				

2 事業内容

1. 白石町農の担い手確保・育成推進事業費補助金

(3) 土地利用型トレーニングファーム運営協議会補助金

- 実施主体：白石町土地利用型トレーニングファーム運営協議会・・・構成員は、佐賀県、白石町、白石町農業委員会、JAさが白石地区営農経済センター、トレーナー法人
- 事業内容：①総会、委員会の開催 ②入校生(研修生)募集活動 ③トレーナー法人の設置
- 補助率：県50/100 町25/100

(単位:円)

事業内容	事業費	負担区分			備考
		県費	町費	その他(JA負担金)	
委員会開催費	50,000	75,000	37,500	37,500	通信費15,000円、印刷等8,000円、報償費27,000円
研修生募集活動	60,000				チラシ印刷60,000円
予備費	40,000				40,000円
合 計	150,000	150,000			

2. トレーニングファーム研修補助金

- 実施主体：白石地区いちごトレーニングファーム運営協議会
- 研修生要件：研修終了後、白石町内に定住し地域農業の担い手として農業経営を開始することが見込まれる者。概ね300万円程度の自己資金を所有する者。
- 支援事項：①新規就農者育成総合対策(準備資金)を利用し、年間150万円の助成を受ける予定。夫婦で研修し、就農する場合は年間300万円の助成予定。
②軽トラック又は軽バンの貸与、車両任意保険料、燃料費(月400)等の補助。(R8研修生より廃止予定)
③町外から白石町へ転入の研修生には、仲介料等も含む家賃を補助。
- 対象者 6期生:研修生3名のうち対象者1名(R6.5.1~R8.4.30) 7期生:研修生3名のうち対象者2名(R7.5.1~R9.4.30) 8期生:研修生3人(R8.5.1~R10.4.)(単位:円)

事業内容	事業費	負担区分	備考
		一般財源	
軽貨物リース料	0	185,000	なし
車両任意保険	0		なし
傷害・火災保険	0		なし
ガソリン・修繕費	185,000		6期生7,400円、7期生177,600円
研修生住居借上料	0		なし
振込手数料	0		なし
合 計	185,000		185,000

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円	
款	6	項	1	目	2	細事業名	新規農業就業者対策支援事業(3/3)			所属	農業振興課 農業者係
目 名 称	農業総務費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	873					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	101
	前年度当初	2,085	前年度最終	2,085			75			798	継 続
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			施策 19	農林業の振興		
				第 1 節	農林水産業の振興			取組 1	担い手の育成・確保		

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18. 負担金、補助及び交付金	873	補助金	1. 白石町農の担い手確保・育成推進事業費補助金 (1) 白石町農業技術連絡協議会 新規就農者確保対策専門会議補助金 200,000円 (2) 白石地区いちごトレーニングファーム運営協議会補助金 450,000円 (3) 土地利用型トレーニングファーム運営協議会補助金 37,500円 2. トレーニングファーム研修補助金 185,000円
合 計	873		

4 事業の効果

本事業を実施することにより、新規就農者を確保し、後継者の育成を図ることができる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円		
款	6	項	1	目	2	細事業名	しろいし農業塾				所属	農業振興課 農業者係
目 名 称	農業総務費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	1,944					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	101	
	前年度当初	6,254	前年度最終	6,254				1,000	944	継 続		
第3次白石町総合計画						第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			施策 19	農林業の振興	
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)						第 1 節	農林水産業の振興			取組 1	担い手の育成・確保	
											その他の財源 ふるさと基金繰入金	
1 目的												
白石町の主要産業である農業の維持や農地の保全等の観点から新規就農者など担い手の確保は大きな課題である。県外から移住及び就農して頂くために希望者を広く募集し、白石地区農業振興協議会で受け入れ、農業研修生として農業全般に従事し、農業の担い手としての自立を目指し、地域との関わりを持ち定住促進へと繋げる。												
2 事業内容												
県外の地域から白石町へ移住した者を農業研修生として農業団体等で受け入れ、農業による自立と地域への定着を図る。												
また、研修生の就農を支援するため、行政・JAなど関係団体が連携して取り組み、研修等に必要な経費の助成と指導・助言を行う。												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修生(6人以内):18歳以上おおむね50歳未満の心身ともに健康で、白石町に住民票を異動出来る人 ・ 研修体制 6期生:研修生3名のうち対象者2名(R6.5.1~R8.4.30) 7期生:研修生3名(R7.5.1~R9.4.30)のうち対象者無し 8期生:研修生3人(R8.5.1~R10.4.30)のうち対象者無し ・ 研修(支援)期間 R8.5.1~R10.4.30(2年間) ・ 研修後は白石町で農業経営を開始し、白石町における地域農業の担い手として農業を営む志のある人 												
3 予算額												
節	予算額	細節	内容説明									
			区分	予算額	項目	明細						
18.負担金、補助金及び交付金	1,944	補助金	旅費	992,000	研修生募集活動旅費、研修旅費	募集活動982,000円、県外研修10,000円						
			需用費	214,800	研修用燃料代	ガソリン 14,800円						
					事務用品等、小農具費	事務用品50,000円、小農具費50,000円						
					修繕費	リース車修繕(免責分) 100,000円						
			役務費	91,880	リース車任意保険	6期生4,880円						
					研修生募集広告料	募集広告料22,000円						
					傷害(損害)保険、火災保険(家財)	7期生、8期生該当なし						
					クリーニング代、振込手数料、送料	テーブルクロス等 20,000円、振込手数料 0円、送料 45,000円						
			使用料及び賃借料	645,000	車両借上げ料	6期生30,000円						
					研修生住居借上げ料	家賃120,000円						
会場借り上げ料	ブース借り上げ料495,000円											
合 計	1,944		1,943,680									
4 事業の効果												
農業の担い手及び定住者の確保により、白石町農業の後継者不足の解消と定住人口の増加につながる。												

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円	
款	6	項	1	目	2	細事業名	白石町良質米生産事業			所属	農業振興課 水田農業係
目 名 称	農業総務費					財 源 内 訳				予算書頁	
予 算 額	1,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	101
	前年度当初 0 前年度最終 0								1,000	0	新規

第3次白石町総合計画	第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	施策 19	農林業の振興
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	第 1 節	農林水産業の振興	取組 3	農業生産額の向上

その他の財源 ふるさと基金繰入金

1 目的

新嘗祭は、毎年11月23日に、天皇陛下が、新嘉殿において新穀を皇祖天照大御神はじめ神々にお供えになり、神恩を感謝されたあと、陛下自らもお召し上がりになる宮中恒例祭典の中最も重要な祭典である。新嘗祭で供される精米や精粟の新穀を献納する農家について、掌典長(宮内庁)から各県に毎年、斡旋依頼があり、市町から推薦を受けた献穀農家夫妻やその関係者が10月下旬、皇居賢所で行われる献納式において天皇陛下に献穀されている。

佐賀県の献穀農家は、毎年、農業振興センターを単位に県内5ブロックのローテーションにより、市町の推薦により選定されている。令和8年度の献穀は、杵島農業振興センター管内から、白石町(白石地域)が推薦された。

白石町良質米生産事業では、白石町良質米生産協議会を設置し、献穀米の栽培管理や運営経費の支援を行う。

2 事業内容

白石町良質米生産協議会が行う播種式、御田植式、抜穂式、献穀の業務に係る経費への支援

(献穀農家:川崎晴喜 献穀圃場:築切本谷 品種:ひなたまる)

・白石町良質米生産協議会

歳入

区 分	事業費(千円)	説 明
1 負担金	2,000	町 1,000,000円 JA 1,000,000円
合 計	2,000	

※負担割合:町 1/2、JA 1/2

歳出

区 分	事業費(千円)	説 明
1 播種式	100	神事・式典費用(玉串料、御供物等)、播種資材
2 御田植式	400	神事・式典費用(玉串料、御供物等)、田植資材
3 抜穂式	200	神事・式典費用(玉串料、御供物等)、抜穂資材
4 献穀旅費	800	献穀米奉納(献穀農家夫婦、会長等)
5 献穀諸経費	200	献穀資材(桐箱、風呂敷、絹袋等)
6 雑費	300	事務用品等
合 計	2,000	

3 予算額

・一般会計

区 分	予算額(千円)	細 節	内容説明
18 負担金、補助及び交付金	1,000	負担金	白石町良質米生産協議会負担金 1,000,000円

4 事業の効果

適正な栽培管理の徹底により、良質米生産に資することができる。白石町産の良質米を献穀することができる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円		
款	6	項	1	目	3	細事業名	ブランド化農産物作付拡大推進事業			所属	農業振興課 園芸農産係	
目 名 称	農業振興費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	649					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	103	
	前年度当初	600	前年度最終	765						649	継 続	
第3次白石町総合計画		第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				施策 24	農林水産物のPR・ブランド化				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 4 節	新たな地域活力の創出				取組 3	白石町産品のブランド化の促進				
1 目的												
『璃の雫』は、令和7年10月に愛称決定し、商標登録を行っており、今後も作付拡大及び販路の開拓を行っていく。また、平成26年度から取り組まれている『なたね』は、白石町産だけでの搾油を目指し、継続的な作付けがなされている。 そのため、この2品種を本町のブランド化推進作物と位置付け、作付拡大を推進し、しろいしブランドの確立を図り所得向上を目指す。												
2 事業内容												
事業実施年度 R6～R8(3カ年)												
【璃の雫】												
○補助率 1/2以内とし、1本あたりの上限を1,000円。ただし、苗木を10本以上購入した場合、補助対象とする												
○限度額 1事業者あたり50,000円まで												
【なたね】												
○補助対象 新規になたね作付された圃場												
○補助額 10a当たり10,000円とし最大4haまで												
3 予算額												
節	予算額	細節	内容説明									
10.需用費	50	消耗品	PR用璃の雫代、試験圃場管理費(資材代)									
11.役務費	49	手数料	ロゴマーク商標登録 ・商標登録出願料の特許印紙代 12,000円 ・商標登録出願料電子化手数料 4,000円 ・登録料 32,900円									
18.負担金、補助及び交付金	550	補助金	【璃の雫】150,000円 【なたね】400,000円									
合計	649											
4 事業の効果												
璃の雫、なたねの作付拡大を推進することにより、新たな特産品の生産拡大が図られ、生産者の所得向上、ブランド化へ向けた取り組みが期待できる。												

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円		
款	6	項	1	目	5	細事業名	スマート農業機械導入推進事業			所属	農業振興課 園芸農産係	
目 名 称		米政策対策費				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		9,000				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	104	
		前年度当初	23,000	前年度最終	23,000	4,500			4,000	500	継 続	
第3次白石町総合計画		第 3 章		活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			施策 19	農林業の振興				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 1 節		農林水産業の振興			取組 3	農業生産額の向上				
1 目的						国庫 新しい地方経済・生活環境創生交付金 その他の財源 ふるさと基金繰入金						
高齡化の進展や農業従事者の減少に対応して、自動操舵システムの導入にかかる費用の一部を助成することにより、耕起、農業散布、収穫等にかかる作業時間の短縮、軽労化が可能となり、農業者の負担軽減や、担い手への農地集積・集約が進み、稼げるしろいし農業の発展につながる。												
2 事業内容												
○対象作物 米・麦・大豆・野菜						【事業期間】令和8年度(1年間)						
○補助率 1/3以内(国1/6 町1/6)(上限補助金:300,000円)												
○対象者 認定農業者												
○内 容 自動操舵システム 1台/1人 作付面積14.5ha以上(佐賀県特定高性能導入計画より)												
事業内容		事業量	事業費	財源内訳								
				国費	町費	実施主体						
自動操舵システム		30台	30,000	4,500	4,500	21,000						
合 計		—	30,000	4,500	4,500	21,000						
3 予算額												
節	予算額	細節	内容説明									
18. 負担金、補助及び交付金	9,000	補助金	スマート農業機械導入推進事業費補助金 9,000,000円									
合 計	9,000											
4 事業の効果												
スマート農業機械の導入支援を行うことにより、農作業の負担軽減が図られ、担い手への農地集積・集約が進み、農業生産額の向上につなげることができる。												

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	無	過疎計画	有	単位:千円	
款	6	項	1	目	6	細事業名	肥育素牛生産拡大施設等整備事業費補助金			所属	農業振興課 園芸農産係
目名称	畜産業費					財源内訳					予算書頁
予算額	981					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	105
	前年度当初	0	前年度最終	0			754			227	新規

第3次白石町総合計画	第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	施策 19	農林業の振興
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	第 1 節	農林水産業の振興	取組 3	農業生産額の向上

1 目的

繁殖農家の経営規模の拡大等を促進することにより肥育素牛の生産拡大を図る。
本事業を活用し、繁殖農家の規模拡大や飼養環境改善に必要な施設等の整備を行うことにより、「佐賀牛」の安定生産体制の構築を図る。

2 事業内容

- 佐賀牛の維持・発展に資するため、県産肥育素牛の生産拡大に必要な施設・機械等の整備に対し助成する。
- 事業主体 2戸以上の営農集団及び農業協同組合
- 補助率(飼養環境改善の取組の場合) 県 1/3以内または補助上限228千円/頭のいずれか低い方
町 1/10以上または補助上限69千円/頭のいずれか低い方

(単位:円)

事業実施主体	機械・施設	事業量	事業費	財源内訳		
				県費	町費	事業実施主体
和牛組合	牛舎改築	600m ²	2,490,400	754,000	227,000	1,509,400
合計			2,490,400	754,000	227,000	1,509,400

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18. 負担金、補助及び交付金	981	補助金	肥育素牛生産拡大施設等整備事業費補助金 981,000円

4 事業の効果

繁殖農家の規模拡大や飼養環境改善に必要な飼養施設等の整備にかかる経費の一部を補助することにより、「佐賀牛」の安定生産体制の構築を図ることができる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	無	過疎計画	有	単位:千円		
款	2	項	1	目	8	細事業名	ふるさと応援事業費			所属	商工観光課 商工係	
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	1,089,789					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	45・46	
	前年度当初	1,116,858	前年度最終	1,149,110					1,002,493	87,296	継 続	
第3次白石町総合計画		第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				施策 24	農林水産物のPR・ブランド化				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 4 節	新たな地域活力の創出				取組 1	白石町産品のブランド化の促進				
						その他の財源 ふるさと寄附金 1,000,000(1/2を事務費へ充当、1/2を積立) ふるさと基金利子 2,493						
1 目的												
平成20年度からスタートした「ふるさと納税制度」において、全国の寄附者に向けた広報を重点的に行うことで継続的な白石町の応援者を集める。寄附者に対して特産品・6次産品を贈呈することで白石町の特産品・6次産品のPR促進を図る。また、ふるさと寄附金を積み立て翌年度以降の事業費に充てる。												
2 事業内容												
・ふるさと納税業務の委託						・民間サイト(ふるさとチョイス等)を利用した受付、事務システム						
・ふるさと寄附金に対する謝礼品の配送委託						・ふるさと会、特産品フェアに出向いてのPR						
・ふるさと寄附金元金積立金												
3 予算額												
節	予算額	細節	内容説明									
8. 旅費	560	特別旅費	首都圏 5回 560,000円									
10. 需用費	700	消耗品費	事務消耗品 150,000円									
		印刷製本費	封筒・お礼状等印刷費 550,000円									
11. 役務費	122,034	通信運搬費	郵便料 6,600,000円									
		広告料	インターネットサイト広告料 109,461,000円									
		手数料	決済手数料 5,973,000円									
12. 委託料	463,540	その他委託料	ふるさと納税業務委託 73,040,000円									
			返礼品配送委託料等 380,000,000円									
			ワンストップ特例申請書受付・郵送業務 10,500,000円									
13. 使用料及び賃借料	462	事務機器リース料	ふるさと納税システム利用料 462,000円									
事務費計			587,296									
24. 積立金	502,493	元金積立金	ふるさと基金元金積立金 500,000,000円									
		利子積立金	ふるさと基金利子積立金 2,493,000円									
合 計			1,089,789									
4 事業の効果												
特産品のPR事業とコラボすることにより、全国に向けて白石町をPRすることができる。また、ふるさと寄附金により重要施策の財源積立金が確保できる。												

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	無	過疎計画	有	単位:千円													
款	7	項	1	目	1	細事業名	しろいしブランド確立対策事業			所属	商工観光課 商工係												
目 名 称	商工振興費					財 源 内 訳					予算書頁												
予 算 額	9,600					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	118												
	前年度当初	6,850	前年度最終	8,306				8,047	1,553		継 続												
第3次白石町総合計画		第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			施策 24	農林水産物のPR・ブランド化																
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 4 節	新たな地域活力の創出			取組 1	白石町産品のブランド化の促進																
						その他の財源 ふるさと基金繰入金 2,000 振興基金利子 6,047																	
<p>1 目的 本町の産業振興及び経営の安定を図り、近年の激化する産地間競争及び販路拡大を推進するため、特産品のPR活動を行い、「しろいしブランド」の名と産物の良さを広め、本町産物の有利販売に向けた各種施策を講じる。特に大消費地である首都圏における玉葱・蓮根の宣伝活動の強化、更には「ふるさと納税」のPRを併せて行い寄附額増を図る。</p> <p>2 事業内容 (1) 特産物宣伝活動事業 ……PR推進用オリジナル販促品等製作、しろいしみのりちゃんPR活動費、特産品提供PR活動、ふるさと大使によるPR活動費 (2) 特産物消費宣伝イベント事業 ……物産販売活動及び販売促進活動支援(主に首都圏) (3) 米消費拡大推進事業 ……町内小中学校における米消費拡大宣伝活動</p> <p>事業主体 白石町特産物PR推進協議会 (白石町・農業協同組合・漁業協同組合・商工会・直売所連絡協議会・しろいし町観光協会)</p> <p>3 予算額</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>予算額</th> <th>細節</th> <th>内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18. 負担金、補助及び交付金</td> <td>9,600</td> <td>補助金</td> <td>特産物宣伝活動事業 特産物消費宣伝イベント事業 米消費拡大推進事業</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>9,600</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●特産物宣伝活動事業 <ul style="list-style-type: none"> ・メディアを活用した宣伝、販促用ノベルティの作成 ・特産品を提供したPR活動 ●特産物消費宣伝イベント事業 <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏大型店で玉葱のトップセールスを実施 4月 ・首都圏スーパーで蓮根のトップセールスを実施 12月 ・首都圏において、白石町産品が一番出回る時期に試食宣伝を実施 ・町イベントとの共催、佐賀県観光課、流通・貿易課主管の各種イベント、他公共団体等イベントでの産物消費宣伝 ●米消費拡大推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・町内産米の消費拡大に資するイベント等への補助 <p>4 事業の効果 事業目的の推進を図るため白石町特産物PR推進協議会を設立することにより、町・農協・商工会・漁協その他関係機関との連携が図られ、特産物等の消費宣伝活動が推進される。また、マスコミ、広告媒体を活用して、本町のPR及び玉葱・レンコン等農産物の消費宣伝が図られる。</p>												節	予算額	細節	内容説明	18. 負担金、補助及び交付金	9,600	補助金	特産物宣伝活動事業 特産物消費宣伝イベント事業 米消費拡大推進事業	合 計	9,600		
節	予算額	細節	内容説明																				
18. 負担金、補助及び交付金	9,600	補助金	特産物宣伝活動事業 特産物消費宣伝イベント事業 米消費拡大推進事業																				
合 計	9,600																						

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円		
款	2	項	1	目	8	細事業名	道の駅しろいし推進事業費			所属	商工観光課 観光係	
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	33,383					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	49	
	前年度当初	22,040	前年度最終	21,380				29,098	4,285	継 続		
第3次白石町総合計画		第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				施策 24	農林水産物のPR・ブランド化				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 4 節	新たな地域活力の創出				取組 1	白石町産品のブランド化の促進				
1 目的						その他の財源						ふるさと基金繰入金 15,000 振興基金繰入金 13,000 道の駅施設使用料、駐車場使用料 1,098
道の駅しろいしの管理運営にあたり指定管理者に業務を委託し、施設の適正な維持管理に努める。 また、有明海沿岸道路の全線開通を見据え、道の駅しろいしの更なる利用者増を目指し、 全国道の駅連絡会、九州道の駅連絡会が開催する総会等への参加、 情報の受発信を行うことにより、より効果が出る道の駅運営に向けての助言等を行う。												
2 事業内容												
・ 委託料:道の駅しろいし指定管理委託						委託先/地域振興団体道の駅しろいしカンパニー						
・ 旅 費:全国「道の駅」連絡会総会、九州・沖縄「道の駅」連絡会総会												
・ 会 費:全国「道の駅」連絡会、九州・沖縄「道の駅」連絡会												
・ 工 事:道の駅しろいしバックヤード下屋工事												
3 予算額												
節	予算額	細 節		内容説明								
08. 旅費	103	特別旅費		特別旅費 ・全国「道の駅」連絡会総会(東京都)				82,000円				
				・九州・沖縄「道の駅」連絡会総会旅費(熊本県水俣市)				21,000円				
10. 需用費	210	消耗品費		消耗品費				10,000円				
		修繕料		施設内修繕料				200,000円				
12. 委託料	20,000	施設設備管理委託料		道の駅しろいし指定管理料(前期・後期)				18,000,000円				
		監理委託料		道の駅しろいしバックヤード工事監理業務委託料				2,000,000円				
14. 工事請負費	13,000	工事請負費		道の駅しろいしバックヤード下屋工事				13,000,000円				
18. 負担金、補助 及び交付金	70	負担金		道の駅連絡会会費 ・全国「道の駅」連絡会会費				20,000円				
				・九州・沖縄「道の駅」連絡会会費				50,000円				
合 計	33,383											
4 事業の効果												
指定管理委託をすることにより、道の駅しろいしの適正な維持管理をすることができ、来訪者にとって快適かつ安全な環境を提供することができる。												

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円		
款	7	項	1	目	2	細事業名	観光費			所属	商工観光課 観光係	
目 名 称	観光費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	28,267					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	118	
	前年度当初	29,152	前年度最終	25,924					20,000	8,267	継 続	
第3次白石町総合計画		第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				施策 23	観光振興				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 3 節	観光の振興				取組 1	多様な観光体験の充実				
その他の財源 ふるさと基金繰入金 20,000												
1 目的												
「白石町観光振興基本計画」に沿って、しろいし町観光協会をはじめ、町内の各種団体とも連携・協力しながら、観光による地域振興を推進していく。												
2 事業内容												
<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議開催／(仮称)オールしろいし観光戦略会議発足 ・ 各種補助金／観光協会補助金、しろいしぺったんこ祭補助金、観光イベント事業補助金、まちおこし振興事業補助金 ・ 町PR看板修繕 												
3 予算額												
節	予算額	細 節		内 容 説 明								
07. 報償費	243	その他報償費		(仮称)オールしろいし観光戦略会議委員報償費 243,000円								
08. 旅費	161	普通旅費		職員旅費・観光物産関係事業説明会・催事出店(福岡市) 42,000円								
		特別旅費		特別旅費・土木工事監督者研修(東京都小平市)4泊5日 119,000円								
10. 需用費	2,276	消耗品費		事務消耗品 20,000円								
		印刷製本費		観光パンフレット印刷費・「おもしろいし」「周遊マップ」増刷 856,000円								
		修繕料		町PR看板修繕料 1,400,000円								
12. 委託料	1,155	その他委託料		交通誘導警備委託料 1,155,000円								
13. 使用料及び賃借料	83	土地借上料		土地借上料 ・町PR看板設置敷地賃借料 83,000円								
18. 負担金、補助及び交付金	24,349	負担金		さが県産品流通デザイン公社会費 90,000円								
				佐賀県観光連盟会費、佐賀県観光連盟特別事業負担金 313,000円								
		補助金		土木研修負担金 77,000円								
観光協会補助金 18,369,000円												
								しろいしぺったんこ祭補助金 5,000,000円				
								観光事業補助金・観光イベント補助金300,000円・まちおこし振興事業補助金200,000円		500,000円		
合 計	28,267											
4 事業の効果												
町全体を観光資源として捉え観光事業に取り組んでいくことで、交流人口・関係人口の拡大につながっていくことが期待できる。												

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円		
款	6	項	1	目	7	細事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業費				所属	農村整備課 農村管理係	
目 名 称	農地費					財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額	20,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	108		
	前年度当初	30,485	前年度最終	8,682			20,000			0	継 続		
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			施策 5	防災対策の推進				
				第 2 節	災害に強く安全・安心な生活環境の整備			取組 1	災害に強いまちづくり				

1 目的

県で造成された排水機場は、農地の冠水や洪水の防止など公益的機能を担っている重要な施設である。対象施設である龍神排水機場は、地域一帯の農地等の湛水被害を解消する目的で造成されているが、造成より20年が経過し、装置・補器類の故障頻度も増加傾向にあり排水機能の維持が課題となっている。この施設の機能を効率的に保全するため、ストックマネジメントの手法を導入し、適時・適切な長寿命化対策として施設の状況に応じたきめ細かい対策を講じることにより災害発生の未然防止を行うことを目的とする。

2 事業内容

- 【龍神排水機場】 12.委託料
R10～予定の対策工事の実施に伴う事業実施計画書(排水解析業務含む)の委託。
- 事業主体:町
 - 実施年度:令和8年度
 - 地区名:代行干拓地区
 - 対象施設:龍神排水機場 実施計画書及び排水解析業務
 - 補助額: 国 定額(100%)

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
12. 委託料	20,000	その他委託料	龍神排水機場 ・実施計画作成業務委託 20,000,000円

4 事業の効果

適時・適切な長寿命化対策として計画的な整備補修を行い、施設を健全な状態に保つことでライフサイクルコストの低減や施設の長寿命化が図れる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	6	項	1	目	7	細事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業費			所属	農村整備課 農村管理係
目 名 称	農地費					財 源 内 訳					
予 算 額	47,030					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	108
	前年度当初	45,030	前年度最終	45,030		28,000		4,600	14,430	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】	施策 5	防災対策の推進				
				第 2 節	災害に強く安全・安心な生活環境の整備	取組 1	災害に強いまちづくり				

その他の財源 白石土地改良区分担金

1 目的

県営事業等で造成された農業水利施設は、ダムなどの基幹的な施設と一体になって用排水を構成し、食料の安定供給の基盤としての役割のほか、洪水の防止などの公益的機能を担っている重要な施設である。
これらの施設は、標準的な耐用年数を経過してゆくものが今後急速に増加する見込みであり、既存の施設の有効活用を図りつつ、施設の機能を効率的に保全していくことが求められていることから、コストの最小化や財政負担の平準化を図るストックマネジメントの手法を導入し施設の状況に応じたきめ細かい対策を講じる。

2 事業内容

町内の用排水の基幹的な役割を果たしている地盤沈下対策水路の制水門の機能を効率的に保全維持するため、計画的に整備する。

制水門整備 10箇所

補助対象事業費の負担割合

国 55% 県15% 町20% 地元 10%(土地改良区)

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
10. 需用費	30	消耗品費	消耗品 5,000円
		燃料費	ガソリン代 25,000円
14. 工事請負費	46,000	工事請負費	補助対象事業費 40,000,000円
			補助対象外事業費 6,000,000円
18. 負担金、補助及び交付金	1,000	負担金	事務負担金 1,000,000円
合計	47,030		

4 事業の効果

団体営造成施設等の劣化状況等の調査に基づき、機能を保全するために必要な対応方を定めた計画を作成し、これに基づく施設の更新や予防的な保全対策、又は事後的な保全対策を適切に組み合わせて行うことにより、白石町全体の水利施設の状況を把握し、かつ早期の対策が図れるため、施設維持にかかるコスト低減が期待できる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円		
款	6	項	1	目	7	細事業名	クリーク防災機能保全対策事業費				所属	農村整備課 農村管理係	
目 名 称	農地費					財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額	21,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	108		
	前年度当初	21,000	前年度最終	64,000			18,900		2,100	継 続			
第3次白石町総合計画				第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			施策 5	防災対策の推進					
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 2 節 災害に強く安全・安心な生活環境の整備			取組 1	災害に強いまちづくり					

地方債の名称 公共事業等債

1 目的

県営地盤沈下対策事業により整備された用排水路は、農業用水の貯水の他、洪水時の一時貯留や地域の排水等の公益的な機能を有しているが、近年の局地的な大雨による水位変動や混住化の進行に伴う流出形態の変化により、軟弱地盤に築造された用排水路に対する洪水負荷が増大しており、法面崩壊や湛水被害が拡大している。このため、地域の幹線的な用排水路には急激な水位変動に伴う排水管理に耐えうるような護岸整備を行い、洪水調整機能の保全・強化に取り組む。

2 事業内容

事業内容：ライニングによる法面保護や泥土浚渫等の整備（負担割合 国55% 県35% 町10%）

対象施設：地盤沈下対策水路

○R8工事対象路線

地沈43号(大字新拓地内) L=1,650.0m

地沈27号(大字八平地区) L=1,550.0m

地沈25号(大字福富下分地区) L=1,600.0m

合計 L=4,800.0m

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18. 負担金、補助及び交付金	21,000	負担金	クリーク防災機能保全対策事業負担金 210,000,000円 × 10% = 21,000,000円
合計	21,000		

4 事業の効果

当該県営事業の取り組みにより、施設の長寿命化や防災減災対策の早期発現が図れる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円		
款	6	項	1	目	7	細事業名	土地改良施設維持管理適正化事業				所属	農村整備課 農村管理係	
目 名 称	農地費					財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額	7,942					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	109		
	前年度当初	330	前年度最終	330				4,500	3,442	継 続			
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			施策 5	防災対策の推進				
				第 2 節	災害に強く安全・安心な生活環境の整備			取組 1	災害に強いまちづくり				

その他の財源 適正化交付金

1 目的

土地改良事業により造成された施設の整備補修のための資金を造成し、この資金を利用して土地改良施設の定期的な整備補修を行い、施設機能の保持と耐用年数の確保を図ることを目的とする。

2 事業内容

土地改良事業施設の整備補修のため5年間で(負担40%中30%分)の資金を造成し(残り10%は事業年度に負担)、この資金を利用して土地改良施設である排水機場の整備補修を行い、施設機能の保持と耐用年数の確保を図る。

本事業を活用し、今年度に有明南部排水機場の真空ポンプ及び冷却水ポンプ各2基を改修予定である。

補助対象事業費の負担割合

【 国 30% 県30 町40% 】※町費負担のうち30%を5箇年で均等に拠出し、残り10%は事業実施年度に支出する。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
14. 工事請負費	7,612	工事請負費	真空ポンプ及び冷却水ポンプ各2基の改修 (うち補助対象経費 5,000千円)
18. 負担金、補助及び交付金	330	負担金	土地改良施設維持管理適正化事業拠出金 事業拠出金 5,000千円*30%/5箇年=300千円 事務費負担金 5,000千円* 3%/5箇年= 30千円
合計	7,942		

4 事業の効果

適正な管理を行うことで、施設の安定的な稼働が見込める。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円			
款	6	項	1	目	9	細事業名				幹線水路維持管理事業費	所属	農村整備課 農村管理係	
目 名 称		水利施設管理事業費				財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額		15,403				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	111・112		
		前年度当初	13,054	前年度最終	13,054		465		3,800	11,138	継 続		
第3次白石町総合計画		第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				施策 5		防災対策の推進					
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 2 節 災害に強く安全・安心な生活環境の整備				取組 1		災害に強いまちづくり					
										その他の財源	ふるさと基金繰入金	3,000	
												白石土地改良区分担金	800
1 目的													
県営地盤沈下対策事業で造成された施設について、地域の農業情勢及び社会情勢の変化に対応した管理を行なうことにより、その効果を適正に発揮させることを目的とする。													
2 事業内容													
町内一円の幹線水路(161km)についてスムーズな用水・排水を行うため、また、地域の農業情勢及び社会情勢の変化に対応した管理を行なうことにより、その効果を適正に発揮させるため適切な維持管理を行う。													
3 予算額													
節	予算額	細 節		内 容 説 明									
10. 需用費	2,540	消耗品	消耗品	40,000円									
		修繕料	制水門等修繕料	2,500,000円									
13. 使用料及び賃借料	979	土地借上料	工事用借地料	84,000円									
		機械借上料	機械借上料	895,000円									
14. 工事請負費	8,000	工事請負費	地沈16号ほか用排水路補修工事 その他局部補修工事	8,000,000円									
15. 原材料費	94	原材料費	管理道路等補修材料費	94,000円									
18. 負担金、補助及び交付金	3,790	補助金	幹線水路水草除去助成金	90,000円									
			農業水利施設等整備事業補助金(R4~)	3,700,000円									
			(制水門電動化等に対する事業補助金)※事業期間延長										
合計	15,403												
4 事業の効果													
幹線水路の適切な管理を行うことで、農業経営の安定化が図られる。													

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計				総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円
款	6	項	1	目	7	細事業名	農業生産基盤改善対策事業費補助金				所属	農村整備課 農村整備係	
目 名 称	農地費					財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額	1,500					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	107	継 続	
	前年度当初	1,000	前年度最終	1,000						1,500			
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 3 章	活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				施策 19	農林業の振興			
				第 1 節	農林水産業の振興				取組 2	農地の流動化			

1 目的

農業の生産性の向上と農家経営の効率的かつ安定的な農業生産の再編を促進し、経営規模拡大等を進める担い手への農地集積を円滑に進める農業構造の改善に資するため、圃場の区画拡大整備又は暗渠排水整備を行う者に対して補助金を交付する。補助事業の期限を令和6年度～令和8年度(3年間)とする。

2 事業内容

○区画拡大整備

畦畔除去を伴う均平に要する経費の100分の30以内とし、10アールあたり4,800円を限度として補助する。

○暗渠排水整備

有材暗渠の埋設にあたっては、1メートルにつき120円(10アールあたり12,000円を限度とする)、有材暗渠の清掃にあたっては、1メートルにつき10円を補助する。

※暗渠排水整備については、過去に国・県等の補助事業を活用していない圃場(農地)を対象とする。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18. 負担金、補助 及び交付金	1,500	補助金	農業生産基盤改善対策事業補助金 ※区画拡大整備に要する事業補助金 ※暗渠排水整備に要する事業補助金
合 計	1,500		

4 事業の効果

農産物の生産性の向上及び農家の経営安定に寄与できる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	6	項	1	目	7	細事業名	多面的機能支払交付金事業			所属	農村整備課 農村整備係
目名称	農地費					財源内訳					
予算額	449,559					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	107
	前年度当初	425,430	前年度最終	437,219		336,734			112,825	継続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第5章 自然環境と共生するまち【自然環境の保全】			施策 30	自然環境の保全			
				第1節 緑の保全や創出			取組 2	自然環境保全の推進			

1 目的

農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律に基づき、農業・農村の多面的機能の発揮のための地域活動や営農の継続等に対する下記活動に対し支援を行う。
 ①地域資源の基礎的保全活動 ②地域資源の資質向上を図る共同活動 ③地域資源である施設の長寿命化を図る活動の3事業(活動)内容に対し支援する。

2 事業内容

- ① 農地維持支払事業…地域資源の基礎的保全活動等の多面的機能を支える共同活動【負担割合 国50%、県25%、町25%】
- ② 資源向上支払(共同活動)事業…地域資源の資質向上を図る共同活動【負担割合 国50%、県25%、町25%】
- ③ 資源向上支払(長寿命化)事業…地域資源である施設の長寿命化を図る活動【負担割合 国50%、県25%、町25%】

○補助金の流れ「国→県→町→活動組織」

○返還金の流れ「町→県→国」

町から県へ(国及び県補助金分)を返還。

※活動組織(事業主体)には当該年度分の補助金から返還金を相殺して交付。

◆対象農用地面積及び組織数並びに交付単価等

	対象農用地面積		組織数	交付単価	加算措置事項
農地維持支払事業	田 5129.75ha	畑 208.92ha	69組織	田 3,000円/10a ・ 畑 2,000円/10a	—
資源向上支払(共同活動)事業	田 5129.75ha	畑 138.90ha	68組織	田 1,800円/10a ・ 畑 1,080円/10a	加算 田 300円/10a 畑 180円/10a
資源向上支払(長寿命化)事業	田 4856.07ha	畑 202.27ha	61組織	田 4,400円/10a ・ 畑 2,000円/10a	—

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明				備考
			交付金額	国補助金(1/2)	県補助金(1/4)	町補助金(1/4)	
18. 負担金、補助及び交付金	448,979	補助金	○農地維持支払交付金				交付率90%
			158,070,900	79,035,450	39,517,725	39,517,725	
			○資源向上支払交付金(共同)				
			94,966,740	47,483,370	23,741,682	23,741,688	
			○資源向上支払交付金(長寿命化)				
			195,941,232	97,970,616	48,985,308	48,985,308	
合計			448,978,872	224,489,436	112,244,715	112,244,721	
22. 償還金、利子及び割引料	580	返還金	対象農用地の農振除外等に伴い、その面積相当分について過年度交付分の補助金の返還を行う必要があるため				
合計	449,559						

4 事業の効果 地域内の農業者とその他の者が取り組む、地域の農用地の保全に資する活動を支援することにより農業の有する多面的機能の発揮を促進する。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	6	項	1	目	7	細事業名	基盤整備促進事業(農道整備)				所属	農村整備課 農村整備係
目 名 称	農地費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	32,100					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	108	
	前年度当初	46,400	前年度最終	49,400			16,775	13,000	1,600	725	継 続	
第3次白石町総合計画				第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			施策 9	道路・橋りょうの整備				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 3 節 体系的な交通網の整備・充実			取組 3	道路・橋りょうの整備				

1 目的

農作業道の整備により、交通面の利便性の向上と農作業時間の短縮を図り、荷痛み防止による農作物の品質向上と安定的な供給の確保を行う。
また、担い手への農地集積率の向上及び生産拡大、担い手の育成・確保を推進する。

地方債の名称 過疎対策事業債
その他の財源 農業基盤整備促進事業分担金

2 事業内容

<小規模整備型>

◎農作業道整備(未舗装農道の舗装工事):白石第9地区 ●農作業道舗装事業費負担割合 国 55%・町 40%・土地改良区 5%

・農道白石西1-3号線(L=175m) ・緑郷川1号農作業道(L=350m) ・緑郷川2号農作業道(L=430m) 計 3路線 (L=955m)

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
10. 需用費	100	消耗品費	土地改良工事積算基準書等 60,000円 事務用品費 40,000円
14. 工事請負費	32,000	工事請負費	農作業道舗装工事 32,000,000円
合 計	32,100		

【歳入の算定】

◎基盤整備促進事業費補助金
(補助対象事業費ベースで算定)
・農作業道舗装工事 30,500千円×55% 16,775千円
補助金額

◎分担金(土地改良区)
・農作業道事業費 32,000千円×5% 1,600千円
分担金額

4 事業の効果

農作業道の整備により、交通面の利便性の向上と農作業時間の短縮を図り、荷痛み防止による農作物の品質向上と安定的な供給を確保することができる。
また、荷痛み等の影響を受けやすい農作物の生産が可能となるため、担い手への農地の集積、生産拡大、所得の向上が図られる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	6	項	1	目	7	細事業名	白石町基盤整備促進事業				所属	農村整備課 農村整備係
目 名 称	農地費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	900					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	108	
	前年度当初	1,170	前年度最終	1,170					900	継 続		
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 3 章 活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】				施策 19	農林業の振興			
				第 1 節 農林水産業の振興				取組 3	農業生産額の向上			

1 目的

圃場整備等で整備された水路等施設の補修について、白石土地改良区等が事業主体となり整備する事業について、受益者負担の軽減対策を図り、地域の活性及び農業の振興と農村の環境を改善する。

2 事業内容

佐賀県基盤整備促進事業補助金交付要綱及び白石町基盤整備促進事業補助金交付要綱に基づき、事業実施主体である白石土地改良区に補助金を交付する。

【小規模整備型】 補助率 対象事業費の22.5% 【負担割合 国55%、町22.5%、受益者22.5%】

・圃場整備等で整備された水路等の施設補修に伴う補助金。

・築切地区(用排水路補修整備 L=720m)補助対象総事業費 7,000千円(施工予定 R8年度 L=400m:4,000千円 R9年度 L=320m:3,000千円)

工事内容:用排水路の整備(底張コンクリート打設)

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18. 負担金、補助及び交付金	900	補助金	用排水路(築切)の補修整備事業 4,000千円×22.5%(補助率) (R8施工分:L=400m:事業費4,000千円) 900,000円
合 計	900		

4 事業の効果

農業・農村の保全管理による基盤整備を図り、施設の維持・保全と農業の振興及び農村の環境保持を図ることができる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円		
款	6	項	2	目	1	細事業名	森林環境基金事業費			所属	農村整備課 水産林務係
目 名 称	林業振興費					財 源 内 訳					
予 算 額	5,754					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	113
	前年度当初	3,898	前年度最終	2,052				5,754	0	継 続	
第3次白石町総合計画			第 3 章 活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】			施策 19	農林業の振興				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 1 節 農林水産業の振興			取組 4	林業の振興				

その他の財源 森林環境基金繰入金

1 目的

白石町森林環境基金を財源として、森林の整備並びに森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材の利用の促進その他の森林の整備の促進に関する施策を実施する。

2 事業内容

- 佐賀県森林クラウドシステムの運用
- 白石町美緑推進協議会が行う小学生等を対象とした森林教室への支援
- しろいし美緑の森林再生事業実施要領に基づく間伐業務(大字辺田、田野上地区)及び森林所有者意向調査業務(大字坂田地区)
- 危険木の伐採等に対する補助(地域森林計画の対象森林のうち、倒木等により家屋等に被害を及ぼす恐れが有る危険木の伐採、撤去及び処分に要する経費に対し、当該経費の1/2以内の額(1件当たりの限度額は10万円)を補助する。)
- 武雄杵島森林組合が実施する通年雇用型作業員の雇用確保対策への支援(福利厚生充実(通勤手当、家族手当及び住居手当の支給)に要する経費の100分の4.5以内の額を補助するとともに、福利厚生充実(危険手当及び酷暑手当の支給)及び各種資格取得に要する経費の100分の9以内の額を補助する。)

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
12. 委託料	4,147	その他委託料	・間伐業務委託料(辺田、田野上地区) ・意向調査業務委託料(坂田地区)
13. 使用料及び賃借料	658	事務機器リース料 公用車リース料	佐賀県森林クラウドシステム利用料 森林管理用公用車リース料
18. 負担金、補助及び交付金	949	補助金	・森林教室支援事業費補助金 ・危険木伐採等事業費補助金 ・武雄杵島森林組合雇用確保対策事業費補助金
合 計	5,754		

4 事業の効果

森林の有する公益的機能の維持増進が図られる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	6	項	2	目	2	細事業名	林道維持費			所属	農村整備課 水産林務係
目 名 称	林道費					財 源 内 訳					
予 算 額	15,237					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	113・114
	前年度当初	10,547	前年度最終	10,043						15,237	継 続
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)						第 3 章 活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】		施策 19	農林業の振興		
						第 1 節 農林水産業の振興		取組 4	林業の振興		

1 目的

林道の機能発揮と耐用年数の確保を図るため、林道・作業道の危険箇所の点検及び適切な維持管理を行う。

2 事業内容

□林道・作業道の維持管理：経年により老朽化した道路の維持補修等を行い、安全の確保と森林環境の整備を図る。

□山間地環境整備事業に対する補助

：地域住民の生活環境の整備を図るため、自治会等の地域団体が実施する山間地環境整備事業に対し、事業費の80%を限度として補助を行う。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
8. 旅費	170	特別旅費	・林道技術研修 ・林道整備事業林野庁協議
10. 需用費	490	消耗品費	一般事務用品・現場用消耗品
		燃料費	作業機械用混合油、公用車用ガソリン
		修繕料	チェーンソー修理・林道修繕・公用車修繕等
11. 役務費	26	手数料	害虫駆除手数料等
12. 委託料	11,150	その他委託料	・林道沿線伐開清掃委託料 ・林道深浦渡平線落石点検診断業務委託料 ・林道深浦渡平線桜診断業務委託料
13. 使用料及び賃借料	186	機械借上料	バックホウ・ダンプトラック等借上料
14. 工事請負費	2,000	工事請負費	林道維持補修工事費
18. 負担金、補助及び交付金	1,215	負担金	佐賀県治山林道協会負担金
		補助金	山間地環境整備事業費補助金
合 計	15,237		

4 事業の効果 林道の安全性向上及び森林施業の利便性の向上が図られる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	無	過疎計画	有	単位:千円	
款	6	項	3	目	3	細事業名	漁港整備事業費			所属	農村整備課 水産林務係
目 名 称	漁港整備事業費					財 源 内 訳					
予 算 額	102,198					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	116
	前年度当初	372,205	前年度最終	362,316		50,000	15,000	35,000		2,198	継 続

第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	第 3 章 活気と魅力のある豊かなまち【産業の振興】	施策 20 水産業の振興
	第 1 節 農林水産業の振興	取組 1 生産基盤の整備

地方債の名称 過疎対策事業債

1 目的

安全性、機能性、快適性等の就労環境や観光漁業など総合的に配慮した『白石地域水産業の拠点』としての漁港整備を行い、漁獲物の増大と生産効率の向上及び鮮度保持・品質確保を図り、白石町の2大拠点漁港として海苔養殖業を中心とする水産業の発展に寄与していく。

2 事業内容

- 漁港整備事業(住ノ江漁港水産生産基盤整備事業)全般
- その他漁港整備関連全般

※住ノ江漁港水産生産基盤整備事業計画概要

【総事業費】2,220,000

工 種	事業量
物揚場(棧橋式)	76.0 m
1号物揚棧橋	40.2 m
2号物揚棧橋	40.2 m
船揚場	65.2 m
水域施設(泊地浚渫)	13,200 m ²
1号道路	95 m
2号道路	320 m
漁港施設用地	14,467 m ²
既設構造物取壊等	1 式

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
8. 旅費	201	特別旅費	・漁港漁場整備事業水産庁協議 ・漁港漁場整備工事工場検査(鋼管杭) ・積算技術講習会等
10. 需用費	453	消耗品費 印刷製本費	一般事務用品・現場用消耗品・書籍代 図面製本費(工事監理用)
11. 役務費	11	通信運搬費	作業船在港情報提供料
13. 使用料及び賃借料	533	事務機器リース料	公共事業積算共同利用システム使用料
14. 工事請負費	101,000	工事請負費	住ノ江漁港棧橋施設整備工事
合 計	102,198		

【事業実施期間】2018年度～2028年度

【負担区分】国50%・県15%(用地は10%)
・町30%(用地は35%)・漁協5%

【令和8年度補助金内訳】

補助対象事業費 100,000
 国庫 100,000 × 50% = 50,000
 県費 100,000 × 15% = 15,000

4 事業の効果

水産資源の持続的利用と良質な水産物を安全で効率的に供給する体制の整備並びに安全で快適な漁業地域の形成及び漁業経営の向上が図られる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円	
款	8	項	2	目	1	細事業名	道路改築・修繕事業			所属	建設課 建設係
目 名 称	道路維持費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	33,400					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	122
	前年度当初	30,400	前年度最終	30,400			33,000		400	継 続	
第3次白石町総合計画		第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				施策 9	道路・橋りょうの整備				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 3 節 体系的な交通網の整備・充実				取組 1	道路・橋りょうの整備				

地方債の名称 過疎対策事業債

1 目的

町道約430kmの中には既にアスファルト舗装の耐用年数が過ぎて老朽化の激しい箇所が多く見受けられる。このため、路面性状調査を行い、緊急性の高い路線から順次、舗装補修を実施しており、地域住民の日常生活が安心・安全で利便性の高い快適な道路環境を構築する。

2 事業内容

道路ストック総点検(路面性状調査)等に基づき道路老朽化対策(舗装補修)を計画的に順次行う。

施工箇所 ①町道廻里津大和線 L= 230m

②町道干拓線 L= 480m

計 2路線 L= 710m

3 予算額

節	予算額(千円)	細 節	内 容 説 明
10. 需用費	100	消耗品費	現場消耗品等
14. 工事請負費	33,000	工事請負費	町道改築・舗装補修工事 2路線
15. 原材料費	300	原材料費	道路補修用碎石、舗装補修材等
計	33,400		

4 事業の効果

老朽化した道路の維持補修工事を実施することで、道路利用者の安心・安全な通行が確保できる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	無	過疎計画	有	単位：千円	
款	8	項	2	目	2	細事業名	道路新設改良費			所属	建設課 建設係
目 名 称	道路新設改良費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	60,005					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	123
	前年度当初	35,005	前年度最終	35,005				52,000		8,005	継 続
第3次白石町総合計画				第 1 章 ひとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			施策 9	道路・橋りょうの整備			
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 3 節 体系的な交通網の整備・充実			取組 1	道路・橋りょうの整備			

地方債の名称 過疎対策事業債

1 目的

近年のモータリゼーションの進展や営農体系の変化で、車両や農業用機械が大型化し、道路構造が対応できない状況にある。また、通学路や生活道路が狭小である路線も多くあり、車や人、自転車との離合に支障をきたしているため、これらの路線や地元要望路線を整備することで、より安全・安心に利用できる道路網の整備とひとりある生活基盤の確保を図る。

2 事業内容

- ①町道第一東区線 改良・舗装工事（継続） 全長L=180m W=9.5m R10年度まで R8計画： L=160m(工事)
- ②町道古賀辺田線 改良・舗装工事（新規） 全長L=100m W=7.0m R12年度まで R8計画： 家屋等補償算定(委託)
- ③町道新地方西部線 改良・舗装工事（継続） 全長L=630m W=5.0m R10年度まで R8計画： L=145m(工事)
- ④町道太原小島線 改良・舗装工事（継続） 全長L=870m W=9.0m R10年度まで R8計画： L=160m(工事)

3 予算額

節	予算額(千円)	細節	内容説明
10.需用費	50	消耗品費	現場消耗品、事務用品 50,000 円
11.役務費	5	手数料	印鑑証明書交付手数料等 5,000 円
12.委託料	8,000	その他委託料	CBR調査業務委託 2路線 1,000,000 円
			家屋等補償算定業務委託 3棟 7,000,000 円
13.使用料及び賃借料	710	事務機器リース料	公共事業設計積算共同システム利用料 710,000 円
14.工事請負費	50,000	工事請負費	道路改良工事 3路線 45,000,000 円
			残土石灰処理工(ストックヤード) 5,000,000 円
16.公有財産購入費	200	土地購入費	町道敷地購入費 200,000 円
18.負担金、補助及び交付金	40	負担金	建設技術職員専門研修受講料 40,000 円
20.補償、補填及び賠償金	1,000	補償金	電柱移設2本 1,000,000 円
合 計	60,005		

4 事業の効果

道路整備を行うことにより、地域住民の交通安全の確保及び利便性の向上が図られる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円		
款	8	項	2	目	2	細事業名	通学路整備事業				所属	建設課 建設係	
目 名 称	道路新設改良費					財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額	132,095					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	123・124		
	前年度当初	195,020	前年度最終	197,095		59,950		68,000		4,145	継 続		
第3次白石町総合計画				第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				施策 9	道路・橋りょうの整備				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 3 節 体系的な交通網の整備・充実				取組 1	道路・橋りょうの整備				

地方債の名称 過疎対策事業債

1 目的

交通安全対策事業(通学路緊急対策)で取り組む路線は、小・中学校、高校の通学路であり、地域間を結ぶ主要道路ともなっている。しかし、いずれの路線も歩道の設置がなされておらず、一般車両と歩行者が交錯し危険な状況である。このため、車道の幅員確保及び歩道を設置することにより、歩行者の安全を確保し人に優しい交通環境の整備を図る。

2 事業内容

①町道太原本線(太原下工区)	町道遠江搦8号線～国道444号	改良・舗装工事	全長L=470m W=10.0m (継続) R8年度まで	R8計画:L=190m(工事)
②町道太原本線(太原上工区)	町道築切北川線～国道207号	改良・舗装工事	(新規) R11年度まで	R8計画:概略設計(委託)
③町道太原上線(太原上工区)	町道廿治大井線～国道207号	改良・舗装工事	(新規) R11年度まで	R8計画:L=210m(工事)
④町道太原上線(太原上工区)	国道207号～町道築切北川線	改良・舗装工事	(新規) R11年度まで	R8計画:用地測量(委託)

3 予算額

節	予算額(千円)	細 節	内 容 説 明
8. 旅費	15	特別旅費	県外研修会交通費
10. 需用費	250	消耗品費	事務消耗品、積算基準書等
12. 委託料	9,600	測量設計委託料	太原本線 概略設計業務 太原上線 用地測量業務
		その他委託料	太原本線道路改良工事発注者支援業務委託
14. 工事請負費	122,000	工事請負費	太原本線 道路改良工事(L=190m)、函渠拡幅 1箇所 太原上線 土留ブロック撤去工事(L=210m)
15. 原材料費	230	原材料費	道路補修用砕石、舗装補修材等
計	132,095		

<財源内訳>

補助対象事業費	100,000	
町 単 独 費	32,095	
財源内訳	国庫補助金	59,950
	起 債	68,000
	一般財源	4,145

補助率0.5995

4 事業の効果

整備計画路線は、主に小中学校の通学路となっており、国の補助事業を活用した道路整備(歩道設置)を行うことにより歩行者の安全性が確保できる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	無	単位：千円		
款	8	項	2	目	3	細事業名	交通安全施設費			所属	建設課 建設係
目 名 称	交通安全施設費					財 源 内 訳					
予 算 額	30,200					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	124
	前年度当初	10,500	前年度最終	10,500			3,000		2,700	24,500	継 続
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			施策 7	交通安全の推進				
			第 2 節 災害に強く安全・安心な生活環境の整備			取組 2	交通安全施設の整備				

その他の財源 交通安全対策特別交付金

1 目的

白石町交通安全プログラムに基づく通学路合同点検により、対策が必要な箇所への交通安全施設工事を実施すると共に、車両の通行が多い道路の区画線等の引き直しや見通しの悪い交差点やカーブのある公道などにカーブミラーやガードレール等の交通安全施設の設置を行い、歩行者及び通行車両の安全確保を図る。

町内の一灯式点滅信号機の老朽化に伴い今後故障等が発生した場合、部品の供給が中止されており修理不可能となるため、警察による一灯式点滅信号機の撤去にあわせて交差点の安全対策を実施する。

ゾーン30エリア内における通学路上の事故、交通規制、自動車走行速度などのデータを分析・評価し、警察や学校、地域などとも連携し、物理的デバイスを設置するゾーン30プラスの導入に取り組む。

改正道路交通法施行令の施行により、中央線のない生活道路における自動車の法定速度が引き下げられることから、既設の中央線で明示不良箇所について引き直しを行う。

2 事業内容

- ・町内の区画線設置、道路反射鏡設置及びガードレール設置等の工事施工を行う。
- ・交差点の安全対策のための施設整備を行う。
- ・ゾーン30エリア内の速度抑制対策工事を行う。
- ・明示不良の中央線を主とする区画線の引き直しを行う。

3 予算額

節	予算額(千円)	細 節	内 容 説 明	
14. 工事請負費	30,200	工事請負費	交通安全施設整備工事	6,000,000 円
			交差点安全対策工事 3箇所	2,300,000 円
			速度抑制対策工事	6,000,000 円
			区画線設置工事	15,900,000 円
計	30,200			

4 事業の効果

町民のニーズに応えるべく、交通事故の抑止や通学路の安全確保及び交通の円滑化の向上が図られる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	有	単位:千円		
款	8	項	2	目	4	細事業名		道路メンテナンス事業			所属	建設課 建設係
目 名 称		橋りょう維持費				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		45,030				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	124	
		前年度当初	82,530	前年度最終	82,530	20,982		6,300	1,700	16,048	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			施策 9	道路・橋りょうの整備				
			第 3 節	体系的な交通網の整備・充実			取組 1	道路・橋りょうの整備				
1 目的						地方債の名称	過疎対策事業債					
橋梁長寿命化修繕計画策定により計画的な橋梁の維持管理を行い、将来的な財政負担の低減及び道路交通の安全性の確保を図る。						その他の財源	橋りょう費負担金					
2 事業内容												
・「道路法施行規則の一部を改正する省令」が平成26年7月1日に施行され、国が定める統一的な基準により、5年に1回の頻度で近接目視による点検が義務化されたため、長寿命化修繕計画に基づき対象橋梁の定期点検を行う。												
・橋梁定期点検において、防護柵の破断や欠損等の著しい損傷が確認された橋梁防護柵等の補修工事、橋面舗装の広範囲なひび割れの影響により損傷の進行が懸念される橋梁の舗装打ち換え等を行う。												
3 予算額												
節	予算額(千円)	細節	内容説明									
8.旅費	20	特別旅費	橋梁研修旅費 20,000円×1名 20,000 円									
10.需用費	10	消耗品	簡易補修材料・道具等 10,000 円									
12.委託料	37,000	その他委託料	橋梁定期点検業務委託 153橋 37,000,000 円									
14.工事請負費	8,000	工事請負費	新渡大橋外灯取替工事 9基 5,000,000 円 橋梁防護柵、舗装等補修工事 3,000,000 円									
合 計	45,030	.										
4 事業の効果												
定量的かつ定期的な維持補修により橋梁の長寿命化を促し、維持補修にかかる金額の平準化及び第三者被害の防止を図る。												

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円																	
款	8	項	1	目	1	細事業名			住民協働・道路等環境整備事業費		所属	建設課 維持管理係															
目 名 称		土木総務費				財 源 内 訳					予算書頁																
予 算 額		16,600				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	121																
		前年度当初	10,000	前年度最終	14,000				15,000	1,600	継 続																
第3次白石町総合計画			第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			施策 9	道路・橋りょうの整備																				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 3 節 体系的な交通網の整備・充実			取組 1	道路・橋りょうの整備																				
その他の財源 ふるさと基金繰入金																											
1 目的	地域住民の生活環境を整備し、住みよい町づくりを推進するため、地域住民が主体となって整備する事業に対し助成を行うことで、地域住民の和と絆を構築しよりよい町づくりに資することを目的とする。																										
2 事業内容	<p>① 住民協働環境整備資材等支給事業 住民が主体となって行う地区内の環境整備事業に対し、必要な資材費等の費用を助成する。 ○事業対象 公道(町道)等 ○住民作業型 一部業務委託可 ○補助限度額 700,000円</p> <p>② 道路等環境整備事業 各地区が主体となって施工する地域内の環境整備事業に対し、事業費の80%を限度として補助を行う。 ○事業対象 法定外道路・水路等 ○工事発注型 ○補助限度額 1,500,000円 ※その他事業(多面的機能支払交付金など)による整備可能路線は対象外</p>																										
3 予算額	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">節</th> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 15%;">細 節</th> <th style="width: 55%;">内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">18.負担金、補助及び交付金</td> <td rowspan="2">16,600</td> <td rowspan="2">補助金</td> <td>住民協働環境整備資材等支給事業 (補助限度額 700千円/1地区×13地区)</td> <td style="text-align: right;">9,100,000 円</td> </tr> <tr> <td>道路等環境整備事業 (補助限度額 1,500千円/1地区×5地区)</td> <td style="text-align: right;">7,500,000 円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>16,600</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											節	予算額	細 節	内容説明	18.負担金、補助及び交付金	16,600	補助金	住民協働環境整備資材等支給事業 (補助限度額 700千円/1地区×13地区)	9,100,000 円	道路等環境整備事業 (補助限度額 1,500千円/1地区×5地区)	7,500,000 円	合 計	16,600			
節	予算額	細 節	内容説明																								
18.負担金、補助及び交付金	16,600	補助金	住民協働環境整備資材等支給事業 (補助限度額 700千円/1地区×13地区)	9,100,000 円																							
			道路等環境整備事業 (補助限度額 1,500千円/1地区×5地区)	7,500,000 円																							
合 計	16,600																										
4 事業の効果	<p>町の事業として着手しにくい地区内の里道や生活排水路などの整備を図り、生活環境の改善に資する。 町内の生活環境施設の小規模な維持管理を住民と協働で行うことにより、環境の改善と地域の活力の増進を図ることができる。</p>																										

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円																																																									
款	8	項	2	目	1	細事業名			道路維持費	所属	建設課 維持管理係																																																							
目 名 称		道路維持費				財 源 内 訳					予算書頁																																																							
予 算 額		31,710				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	121・122																																																							
		前年度当初	29,254	前年度最終	29,254				8,700	23,010	継 続																																																							
第3次白石町総合計画		第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			施策 9	道路・橋りょうの整備																																																												
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 3 節 体系的な交通網の整備・充実			取組 1	道路・橋りょうの整備																																																												
その他の財源 道路、法定外公共物占用料																																																																		
1 目的	町道の適正な維持管理を行うことにより、安全で効率的な道路機能を保持し、日常生活における利便性の向上及び交通安全対策を図ることを目的とする。																																																																	
2 事業内容	町道の適正な維持管理に必要な、道路補修、路肩除草、街灯管理、融雪材散布 他																																																																	
3 予算額	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>予算額</th> <th>細節</th> <th>内容説明</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.報償費</td> <td>351</td> <td>その他報償費</td> <td>機械除草報償費(損料含)</td> <td>351,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">10.需用費</td> <td rowspan="4">5,351</td> <td>消耗品費</td> <td>交通規制看板、三角コーン、事務用品等</td> <td>200,000 円</td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td>作業用燃料費(混合油)</td> <td>11,000 円</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>道路付帯施設(外灯、排水ポンプ)の電灯・電気料</td> <td>2,640,000 円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>町管理道路及び付帯施設の軽微な補修</td> <td>2,500,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">12.委託料</td> <td rowspan="4">4,380</td> <td rowspan="4">その他委託料</td> <td>融雪剤散布委託料</td> <td>640,000 円</td> </tr> <tr> <td>町道等除草委託</td> <td>2,337,000 円</td> </tr> <tr> <td>町道等風倒木伐採業務委託</td> <td>1,003,000 円</td> </tr> <tr> <td>町道等交通規制委託料</td> <td>400,000 円</td> </tr> <tr> <td>13.使用料及び賃借料</td> <td>428</td> <td>機械借上料</td> <td>町道等作業用機械借上料</td> <td>428,000 円</td> </tr> <tr> <td>14.工事請負費</td> <td>20,000</td> <td>工事請負費</td> <td>町内一円道路補修工事</td> <td>20,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>15.原材料費</td> <td>1,200</td> <td>原材料費</td> <td>道路補修用原材料費</td> <td>1,200,000 円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>31,710</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											節	予算額	細節	内容説明		7.報償費	351	その他報償費	機械除草報償費(損料含)	351,000 円	10.需用費	5,351	消耗品費	交通規制看板、三角コーン、事務用品等	200,000 円	燃料費	作業用燃料費(混合油)	11,000 円	光熱水費	道路付帯施設(外灯、排水ポンプ)の電灯・電気料	2,640,000 円	修繕料	町管理道路及び付帯施設の軽微な補修	2,500,000 円	12.委託料	4,380	その他委託料	融雪剤散布委託料	640,000 円	町道等除草委託	2,337,000 円	町道等風倒木伐採業務委託	1,003,000 円	町道等交通規制委託料	400,000 円	13.使用料及び賃借料	428	機械借上料	町道等作業用機械借上料	428,000 円	14.工事請負費	20,000	工事請負費	町内一円道路補修工事	20,000,000 円	15.原材料費	1,200	原材料費	道路補修用原材料費	1,200,000 円	合 計	31,710			
節	予算額	細節	内容説明																																																															
7.報償費	351	その他報償費	機械除草報償費(損料含)	351,000 円																																																														
10.需用費	5,351	消耗品費	交通規制看板、三角コーン、事務用品等	200,000 円																																																														
		燃料費	作業用燃料費(混合油)	11,000 円																																																														
		光熱水費	道路付帯施設(外灯、排水ポンプ)の電灯・電気料	2,640,000 円																																																														
		修繕料	町管理道路及び付帯施設の軽微な補修	2,500,000 円																																																														
12.委託料	4,380	その他委託料	融雪剤散布委託料	640,000 円																																																														
			町道等除草委託	2,337,000 円																																																														
			町道等風倒木伐採業務委託	1,003,000 円																																																														
			町道等交通規制委託料	400,000 円																																																														
13.使用料及び賃借料	428	機械借上料	町道等作業用機械借上料	428,000 円																																																														
14.工事請負費	20,000	工事請負費	町内一円道路補修工事	20,000,000 円																																																														
15.原材料費	1,200	原材料費	道路補修用原材料費	1,200,000 円																																																														
合 計	31,710																																																																	
4 事業の効果	道路維持管理事業を計画的に実施することにより、交通安全対策及び日常生活の利便性向上に寄与することができる。																																																																	

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円																																																														
款	8	項	3	目	1	河川総務費				所属	建設課 維持管理係																																																													
目 名 称	河川総務費					財 源 内 訳					予算書頁																																																													
予 算 額	21,701					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	124・125																																																													
	前年度当初	84,014	前年度最終	84,014				9,900		11,801	継 続																																																													
第3次白石町総合計画		第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				施策 5	防災対策の推進																																																																	
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 2 節 災害に強く安全・安心な生活環境の整備				取組 1	災害に強いまちづくり																																																																	
地方債の名称 緊急自然災害防止対策事業債																																																																								
1 目的	河川等の適切な維持管理と洪水被害の未然防止及び軽減を目的に必要な諸施策を行い、安全で快適な生活環境の整備を図る。																																																																							
2 事業内容	河川に関する改修要望等の取りまとめ、対応及び国・県への進達、要望。関係協議会・期成会活動による河川関係業務の円滑な推進。河川及び付帯施設の適切な維持管理(水草除去、除草及び只江川河川敷管理委託等)及び河川整備工事の施工を行う。																																																																							
3 予算額	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>予算額</th> <th>細節</th> <th>内容説明</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">10.需用費</td> <td rowspan="4">7,465</td> <td>消耗品費</td> <td>樋管、排水機場操作人用潮見表他</td> <td>135,000 円</td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td>ゲート等燃料費(混合油等)</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>町設置排水ポンプ及び付帯施設の電気・電灯料</td> <td>6,300,000 円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>町管理排水ポンプ・ゲート修繕</td> <td>1,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>11.役務費</td> <td>20</td> <td>手数料</td> <td>廃棄物処理手数料 廃プラ、木くず類</td> <td>20,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">12.委託料</td> <td rowspan="2">3,599</td> <td>施設設備管理委託料</td> <td>河川管理委託料</td> <td>3,440,000 円</td> </tr> <tr> <td>その他委託料</td> <td>電気保安保守点検委託料(馬田排水ポンプ)</td> <td>158,400 円</td> </tr> <tr> <td>13.使用料及び賃借料</td> <td>300</td> <td>機械借上料</td> <td>仮設排水ポンプ、発電機等</td> <td>300,000 円</td> </tr> <tr> <td>14.工事請負費</td> <td>9,900</td> <td>工事請負費</td> <td>河川整備工事(2箇所)</td> <td>9,900,000 円</td> </tr> <tr> <td>15.原材料費</td> <td>50</td> <td>原材料費</td> <td>堰板材料代等</td> <td>50,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">18.負担金、補助及び交付金</td> <td rowspan="3">367</td> <td rowspan="3">負担金</td> <td>全国海岸協会負担金</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>六角川改修期成同盟会負担金</td> <td>284,000 円</td> </tr> <tr> <td>佐賀県治水砂防・防災協会会費</td> <td>52,780 円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>21,701</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											節	予算額	細節	内容説明		10.需用費	7,465	消耗品費	樋管、排水機場操作人用潮見表他	135,000 円	燃料費	ゲート等燃料費(混合油等)	30,000 円	光熱水費	町設置排水ポンプ及び付帯施設の電気・電灯料	6,300,000 円	修繕料	町管理排水ポンプ・ゲート修繕	1,000,000 円	11.役務費	20	手数料	廃棄物処理手数料 廃プラ、木くず類	20,000 円	12.委託料	3,599	施設設備管理委託料	河川管理委託料	3,440,000 円	その他委託料	電気保安保守点検委託料(馬田排水ポンプ)	158,400 円	13.使用料及び賃借料	300	機械借上料	仮設排水ポンプ、発電機等	300,000 円	14.工事請負費	9,900	工事請負費	河川整備工事(2箇所)	9,900,000 円	15.原材料費	50	原材料費	堰板材料代等	50,000 円	18.負担金、補助及び交付金	367	負担金	全国海岸協会負担金	30,000 円	六角川改修期成同盟会負担金	284,000 円	佐賀県治水砂防・防災協会会費	52,780 円	合 計	21,701			
節	予算額	細節	内容説明																																																																					
10.需用費	7,465	消耗品費	樋管、排水機場操作人用潮見表他	135,000 円																																																																				
		燃料費	ゲート等燃料費(混合油等)	30,000 円																																																																				
		光熱水費	町設置排水ポンプ及び付帯施設の電気・電灯料	6,300,000 円																																																																				
		修繕料	町管理排水ポンプ・ゲート修繕	1,000,000 円																																																																				
11.役務費	20	手数料	廃棄物処理手数料 廃プラ、木くず類	20,000 円																																																																				
12.委託料	3,599	施設設備管理委託料	河川管理委託料	3,440,000 円																																																																				
		その他委託料	電気保安保守点検委託料(馬田排水ポンプ)	158,400 円																																																																				
13.使用料及び賃借料	300	機械借上料	仮設排水ポンプ、発電機等	300,000 円																																																																				
14.工事請負費	9,900	工事請負費	河川整備工事(2箇所)	9,900,000 円																																																																				
15.原材料費	50	原材料費	堰板材料代等	50,000 円																																																																				
18.負担金、補助及び交付金	367	負担金	全国海岸協会負担金	30,000 円																																																																				
			六角川改修期成同盟会負担金	284,000 円																																																																				
			佐賀県治水砂防・防災協会会費	52,780 円																																																																				
合 計	21,701																																																																							
4 事業の効果	河川、準用河川等における町管理施設の適正な維持管理を実施することにより、洪水時等における円滑な排水対策に寄与することができる。																																																																							

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	8	項	6	目	1	細事業名	住宅浸水対策事業			所属	建設課 建築住宅係
目 名 称	住宅総務費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	960					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	127
	前年度当初	960	前年度最終	960					960	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			施策 5	防災対策の推進				
			第 2 節 災害に強く安全・安心な生活環境の整備			取組 1	災害に強いまちづくり				

1 目的

本町では、近年の大雨による住宅の浸水被害(床上浸水)が数多く発生している。
浸水被害を軽減及び浸水被害を未然に防ぐため、住宅嵩上げ等の浸水対策を行った住宅の所有者等に、住宅の浸水対策に要した費用の一部を補助する。

住宅地の嵩上げ補助制度の活用は、白石町内水対策プロジェクトチームが白石町流域治水対策メニューの中で水害に強い住みづくりの促進支援として長期対応することとなっている。被害対象を減少させるための対策として令和8年度以降も取り組んでいく必要がある。

2 事業内容

◆対象物件：白石町の浸水想定区域内にある令和元年8月以降に床下浸水被害を受けた既存住宅

◆事業内容：①住宅の基礎の嵩上げ(20cm以上)
②住宅の敷地の嵩上げ(20cm以上)

◆補助金額：

補助金名	事業規模	補助単価	補助金額
住宅浸水対策事業費補助金	40坪	12千円/坪	480千円

※1坪3.3㎡で算出、事業規模は補助限度額

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18. 負担金、補助及び交付金	960	補助金	住宅浸水対策事業費補助金 (2件分) 960,000 円
合 計	960		

4 事業の効果

住宅の浸水被害を軽減及び浸水被害を未然に防ぐことが期待できる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	8	項	6	目	2	細事業名	公営住宅ストック総合改善事業			所属	建設課 建築住宅係
目 名 称	住宅管理費					財 源 内 訳					
予 算 額	12,500					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	127
	前年度当初	0			前年度最終	0	5,625			6,875	新規
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 1 章	ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			施策 5	防災対策の推進			
			第 2 節	災害に強く安全・安心な生活環境の整備			取組 1	災害に強いまちづくり			

国庫財源 防災・安全社会資本整備交付金(公営住宅等ストック総合改善事業)

1 目的

本町の町営住宅は、下区中央住宅(平成24年度建設)を除き、昭和35年度から昭和61年度にかけて建設されており、建物や設備の老朽化が進行している。R6年度に改定した公営住宅等長寿命化計画に基づき、住ノ江住宅の1号棟～8号棟は建て替え9号棟～11号棟は外部改修、内部改修を計画している。9号棟～11号棟の経年による外壁の劣化に伴う剥がれ等を防止、また、宅内改修で利便性を向上するため長寿命化計画に準じて改修を行うために改修工事実施設計の委託をする。

国の交付金等を活用した委託を行うことにより、町営住宅の安全確保と長寿命化を図る。

2 事業内容

◆改修住宅の概要

住宅名	棟数	戸数	建築年度	構造	耐用年数	耐用年限
住ノ江住宅9.10.11号棟	3	15	S61年度	簡易耐火構造 2階建	45	R13年度

◆事業概要

住宅名	棟数	戸数	事業内容
住ノ江住宅9.10.11号棟	3	15	宅外宅内改修工事実施設計委託・アスベスト調査

3 予算額

節	予算額(千円)	細節	内容説明
12. 委託料	12,500	設計委託料	住ノ江住宅9～11号棟宅外宅内改修工事実施設計委託 12,500,000 円
合 計	12,500		

◆国庫補助率 45%

4 事業の効果

老朽化や居住性が低下している町営住宅の長寿命化及び良好な住環境の整備に資する。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	有	単位:千円		
款	2	項	1	目	8	細事業名	分譲住宅地整備事業			所属	建設課 施設営繕係	
目 名 称	地域づくり推進費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	357,143					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	51	
	前年度当初	20,630	前年度最終	14,168					200,000	157,143	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				施策 1	移住・定住の促進					
		第 1 節 生活基盤の充実				取組 3	住宅用地の確保					
その他の財源 公共施設整備基金繰入金												
1 目的 白石町立中学校統合再編計画により閉校となった旧福富中学校の跡地について、分譲住宅地として整備することで、移住・定住促進を図る。												
2 事業内容 分譲住宅地販売に向け、旧福富中学校跡地の造成工事を行う。												
3 予算額												
節	予算額	細 節		内容説明				摘要				
10.需用費	100	消耗品費	事務用品	100,000 円								
11.役務費	493	手数料	開発許可申請手数料	488,000 円								
			水道検査手数料	5,000 円								
12.委託料	5,400	その他委託料	農業集落排水設計業務委託	4,600,000 円								
			開発審査業務委託	800,000 円								
13.使用料及び賃借料	150	土地借上料	工事用借地料	150,000 円								
14.工事請負費	350,000	工事請負費	造成工事	337,000,000 円				R8～R10継続費				
			配水管分岐工事	4,000,000 円								
			既存付帯施設撤去工事	9,000,000 円								
21.補償補填及び賠償金	1,000	補償金	電柱移転	1,000,000 円								
合 計	357,143											
4 事業の効果 普通財産となった学校用地は遊休資産となり、公共施設の適正管理による健全な行財政運営を推進する為、分譲住宅地として売却し定住促進による流出人口の防止、新築家屋の固定資産税の増による税収の増加等が見込める。												

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	10	項	1	目	3	細事業名	フリースクール就学支援事業				所属	学校教育課 教育総務係
目 名 称	教育振興費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	860					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	135・136	
	前年度当初	前年度最終								860	新規	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 4 章 個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			施策 25	学校教育の充実				
				第 1 節 個性豊かで優れた人材の育成			取組 2	豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進				

1 目的

心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある町内の義務教育段階における児童生徒が、集団生活に適応する力を育み、学校への復帰や社会性を育成するため、民間施設のフリースクールに通う場合の経費に対する支援を行い、保護者の負担軽減を図る。

2 事業内容

町内の義務教育段階における児童生徒がフリースクールに通う場合の経費に対して、補助金を交付し保護者の負担軽減を図る。

- ・入学金 10,000円(上限) 補助率 10/10
- ・通所(通信)に係る経費(学費及び月謝等) 月額 32,000円(上限) 補助率 10/10

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18. 負担金、補助及び交付金	860	補助金	フリースクール就学支援補助金 860,000円
合 計	860		

4 事業の効果

フリースクールに通う児童生徒の保護者の負担軽減を図ることができる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	10	項	1	目	3	細事業名	学校ICT教育推進費				所属	学校教育課 学校教育係
目名称	教育振興費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	253,845					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	136	
	前年度当初	74,099	前年度最終	74,099		52,910	86,000	50,000	64,935	継 続		

第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)	第 4 章 個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】	施策 25 学校教育の充実
	第 1 節 個性豊かで優れた人材の育成	取組 1 確かな学力の育成と多様なニーズに対応した教育の推進

県費 佐賀県公立学校情報機器整備事業費補助金 地方債の名称 デジタル活用推進事業債
その他の財源 ふるさと基金繰入金

1 目的

- (1)「GIGAスクール構想」により、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する。
- (2)児童の情報活力の育成の充実及び教員の授業改善、校務の効率化により働き方改革の一層の推進を図る。

2 事業内容

- (1)GIGAスクール構想によって配置が完了した一人一台パソコン等に対するICT活用への各学校に対する支援(ICT支援業務委託)
- (2)学習用端末(chromebook)の更新を、佐賀県主導による他自治体との共同調達により実施し、スケールメリット及び幅広い視点によるニーズを網羅した確実な更新を行う。
(令和8年度学習用端末更新共同調達事業)
- (3)教職員が活用する校務用PCを更新を行い、県が目指す高度なセキュリティネットワーク環境に備える。(その他使用料)
- (4)学習用端末の更新に合わせて電子黒板を更新し、新たな端末に適合した学習環境の構築を図る。(電子黒板更新事業)

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明	
10.需用費	350	消耗品費	学校ICT周辺機器消耗品	140,000 円
		修繕料	その他周辺機器修繕料	210,000 円
11.役務費	7,206	通信運搬費	学習用端末・学校ICT機器通信料	4,718,000 円
		手数料	学習用端末ネットフィルタリング利用料 他	2,488,000 円
12.委託料	42,820	ICT支援業務委託料	ICT支援業務委託料	35,087,800 円
		機器等設定委託料	校務用パソコン更新作業業務委託	3,500,000 円
		その他委託料	小学校統合に係るICT機器等廃棄委託料 他	4,232,000 円
13.使用料及び賃借料	31,469	その他使用料	学校ICT機器リース料、システム・ソフト使用料	31,469,000 円
17.備品購入費	172,000	その他備品購入費	電子黒板更新事業	63,000,000 円
			令和8年度学習用端末更新共同調達事業	※デジタル活用推進事業債活用 109,000,000 円
合 計	253,845			

4 事業の効果

現地支援員(ICT支援員)を配置し各校間を巡回させ支援を行うことで、教員のICT指導力の向上、ICTを活用した授業展開がなされることにより、充実した学習指導につなげることができる。
また、統合再編を見据えた、学校事務の集約化・効率化を図る。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計			総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	10	項	1	目	3	細事業名	AIの活用による英語教育強化事業				所属	学校教育課 学校教育係	
目 名 称	教育振興費					財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額	12,800					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	137		
	前年度当初		0		前年度最終	15,000					12,800	0	継 続
第3次白石町総合計画				第 4 章 個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】				施策 25	学校教育の充実				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 1 節 個性豊かで優れた人材の育成				取組 1	確かな学力の育成と多様なニーズに対応した教育の推進				

その他財源: AIの活用による英語教育強化事業委託金

1 目的

「個別最適で協働的な学び」への学びの転換と、児童生徒の英語力向上のため、1人1台端末とクラウド環境の活用を推進し、新たに生成AIを活用する。「話すこと」や「書くこと」の言語活動の量を大きく増やし、その質を抜本的に改善するため、「AIの活用による英語教育強化事業」の採択を受け、実証研究を行う。

2 事業内容

○町立小中学校児童生徒の英語力向上のため、プラットフォーム(AIアプリ)を導入し、以下の目標に資する活用を行う。

- ・会話学習量の増加や言語活動の充実
- ・家庭学習におけるAI活用とその授業との連携
- ・個々の児童生徒の興味関心を踏まえた個別最適な教材生成
- ・不登校や特別な支援を要する児童生徒への活用
- ・オンライン国際交流による英語会話力の向上

○全国の先進地の視察及び外部有識者による講義を実施し、教職員を英語活用のリーダーとして育成する。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明	
07.報償費	200	謝礼及び謝金	外部有識者講師謝金	200,000 円
08.旅費	2,100	特別旅費	外部有識者旅費・先進地(自治体)視察旅費	2,100,000 円
10.需用費	3,400	消耗品費	英語リスニング用ヘッドセット、参考書購入	3,400,000 円
13.使用料及び賃借料	7,100	その他使用料	英語教育プラットフォーム利用料(AIアプリ・国際交流セッティング)	7,100,000 円
合 計	12,800			

※AIの活用による英語教育強化事業委託金(10/10)

4 事業の効果

本事業を通じ、町内小中学校児童生徒の英語力向上を図るとともに、教職員の英語指導について各種研究会などで、その成果と課題を対外的に広く普及し、県内市町を異動する教職員の広域的な教育活動の広がりにも資する。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	10	項	1	目	3	細事業名	国際教育交流事業			所属	学校教育課 学校教育係
目 名 称	教育振興費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	3,427					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	138
	前年度当初	0			前年度最終	0			3,427		新規
第3次白石町総合計画				第 4 章 個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			施策 25	学校教育の充実			
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 1 節 個性豊かで優れた人材の育成			取組 2	豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進			

1 目的

令和7年度に白石町との交流を希望、訪問いただいた韓国・全羅南道教育庁所管の和順郡教育委員会と教育交流を推進するため、職員や教員等による現地教育機関・学校等の視察、和順教育委員会との協議を行い、教育交流に関する覚書(MOU)を締結し、将来的な児童生徒の交流につなげる。

2 事業内容

○1回目訪問(事前調整・関係構築)

- ・教育交流に向けた相手国教育機関との意見交換および協議
- ・カリキュラム・ICT活用、学校運営等の教育事情の視察
- ・MOU締結に向けた内容確認および草案調整
- ・相互交流の具体的な実施方法(児童生徒交流・教職研修等)の競技

○2回目訪問(MOU正式締結・具体化)

- ・国際教育交流に関する覚書(MOU)の正式締結式の実施
- ・覚書に基づく次年度以降の交流計画の確認
- ・児童生徒交流(実地・オンライン)等の実施スケジュールの調整
- ・継続的協力関係構築に向けたフォローアップ協議

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
08.旅費	48	特別旅費	国内移動に係る旅費(江北駅～福岡空港駅) 48,000 円
12.委託料	3,379	その他委託料	国際教育交流のための海外訪問旅程企画・手配業務委託 3,379,000 円
合 計	3,427		

4 事業の効果

本視察により、相手国の教育制度や学校運営の実情、学習環境の特色を直接確認することができ、今後の交流計画の具体化に向けた的確な情報を得ることが可能となる。また、現地教育関係者との対面協議を通じて相互理解と信頼関係が深まり、覚書(MOU)締結に向けた合意形成が円滑に進むとともに、双方が協力して取り組むべき交流内容や方法がより明確化される。さらに、MOUの締結により継続的な協働体制が正式に構築され、学校間交流や教員研修など具体的な国際教育交流の推進に大きく資する。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	10	項	4	目	2	細事業名	中学校体育館空調整備費				所属	学校教育課 学校教育係
目 名 称	中学校施設整備費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	9,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	152	
	前年度当初	0			前年度最終	0			9,000	0	新規	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			施策 25	学校教育の充実			
				第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成			取組 2	豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進			

その他の財源: 振興基金繰入金

1 目的

令和9年度に中学校体育館に空調を設置することを目標に、調査・設計を行う。

2 事業内容

他市町の状況等の調査を行い、最も効率的、かつコストパフォーマンスの優れた工法を選定、その設計内容を確立する。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
12. 委託料	9,000	設計委託料	中学校体育館空調整備設計業務委託 8,000,000 円
		その他委託料	他市町及び整備工法調査業務委託 1,000,000 円
合 計	9,000		

4 事業の効果

令和9年度における確実な工事施工の準備に資する。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	10	項	4	目	4	細事業名	閉校施設管理費				所属	学校教育課 学校教育係
目 名 称	閉校施設管理費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	19,523					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	153	
	前年度当初		0		前年度最終	0				19,523	新 規	
第3次白石町総合計画				第 4 章 個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			施策 25	学校教育の充実				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 1 節 個性豊かで優れた人材の育成			取組 2	豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進				

1 目的

閉校する学校施設の適切な管理を行い、地域の安全と資産の適切な保全を図る。

2 事業内容

- ・閉校施設で維持管理に必要な光熱水費及び施設保全委託料の計上。
- ・その他閉校学校施設の整理・処分・管理等に必要な措置を実施する。
- ・電気契約を高圧から低圧に切り替えるために必要な九州電力に対する変更負担金及び学校施設内の適切な工事の実施。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
10. 需用費	100	消耗品費	管理用・清掃用消耗品費 100,000 円
	6,000	光熱水費	閉校学校施設光熱水費 6,000,000 円
11. 役務費	39	手数料	浄化槽法定検査料 39,000 円
12. 委託料	7,384	保守点検委託料	自家用電気工作物保安管理委託 303,600 円
			浄化槽清掃保守管理等委託 1,482,998 円
			浄化槽最終清掃業務委託 1,000,000 円
			消防設備保守点検業務委託 379,500 円
		施設設備管理委託料	学校施設警備委託 216,480 円
		その他委託料	閉校施設処分・管理(清掃・除草)委託料ほか 4,000,000 円
14. 工事請負費	4,000	工事請負費	低圧引き込み変更工事 4,000,000 円
18. 負担金、補助金及び交付金	2,000	負担金	九州電力高圧→低圧設備工事負担金 2,000,000 円
合 計	19,523		

4 事業の効果

閉校学校施設の適切な維持管理・変更を行うことにより、周辺地域の安全性の確保、環境維持を図りつつ、施設維持に係るコストを適正化し、もって中長期的な財政負担の軽減に資する。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円																																																																																																						
款	10	項	7	目	1	細事業名	学校給食運営費				所属	学校教育課 学校給食係																																																																																																					
目名称	運営管理費					財 源 内 訳					予算書頁																																																																																																						
予 算 額	200,873					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	170-172																																																																																																						
	前年度当初	191,253	前年度最終	185,909		1,467		21,100	500	177,806	継 続																																																																																																						
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 4 章 個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			施策 25	学校教育の充実																																																																																																									
				第 1 節 個性豊かで優れた人材の育成			取組 2	豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進																																																																																																									
1 目的						国庫 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 地方債の名称 過疎対策事業債 その他の財源 滞納繰越分																																																																																																											
給食を提供するために、必要安心安全な食材を計画的に調達し、児童・生徒の健康を支える基盤とする。																																																																																																																	
2 事業内容						町内7校(小学校6校、中学校1校)へ安心安全な給食を安定的に児童・生徒及び教職員等への給食を提供するため、市場の動向を見極めつつ計画的に食材を購入する。																																																																																																											
3 予算額																																																																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>予算額</th> <th>細節</th> <th>内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01報酬</td> <td>2,155</td> <td>非常勤職員報酬</td> <td>運営委員及び会計 2,155,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">03職員手当等</td> <td rowspan="2">787</td> <td>期末手当</td> <td>会計年度任用職員 427,000円</td> </tr> <tr> <td>勤勉手当</td> <td>会計年度任用職員 360,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">04共済費</td> <td rowspan="2">193</td> <td>職員共済組合負担金</td> <td>会計年度任用職員 188,000円</td> </tr> <tr> <td>共済組合事務負担金</td> <td>会計年度任用職員 5,000円</td> </tr> <tr> <td>07報償費</td> <td>6</td> <td>謝礼及び謝金</td> <td>薬剤師検査謝礼 6,000円</td> </tr> <tr> <td>08旅費</td> <td>72</td> <td>費用弁償</td> <td>運営委員、会年職員 72,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">10需用費</td> <td rowspan="7">50,421</td> <td>消耗品費</td> <td>コピー機カウンター料 396,000円 衛生関係消耗品 1,185,000円 事務用品 360,000円 施設用消耗品 1,943,000円</td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td>ガス代13,800,000円、ガソリン51,000円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>納付書等 77,000円</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>電力料 24,000,000円 上下水道料 6,549,000円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>施設・備品等修繕費 2,060,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						節	予算額	細節	内容説明	01報酬	2,155	非常勤職員報酬	運営委員及び会計 2,155,000円	03職員手当等	787	期末手当	会計年度任用職員 427,000円	勤勉手当	会計年度任用職員 360,000円	04共済費	193	職員共済組合負担金	会計年度任用職員 188,000円	共済組合事務負担金	会計年度任用職員 5,000円	07報償費	6	謝礼及び謝金	薬剤師検査謝礼 6,000円	08旅費	72	費用弁償	運営委員、会年職員 72,000円	10需用費	50,421	消耗品費	コピー機カウンター料 396,000円 衛生関係消耗品 1,185,000円 事務用品 360,000円 施設用消耗品 1,943,000円	燃料費	ガス代13,800,000円、ガソリン51,000円	印刷製本費	納付書等 77,000円	光熱水費	電力料 24,000,000円 上下水道料 6,549,000円	修繕料	施設・備品等修繕費 2,060,000円							<table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>予算額</th> <th>細節</th> <th>内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">11役務費</td> <td rowspan="3">1,427</td> <td>通信運搬費</td> <td>回線使用料、郵送料 409,000円</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>衛生手数料884,000円 車検59,000円</td> </tr> <tr> <td>自動車損害保険料</td> <td>配送車4台 68,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">12委託料</td> <td rowspan="3">116,512</td> <td>保守点検委託料</td> <td>施設管理等保守 7,299,000円</td> </tr> <tr> <td>施設設備管理委託料</td> <td>警備、消防等 643,000円</td> </tr> <tr> <td>その他委託料</td> <td>調理業務 108,570,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">13使用料 及び賃借料</td> <td rowspan="2">1,571</td> <td>テレビ受信料</td> <td>NHK受信料 13,000円</td> </tr> <tr> <td>その他使用料</td> <td>生ごみ機1,492,000円、コピー機66,000円</td> </tr> <tr> <td>14工事請負費</td> <td>10,250</td> <td>工事請負費</td> <td>出入口ドア改修 1,550,000円 センター内カメラ設置 8,700,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">17備品購入費</td> <td rowspan="2">15,140</td> <td>庁用器具費</td> <td>備品購入費 990,000円</td> </tr> <tr> <td>公用車購入費</td> <td>公用車、配送車購入 14,150,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">18負担金、 補助及び交付金</td> <td rowspan="2">2,237</td> <td>負担金</td> <td>県・鹿杵藤負担金 13,000円</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>町外通学者補助 2,224,000円</td> </tr> <tr> <td>22償還金 利子及び割引料</td> <td>1</td> <td>償還金</td> <td>過年度分過誤納金返還金 1,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">26公課費</td> <td rowspan="2">101</td> <td>自動車重量税</td> <td>配送車4台分 86,000円</td> </tr> <tr> <td>その他公課費</td> <td>支払督促申立手数料 15,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>200,873</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						節	予算額	細節	内容説明	11役務費	1,427	通信運搬費	回線使用料、郵送料 409,000円	手数料	衛生手数料884,000円 車検59,000円	自動車損害保険料	配送車4台 68,000円	12委託料	116,512	保守点検委託料	施設管理等保守 7,299,000円	施設設備管理委託料	警備、消防等 643,000円	その他委託料	調理業務 108,570,000円	13使用料 及び賃借料	1,571	テレビ受信料	NHK受信料 13,000円	その他使用料	生ごみ機1,492,000円、コピー機66,000円	14工事請負費	10,250	工事請負費	出入口ドア改修 1,550,000円 センター内カメラ設置 8,700,000円	17備品購入費	15,140	庁用器具費	備品購入費 990,000円	公用車購入費	公用車、配送車購入 14,150,000円	18負担金、 補助及び交付金	2,237	負担金	県・鹿杵藤負担金 13,000円	補助金	町外通学者補助 2,224,000円	22償還金 利子及び割引料	1	償還金	過年度分過誤納金返還金 1,000円	26公課費	101	自動車重量税	配送車4台分 86,000円	その他公課費	支払督促申立手数料 15,000円	合計	200,873		
節	予算額	細節	内容説明																																																																																																														
01報酬	2,155	非常勤職員報酬	運営委員及び会計 2,155,000円																																																																																																														
03職員手当等	787	期末手当	会計年度任用職員 427,000円																																																																																																														
		勤勉手当	会計年度任用職員 360,000円																																																																																																														
04共済費	193	職員共済組合負担金	会計年度任用職員 188,000円																																																																																																														
		共済組合事務負担金	会計年度任用職員 5,000円																																																																																																														
07報償費	6	謝礼及び謝金	薬剤師検査謝礼 6,000円																																																																																																														
08旅費	72	費用弁償	運営委員、会年職員 72,000円																																																																																																														
10需用費	50,421	消耗品費	コピー機カウンター料 396,000円 衛生関係消耗品 1,185,000円 事務用品 360,000円 施設用消耗品 1,943,000円																																																																																																														
		燃料費	ガス代13,800,000円、ガソリン51,000円																																																																																																														
		印刷製本費	納付書等 77,000円																																																																																																														
		光熱水費	電力料 24,000,000円 上下水道料 6,549,000円																																																																																																														
		修繕料	施設・備品等修繕費 2,060,000円																																																																																																														
節	予算額	細節	内容説明																																																																																																														
11役務費	1,427	通信運搬費	回線使用料、郵送料 409,000円																																																																																																														
		手数料	衛生手数料884,000円 車検59,000円																																																																																																														
		自動車損害保険料	配送車4台 68,000円																																																																																																														
12委託料	116,512	保守点検委託料	施設管理等保守 7,299,000円																																																																																																														
		施設設備管理委託料	警備、消防等 643,000円																																																																																																														
		その他委託料	調理業務 108,570,000円																																																																																																														
13使用料 及び賃借料	1,571	テレビ受信料	NHK受信料 13,000円																																																																																																														
		その他使用料	生ごみ機1,492,000円、コピー機66,000円																																																																																																														
14工事請負費	10,250	工事請負費	出入口ドア改修 1,550,000円 センター内カメラ設置 8,700,000円																																																																																																														
17備品購入費	15,140	庁用器具費	備品購入費 990,000円																																																																																																														
		公用車購入費	公用車、配送車購入 14,150,000円																																																																																																														
18負担金、 補助及び交付金	2,237	負担金	県・鹿杵藤負担金 13,000円																																																																																																														
		補助金	町外通学者補助 2,224,000円																																																																																																														
22償還金 利子及び割引料	1	償還金	過年度分過誤納金返還金 1,000円																																																																																																														
26公課費	101	自動車重量税	配送車4台分 86,000円																																																																																																														
		その他公課費	支払督促申立手数料 15,000円																																																																																																														
合計	200,873																																																																																																																
4 事業の効果						施設管理、調理や配送に係る業務を円滑に行い、必要な会議の開催やアレルギー対策、衛生管理を徹底することにより、安心安全な給食を毎日提供することができる。																																																																																																											

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円																																												
款	10	項	7	目	2	細事業名			学校給食材料費	所属	学校教育課 学校給食係																																										
目 名 称	学校給食費					財 源 内 訳					予算書頁																																										
予 算 額	108,150					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	172																																										
	前年度当初	106,520	前年度最終	107,520		25,685	53,368		28,471	626	継 続																																										
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 4 章 個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			施策 25	学校教育の充実																																														
			第 1 節 個性豊かで優れた人材の育成			取組 2	豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進																																														
1 目的						国庫 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 県費 学校給食費負担軽減事業費交付金 その他の財源 給食費徴収金ほか 15,471 ふるさと基金繰入金 13,000																																															
児童生徒に安全・安心で栄養バランスのとれた給食を提供するため、効率的かつ安全に給食センターを運営し、円滑な業務を遂行する。																																																					
2 事業内容																																																					
安全で衛生的な環境のもと、栄養バランスを考慮した給食を提供するため、地産地消や季節の食材を取り入れながら、安定的な給食材料の調達を行う。 また、国による「学校給食費の抜本的な負担軽減対策」に加え、町の取り組みとして、小・中学生の給食費を完全無償化とし、保護者の経済的負担の軽減を図る。																																																					
3 予算額																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>予算額</th> <th>細節</th> <th colspan="3">内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">10需用費</td> <td rowspan="5">108,150</td> <td rowspan="5">賄材料費</td> <td>児童分</td> <td>933 ×</td> <td>59,290円 =</td> <td>55,317,570円</td> </tr> <tr> <td>生徒分</td> <td>540 ×</td> <td>69,300円 =</td> <td>37,422,000円</td> </tr> <tr> <td>職員分(小)</td> <td>146 ×</td> <td>59,290円 =</td> <td>8,656,340円</td> </tr> <tr> <td>職員分(中)</td> <td>67 ×</td> <td>69,300円 =</td> <td>4,643,100円</td> </tr> <tr> <td>給食センター</td> <td>35 ×</td> <td>59,290円 =</td> <td>2,075,150円</td> </tr> <tr> <td>試食会分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>35,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>108,150</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>108,149,160円</td> </tr> </tbody> </table>						節	予算額	細節	内容説明			10需用費	108,150	賄材料費	児童分	933 ×	59,290円 =	55,317,570円	生徒分	540 ×	69,300円 =	37,422,000円	職員分(小)	146 ×	59,290円 =	8,656,340円	職員分(中)	67 ×	69,300円 =	4,643,100円	給食センター	35 ×	59,290円 =	2,075,150円	試食会分					35,000円	合計	108,150					108,149,160円						
節	予算額	細節	内容説明																																																		
10需用費	108,150	賄材料費	児童分	933 ×	59,290円 =	55,317,570円																																															
			生徒分	540 ×	69,300円 =	37,422,000円																																															
			職員分(小)	146 ×	59,290円 =	8,656,340円																																															
			職員分(中)	67 ×	69,300円 =	4,643,100円																																															
			給食センター	35 ×	59,290円 =	2,075,150円																																															
試食会分					35,000円																																																
合計	108,150					108,149,160円																																															
4 事業の効果						※令和8年度より、公立小学校の給食費において、「学校給食費の抜本的な負担軽減(実質無償化)」が開始される。 所得制限なしで1人当たり月額5200円を上限に国県が負担し、上限を超えた額については、保護者負担か、自治体負担なのかは各自治体の判断となる。 白石町教育委員会としては、小学校の給食費5,390円/月のうち、国県負担5,200円を超過した190円/月は、重点支援交付金を財源として町が負担する。 中学生分については、制度対象外のため、1・2年分の財源を重点支援交付金とし、3年生分については、町独自政策のため、町が負担する。 これにより、小中学校の給食費を完全無償化としたい。																																															
安心安全な食材を購入し、検収、調理、配送を行うことにより、安全な給食を安定的に提供することができ、もって心身ともに健やかな児童生徒の育成を図ることができる。 また、完全無償化により、国の負担軽減策とあわせて、保護者の経済的負担が一層軽減され、子育て世帯の生活の安定に寄与する。																																																					

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円		
款	10	項	1	目	2	細事業名	新しい学校づくり事業				所属	新しい学校づくり課 推進係	
目 名 称	事務局費					財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額	5,281					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	133		
	前年度当初	9,216	前年度最終	9,363				4,000	1,281	継 続			
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 4 章 個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】 第 1 節 個性豊かで優れた人材の育成				施策 25	学校教育の充実				
								取組 3	小中学校再編に関する取組				

その他の財源 ふるさと基金繰入金

1 目的

少子化による児童数の減少に伴い小学校の小規模化が進行する中で、よりよい教育環境を整えるため、白石町立小学校再編計画に基づき小学校を再編する。
令和12年度の白石地域新設小学校の開校に向けて協議し準備を進める。

2 事業内容

令和9年度の白石地域新設小学校「新しい学校づくり準備委員会」設置に向けて協議し課題整理等を行う。
また小学校再編が順次進む中、小学校再編計画の「目指す学校像」の実現に向けて、町内小学校間の共通理解や調整を図る。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明	
01 報酬	2,903	非常勤職員報酬	指導主事(会計年度任用職員)報酬	2,903,000 円
03 職員手当等	1,068	期末手当	指導主事(会計年度任用職員)期末手当	580,000 円
		勤勉手当	指導主事(会計年度任用職員)勤勉手当	488,000 円
04 共済費	270	職員共済組合負担金	指導主事(会計年度任用職員)負担金	265,000 円
		共済組合事務費負担金	指導主事(会計年度任用職員)事務費負担金	5,000 円
07 報償費	892	謝礼及び謝金	開校式出席謝金(校歌制作者)	200,000 円
		その他報償費	小学校再編会議出席謝金(白石地域4小学校、町内6小学校)	692,000 円
08 旅費	48	費用弁償	指導主事(会計年度任用職員)	24,000 円
		普通旅費	視察、研修旅費	24,000 円
10 需用費	100	消耗品費	開校式費用(花代等)、事務用品	100,000 円
合 計	5,281			

4 事業の効果

学校再編を進めることでよりよい教育環境の充実が図られる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円	
款	10	項	1	目	3	細事業名	部活動新たな環境づくり事業			所属	新しい学校づくり課 推進係
目 名 称	教育振興費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	18,160					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	136・137
	前年度当初	7,933	前年度最終	4,630			3,000		10,000	5,160	継 続
第3次白石町総合計画		第 4 章 個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】				施策 28	スポーツ・レクリエーションの振興				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 2 節 生涯学び楽しめる環境の充実				取組 1	スポーツの振興によるまちづくり				
1 目的						その他の財源 ふるさと基金繰入金					
生徒達によりよいスポーツや文化活動の環境づくりを推進し、子どもたちのスポーツや文化活動の充実を図る。											
2 事業内容											
学校及び地域の実情等を踏まえ、部活動地域展開を推進するために地域クラブやそれを統括する組織(JYACS)運営のあり方の検討、推進を行う。											
地域指導者として地域人材を活用することにより、よりよい指導体制の確立を図る。地域おこし協力隊員を任用し、クラブに関係する様々な方とつながり、よりよい環境づくりを行う。											
3 予算額											
節	予算額	細 節		内 容 説 明							
01 報酬	3,200	非常勤職員報酬		地域おこし協力隊員 報酬		3,200,000 円					
04 共済費	565	職員共済組合負担金		地域おこし協力隊員 負担金		222,000 円					
		共済組合事務費負担金		地域おこし協力隊員 事務費負担金		6,000 円					
		社会保険料		地域おこし協力隊員 社会保険料		302,000 円					
		雇用保険料		地域おこし協力隊員 雇用保険		35,000 円					
07. 報償費	8,942	講師謝金		研修会・講習会講師謝金		58,680 円					
		謝礼及び謝金		部活動・クラブ活動地域指導者謝金		8,400,000 円					
		その他報償費		部活動検討委員会、種目別会議 謝金		483,000 円					
08 旅費	1,199	費用弁償		地域おこし協力隊員 通勤		47,000 円					
		普通旅費		会議等出席旅費		52,000 円					
		特別旅費		先進地視察・研修旅費		1,100,000 円					
10 需用費	100	消耗品費		事務用品、上質紙等(チラシ、パンフレット制作)		100,000 円					
11 役務費	80	傷害保険料		部活動地域指導者傷害保険料		80,000 円					
13 使用料及び賃借料	600	その他使用料		クラブ・部活動アプリ利用料		600,000 円					
18. 負担金、補助及び交付金	3,474	補助金		日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格(スタートコーチ等)取得費補助金		235,000 円					
				地域おこし協力隊員住宅家賃補助金		700,000 円					
				地域おこし協力隊員活動補助金		565,000 円					
				認定地域クラブ活動補助金		1,974,000 円					
合 計	18,160										
4 事業の効果											
白石町にあったかたちでクラブ活動体系を確立していくことにより、子どもたちのスポーツ・文化活動の充実が図られる。											

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円	
款	10	項	1	目	3	細事業名	遠距離通学者支援事業費			所属	新しい学校づくり課 推進係
目 名 称	教育振興費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	81,632					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	138
	前年度当初	85,000	前年度最終	85,300				55,000	26,632	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			施策 25	学校教育の充実		
				第 1 節	個性豊かで優れた人材の育成			取組 3	小中学校再編に関する取組		

その他の財源 ふるさと基金繰入金

1 目的

遠距離通学となる生徒、児童の安全確保と負担軽減を目的に、スクールバス運行による通学支援を行う。

2 事業内容

スクールバスの運行を外部委託により行う。

【白石中学校】

通学距離6.5kmを基準にスクールバスによる通学支援を行う。

◆運行台数 6台(マイクロバス)

【有明小学校】

通学距離2.5kmを基準にスクールバスによる通学支援を行う。

◆運行台数 6台(マイクロバス3台、14人乗り3台)

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
10. 需用費	500	修繕費	マイクロバス修繕費 500,000 円
12. 委託料	76,428	その他委託料	白石中学校 運行委託料(6台) 39,600,000 円
			有明小学校 運行委託料(6台) 36,828,000 円
13. 使用料及び賃借料	4,704	公用車リース料	スクールバスリース料 3,604,000 円
		その他借上料	白石中学校スクールバス事務所リース料 500,000 円
			有明小学校スクールバス事務所、トイレリース料 600,000 円
合 計	81,632		

4 事業の効果

スクールバスの運行により遠距離通学生徒・児童の安全確保と負担軽減を図ることができる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位：千円	
款	10	項	4	目	3	細事業名	白石地域新設小学校施設整備費				所属	新しい学校づくり課 施設係
目 名 称	学校統合再編施設整備費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	1,368,841					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	152・153	
	前年度当初	567,403	前年度最終	584,803			1,350,000	100	18,741	継 続		
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 4 章 個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			施策 25	学校教育の充実				
				第 1 節 個性豊かで優れた人材の育成			取組 3	小中学校再編に関する取組				

地方債の名称 過疎対策事業債
その他の財源 企業版ふるさと寄附金

1 目的

少子化による児童数の減少に伴い白石町立小学校の小規模化が進行し、教育活動の格差が生じる恐れがある。児童のよりよい教育環境を整えるため、白石町立小学校再編計画に基づき、白石、六角、須古、北明小学校の4校を1校に再編する。

2 事業内容

造成に係る実施設計に基づき、小学校建設用地の地盤改良工事や盛土工事を行う。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明	備考
11. 役務費	81	手数料	開発行為変更許可申請手数料	81,000 円
12. 委託料	9,000	その他委託料	学校施設等整備事業に係る発注者支援業務委託料	9,000,000 円
13. 使用料及び賃借料	1,760	事務機器リース料	公共事業設計積算共同システム使用料	355,000 円
		土地借上料	盛土材置場借地料	763,000 円
			仮設道路借地料	642,000 円
14. 工事請負費	1,358,000	工事請負費	地盤改良工事、盛土工事等	1,358,000,000 円
合 計	1,368,841			R7～R8債務負担行為 R8～R11債務負担行為 R7～R9継続費

4 事業の効果

小学校を再編し、施設を新たに整備することで、白石町の将来を担う子どもたちにとって、よりよい教育環境を作ることができる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円		
款	10	項	4	目	3	細事業名	福富小学校施設整備費				所属	新しい学校づくり課 施設係	
目 名 称	学校統合再編施設整備費					財 源 内 訳					予算書頁		
予 算 額	56,500 前年度当初 201,000 前年度最終 207,000					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	153		
						9,046		46,900		554	継 続		
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 4 章 個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			施策 25	学校教育の充実					
				第 1 節 個性豊かで優れた人材の育成			取組 3	小中学校再編に関する取組					

国庫 学校施設環境改善交付金
地方債の名称 過疎対策事業債

1 目的

白石町立小学校再編計画に基づき、福富小学校の校舎等を改修し、施設の長寿命化と教育環境の充実を図る。

2 事業内容

令和7年度に引き続き、老朽化による危険箇所や早急に更新が必要な箇所について大規模改修を行う。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明	備考
10.需用費	500	消耗品費	用紙、トナー、事務用品等	500,000 円
14. 工事請負費	56,000	工事請負費	空調等改修工事	56,000,000 円 R7～R9継続費
合 計	56,500			

4 事業の効果

白石町の将来を担う子どもたちにとって、よりよい教育環境を作ることができる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円																																																							
款	10	項	5	目	3	細事業名	須古城跡総合調査事業費				所属	生涯学習課 生涯学習係																																																						
目 名 称	文化活動推進・文化財保護費					財 源 内 訳						予算書頁																																																						
予 算 額	30,664					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	156・157																																																							
	前年度当初	28,191	前年度最終	28,191		12,196	4,878			13,590	継 続																																																							
第3次白石町総合計画		第 4 章		個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			施策	29	郷土文化の保存伝承と芸術文化の振興																																																									
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 3 節		地域文化の伝承と新たな魅力の創出			取組	1	歴史・文化の保存、継承への取組																																																									
1 目的	<p>地域文化の育成と向上を図る。文化財の保護・活用を通して、白石町の歴史への認識を深め、郷土に対する愛着心と誇りを醸成する。</p>											国庫 県費	国宝・重要文化財等補助金 佐賀県文化財保存事業補助金																																																					
2 事業内容	<p>須古城跡の国史跡指定に向けて発掘調査。地形測量図作成等測量実測委託。須古城跡保全事業として除草等委託を実施する。</p>																																																																	
3 予算額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>予算額</th> <th>細節</th> <th>内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 報酬</td> <td>5,635</td> <td>非常勤職員報酬</td> <td>発掘調査作業員報酬、遺物整理員報酬 5,635,000円</td> </tr> <tr> <td>7. 報償費</td> <td>228</td> <td>謝礼及び謝金</td> <td>有識者会議委員謝金 228,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">8. 旅費</td> <td rowspan="2">676</td> <td>費用弁償</td> <td>発掘調査作業員(通勤手当)、調査整理作業員(通勤手当) 482,000円</td> </tr> <tr> <td>普通旅費</td> <td>須古城跡文化庁連絡旅費 76,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10. 需用費</td> <td rowspan="2">503</td> <td>特別旅費</td> <td>調査指導委員招聘、文化庁調査官指導 118,000円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>須古城跡発掘作業用品、土嚢袋 333,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">11. 役務費</td> <td rowspan="2">27</td> <td>燃料費・光熱費</td> <td>ガソリン 93,000円 ユニットハウス電気料 77,000円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費・手数料</td> <td>有識者会議通信運搬費 4,000円 仮設トイレ汲取料 23,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">12. 委託料</td> <td rowspan="2">15,940</td> <td>測量委託料</td> <td>須古城跡測量実測委託料 9,815,000円</td> </tr> <tr> <td>その他委託料</td> <td>須古城跡見学路除草委託 600,000円 須古城跡除草等委託 5,269,000円 城堀公園管理委託256,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">13. 使用料及び賃借料</td> <td rowspan="2">2,161</td> <td>土地借上料</td> <td>発掘調査に伴う土地借地料 558,000円</td> </tr> <tr> <td>その他借上料</td> <td>発掘調査作業用倉庫(プレハブ) 1,603,000円</td> </tr> <tr> <td>14. 工事請負費</td> <td>5,458</td> <td>工事請負費</td> <td>須古城跡調査発掘工事 5,458,000円</td> </tr> <tr> <td>15. 原材料費</td> <td>36</td> <td>原材料費</td> <td>須古城跡土のう用真砂土36,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>30,664</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												節	予算額	細節	内容説明	1. 報酬	5,635	非常勤職員報酬	発掘調査作業員報酬、遺物整理員報酬 5,635,000円	7. 報償費	228	謝礼及び謝金	有識者会議委員謝金 228,000円	8. 旅費	676	費用弁償	発掘調査作業員(通勤手当)、調査整理作業員(通勤手当) 482,000円	普通旅費	須古城跡文化庁連絡旅費 76,000円	10. 需用費	503	特別旅費	調査指導委員招聘、文化庁調査官指導 118,000円	消耗品費	須古城跡発掘作業用品、土嚢袋 333,000円	11. 役務費	27	燃料費・光熱費	ガソリン 93,000円 ユニットハウス電気料 77,000円	通信運搬費・手数料	有識者会議通信運搬費 4,000円 仮設トイレ汲取料 23,000円	12. 委託料	15,940	測量委託料	須古城跡測量実測委託料 9,815,000円	その他委託料	須古城跡見学路除草委託 600,000円 須古城跡除草等委託 5,269,000円 城堀公園管理委託256,000円	13. 使用料及び賃借料	2,161	土地借上料	発掘調査に伴う土地借地料 558,000円	その他借上料	発掘調査作業用倉庫(プレハブ) 1,603,000円	14. 工事請負費	5,458	工事請負費	須古城跡調査発掘工事 5,458,000円	15. 原材料費	36	原材料費	須古城跡土のう用真砂土36,000円	計	30,664		
節	予算額	細節	内容説明																																																															
1. 報酬	5,635	非常勤職員報酬	発掘調査作業員報酬、遺物整理員報酬 5,635,000円																																																															
7. 報償費	228	謝礼及び謝金	有識者会議委員謝金 228,000円																																																															
8. 旅費	676	費用弁償	発掘調査作業員(通勤手当)、調査整理作業員(通勤手当) 482,000円																																																															
		普通旅費	須古城跡文化庁連絡旅費 76,000円																																																															
10. 需用費	503	特別旅費	調査指導委員招聘、文化庁調査官指導 118,000円																																																															
		消耗品費	須古城跡発掘作業用品、土嚢袋 333,000円																																																															
11. 役務費	27	燃料費・光熱費	ガソリン 93,000円 ユニットハウス電気料 77,000円																																																															
		通信運搬費・手数料	有識者会議通信運搬費 4,000円 仮設トイレ汲取料 23,000円																																																															
12. 委託料	15,940	測量委託料	須古城跡測量実測委託料 9,815,000円																																																															
		その他委託料	須古城跡見学路除草委託 600,000円 須古城跡除草等委託 5,269,000円 城堀公園管理委託256,000円																																																															
13. 使用料及び賃借料	2,161	土地借上料	発掘調査に伴う土地借地料 558,000円																																																															
		その他借上料	発掘調査作業用倉庫(プレハブ) 1,603,000円																																																															
14. 工事請負費	5,458	工事請負費	須古城跡調査発掘工事 5,458,000円																																																															
15. 原材料費	36	原材料費	須古城跡土のう用真砂土36,000円																																																															
計	30,664																																																																	
4 事業の効果	<p>地域文化の向上と活性化を期し、ふるさと白石町の歴史に対する興味関心を醸成し、郷土に対する誇りと愛着心の向上を期待できる。</p>																																																																	

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円		
款	10	項	5	目	3	細事業名				文化活動推進・文化財保護費	所属	生涯学習課 生涯学習係
目 名 称		文化活動推進・文化財保護費				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		2,499				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	158・159	
		前年度当初	2,690	前年度最終	2,690				150	2,349	継 続	
第3次白石町総合計画			第 4 章 個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			施策 29	郷土文化の保存伝承と芸術文化の振興					
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 3 節 地域文化の伝承と新たな魅力の創出			取組 1	歴史・文化の保存、継承への取組					
											その他の財源 21世紀人づくり基金繰入金	
1 目的												
地域文化の育成と向上を図る。伝承芸能・文化財の保護・活用を通して、白石町の歴史への認識を深め、郷土に対する愛着心と誇りを醸成する。												
2 事業内容												
推進費:九州・全国大会等への出場者への助成金の交付。「歌垣の里・白石 三十一文字コンテスト」開催、杵島山の歌垣を全国にPRし、伝統文学である和歌への親しみを深める。												
保護費:開発行為と埋蔵文化財との調整・保護を図る。指定文化財の維持管理・公開を所有者(占有者)に委託。各種文化財を調査し保存と活用を図る。												
伝承芸能保存のため用具購入・修理費の助成金を交付。												
3 予算額												
節	予算額	細節		内容説明								
1. 報酬	30	委員報酬		文化財保護審議会委員報酬 30,000円								
7. 報償費	189	謝礼及び謝金		三十一文字選者謝金 60,000円								
		記念品代		三十一文字コンテスト入賞者記念品代 129,000円								
8. 旅費	246	費用弁償		文化財保護審議会委員 5,000円								
		普通旅費		職員研修 99,000円								
		特別旅費		元寇首長会議旅費、全国史跡整備市町村協議会旅費 142,000円								
10. 需用費	343	消耗品費		事務消耗品費 80,000円								
		印刷製本費		三十一文字コンテスト入賞歌集印刷製本費 113,000円								
		修繕料		文化財収蔵庫他修繕料、三十一文字コンテスト受賞作品掲示板修繕 150,000円								
11. 役務費	127	通信運搬費		三十一文字コンテスト募集要項等送料 127,000円								
12. 委託料	301	施設設備管理委託料		指定文化財維持管理委託料 225,000円								
		その他委託料		埋蔵文化財確認調査等作業委託 75,600円								
13. 使用料及び賃借料	968	機械借上料		埋蔵文化財確認調査用掘削機借上料 968,000円								
18. 負担金、補助及び交付金	295	負担金		全国史跡整備市町村協議会負担金 20,000円 元寇所縁のネットワーク首長会議負担金 25,000円								
		補助金・交付金		伝承芸能保存育成助成金 100,000円 文化振興事業激励費交付金 150,000円								
計	2,499											
4 事業の効果												
地域文化の向上と活性化を期し、ふるさと白石町の歴史に対する興味関心を醸成し、郷土に対する誇りと愛着心の向上を期待できる。												

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計	総合戦略	有	過疎計画	無	単位:千円	
款	10	項	5	目	3	細事業名	歴史文化史編さん事業費			所属	生涯学習課 町史編さん係
目 名 称	文化活動推進・文化財保護費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	6,662					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	158
	前年度当初	673	前年度最終	673					6,662	新規	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 4 章 個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			施策 29	郷土文化の保存伝承と芸術文化の振興			
				第 3 節 地域文化の伝承と新たな魅力の創出			取組 1	歴史・文化の保存、継承への取組			

1 目的

地域の歴史や文化、自然、産業、風土、人物など多方面にわたる情報を収集・整理・編さんし、「町史」という形で記録・出版する。
地域の貴重な歴史や文化の記録を後世に伝える。

2 事業内容

町史編さん・編集委員会の設置し、町史編さんに向けて事業を推進する。
調査・資料収集、資料の保存・デジタル化。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明	備考
1. 報酬	1,300	非常勤職員報酬	編さん作業員報酬 1,300,000円	
3. 職員手当等	501	期末手当・勤勉手当	編さん作業員期末手当 272,000円 編さん作業員勤勉手当 229,000円	
7. 報償費	173	謝礼及び謝金	町史編さん検討委員会委員謝礼 173,000円	
8. 旅費	88	費用弁償	編さん作業員(通勤手当) 88,000円	
10. 需用費	600	消耗品費	事務用品 600,000円	
12. 委託料	4,000	その他委託料	町史編さん制作業務 4,000,000円	R9～R15 債務負担行為
計	6,662			

4 事業の効果

地域文化の向上と活性化を期し、ふるさと白石町の歴史に対する興味関心を醸成し、郷土に対する誇りと愛着心の向上を期待できる。

区分	令和8年度 当初			会計	一般会計				総合戦略	無	過疎計画	有	単位:千円
款	10	項	6	目	1	細事業名	スポーツ人材育成補助事業費				所属	生涯学習課 生涯スポーツ係	
目 名 称	保健体育総務費					財 源 内 訳						予算書頁	
予 算 額	3,386					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	166		
	前年度当初	2,486	前年度最終	2,486				1,000	2,386	継 続			
第3次白石町総合計画				第 4 章 個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】				施策 28	スポーツ・レクリエーションの振興				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 2 節 生涯学び楽しめる環境の充実				取組 1	スポーツの振興によるまちづくり				

その他の財源 21世紀人づくり基金繰入金

1 目的

- ①社会体育の振興に資するため、九州、全国、世界的団体が主催する競技大会もしくは研究大会又は表彰式典等に出場する者に対し、激励費を交付する。
- ②町内の高等学校の部活動分野におけるスポーツの振興及び白石町のPRを図る。
- ③白石高等学校及び佐賀農業高等学校の発展と地域の活性化に資することを目的として、在学する生徒が白石町内の下宿等に居住する場合に、その生徒の保護者の経済的負担の軽減を図る。
- ④障がい者スポーツ指導者を育成し、もって町の障がい者スポーツの振興を図る。

2 事業内容

①スポーツ人材育成補助金(スポーツ振興事業激励費)	②高等学校全国大会出場助成事業
<ul style="list-style-type: none"> ・県予選大会等を経て(又は県等の団体から特に推薦があつて)、全国競技大会等に出場する資格を取得した場合に激励費を交付する。 九州大会・・・5,000円 全国大会・・・10,000円 世界大会・・・50,000円 ※ただし、同一年度内につき九州大会、全国大会及び世界大会それぞれ1回限りとする。また、団体においては九州大会10万円、全国大会及び世界大会20万円を限度とする。(R7.4.1から表記のとおり限度額改正) (白石町文化・スポーツ振興事業激励費交付要綱) 	<ul style="list-style-type: none"> ・助成の対象 白石高校及び佐賀農業高校における部活動、かつ、団体種目で、全国高等学校総合体育大会、全国高等学校野球大会、全国高等学校駅伝競走大会、又はこれに準ずる大会等に出場する場合とする。 (1)助成金の額は、大会主催者が大会要項等で定めた人員で、かつ、登録された部員の人数とする。 (2)登録部員1人当たり20,000円とし、総額20万円を限度額とする。
③高等学校生徒下宿等費用補助金	④障がい者スポーツ指導者資格取得費補助金
<ul style="list-style-type: none"> ・白石町内の下宿等から白石高校及び佐賀農業高校に通学する生徒で、佐賀県立高等学校特別選抜による入学者又はその者と同等と認められる優秀な成績を有して入学する者の保護者かつ学校徴収金を滞納していない保護者に、生徒1人につき月額20,000円を限度に支給する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象は白石町スポーツ推進委員で、初級資格を取得する経費及び毎年度の初級・中級・上級の登録料の全額を補助する。※ただし、他の制度により補助等の交付を受けた場合は、その金額を除いた額とする。

3 予算額

節	予算額	細 節	内 容 説 明	
18.負担金、補助及び交付金	3,386	補助金	①スポーツ人材育成補助金(スポーツ振興事業激励費)	1,500,000円
			②高等学校全国大会出場助成事業	600,000円
			③高等学校生徒下宿等費用補助金	1,200,000円
			④障がい者スポーツ指導者資格取得費補助金	86,000円
合 計	3,386			

4 事業の効果

スポーツ団体・個人及び町内の高等学校生徒の尚一層の育成と競技力向上を図ることができるとともに、全国に「白石町」の知名度を高めることができる。障がい者スポーツの実施にあたって一定の専門知識を有する人材の確保ができる。

区分	令和8年度 当初		会計	一般会計		総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円		
款	10	項	5	目	2	細事業名		旧有明公民館跡地整備事業			所属	生涯学習課 有明公民館係
目 名 称		公民館費				財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額		230,000				国庫	県費	地方債	その他	一般財源	156	
		前年度当初	0	前年度最終	4,500			230,000		0	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 4 章	個性豊かな人と文化を育むまち【教育文化の向上】			施策 27	生涯学習の推進				
			第 2 節	生涯学び楽しめる環境の充実			取組 1	生涯学習の推進				
											地方債の名称 過疎対策事業債	
1 目的 令和7年3月末で閉館となった旧有明公民館の跡地利用に際し、建物等の解体を行うため。												
2 事業内容 旧有明公民館の解体を行う。												
3 予算額												
		節	予算額	細節		内容説明						
14.		工事請負費	230,000	工事請負費		旧有明公民館解体工事費 230,000,000円						
		合 計	230,000									
4 事業の効果 旧有明公民館を解体することにより、跡地利用をスムーズに実施することができる。												
※旧有明公民館解体工事 事業スケジュール												
令和7年10月15日～11月30日		旧有明公民館アスベスト含有分析調査委託										
令和8年1月～		旧有明公民館解体費設計業務委託										
令和8年8月～		旧有明公民館解体工事、整地										
令和9年度		旧有明公民館跡地整備(予定)										

令和8年度 起債充当事業一覧

(単位:千円)

起債事業区分	事業名	起債充当額	備考	所属課
過疎対策事業債【ハード分】	地域創造型アスリート支援プロジェクト	55,000		総合戦略課
	認定こども園費(六角保育園施設整備費補助金)	93,000		こども課
	基盤整備促進事業(農道整備)	13,000		農村整備課
	漁港整備事業費(住ノ江漁港)	35,000		
	道路改築・修繕事業(町内一円道路)	33,000		建設課
	道路新設改良費(第一東区線)	52,000		
	道路新設改良費(新地方西部線)			
	道路新設改良費(古賀辺田線)			
	道路新設改良費(太原小島線)			
	通学路整備事業(太原本線)	68,000		
	通学路整備事業(太原上線)			
	道路メンテナンス事業(橋梁補修工事)	6,300		
	学校給食運営費(カメラ設置、配送トラック購入)	21,100		学校教育課
	白石地域新設小学校施設整備費	1,350,000		新しい学校づくり課
	福富小学校施設整備費	46,900		
	白石町総合センター管理費(音響設備改修)	9,900		生涯学習課
旧有明公民館跡地整備事業	230,000			
有明体育施設管理費(スポーツトラック購入)	8,700			
過疎対策事業債【ソフト分】	生きがい活動支援通所(デイサービス)事業	8,000		長寿社会課
	子どもの医療事業費	85,600		保健福祉課
過疎対策事業債【合計】		2,115,500		

公共事業等債	クリーク防災機能保全対策事業費	18,900		農村整備課
デジタル活用推進事業債	学校ICT環境整備事業(学習用端末共同調達、電子黒板)	86,000		学校教育課
緊急自然災害防止対策事業債	河川総務費(河川整備工事)	9,900		建設課
町債合計		2,230,300		

令和8年度 ふるさと寄附金充当事業一覧

(単位:千円)

細事業名(個別事業名)	活用メニュー	基金充当額
若年者地元定着促進事業(がんばる高校生交付金)	活気と魅力ある豊かなまちづくり	125
結婚新生活支援事業	活気と魅力ある豊かなまちづくり	2,500
住まいる”しろいし”応援事業	活気と魅力ある豊かなまちづくり	20,000
企業誘致対策推進費	活気と魅力ある豊かなまちづくり	3,000
社会福祉協議会補助金	活気と魅力ある豊かなまちづくり	10,000
老人クラブ活動等社会活動推進事業費	活気と魅力ある豊かなまちづくり	2,000
しろいし農業塾	活気と魅力ある豊かなまちづくり	1,000
白石町良質米生産事業	活気と魅力ある豊かなまちづくり	1,000
スマート農業機械導入推進事業	活気と魅力ある豊かなまちづくり	3,000
畜産経営安定支援事業	活気と魅力ある豊かなまちづくり	1,000
しろいしブランド確立対策事業	活気と魅力ある豊かなまちづくり	2,000
住民協働・道路等環境整備事業費	活気と魅力ある豊かなまちづくり	15,000
私立保育園費	子どもたちが健やかに育つまちづくり	50,000
認定こども園費	子どもたちが健やかに育つまちづくり	50,000
学童保育事業費	子どもたちが健やかに育つまちづくり	10,000
地域子育て支援事業	子どもたちが健やかに育つまちづくり	4,000
ひとり親家庭等医療助成費	子どもたちが健やかに育つまちづくり	3,000
外国青年語学指導助手(ALT)設置費	子どもたちが健やかに育つまちづくり	10,000
教育支援室事業	子どもたちが健やかに育つまちづくり	4,000
白石町教育育成事業費	子どもたちが健やかに育つまちづくり	2,000
学校ICT教育推進費	子どもたちが健やかに育つまちづくり	50,000
中3給食費無償化分、無償化に伴う補助金	子どもたちが健やかに育つまちづくり	13,000
新しい学校づくり事業	子どもたちが健やかに育つまちづくり	4,000
部活動新たな環境づくり事業	子どもたちが健やかに育つまちづくり	10,000

細事業名(個別事業名)	活用メニュー	基金充当額
遠距離通学者支援事業費	子どもたちが健やかに育つまちづくり	55,000
敬老の日記念事業費	高齢者や障がい者(児)にやさしいまちづくり	10,000
障害者自立支援給付費	高齢者や障がい者(児)にやさしいまちづくり	60,000
障害児通所支援給付費	高齢者や障がい者(児)にやさしいまちづくり	20,000
重度心身障害者医療給付費	高齢者や障がい者(児)にやさしいまちづくり	20,000
食の自立支援事業費	高齢者や障がい者(児)にやさしいまちづくり	4,000
日中一時支援事業費(地域生活支援事業)	高齢者や障がい者(児)にやさしいまちづくり	1,000
相談支援事業費(地域生活支援事業)	高齢者や障がい者(児)にやさしいまちづくり	7,000
防災費	使途(使い道)については白石町におまかせします	8,000
防災施設維持費	使途(使い道)については白石町におまかせします	3,000
食育推進事業費	使途(使い道)については白石町におまかせします	1,000
浄化槽整備推進事業費	使途(使い道)については白石町におまかせします	15,000
道の駅しろいし推進事業費	使途(使い道)については白石町におまかせします	15,000
観光費	使途(使い道)については白石町におまかせします	20,000
幹線水路維持管理事業費(農業水利施設等整備事業補助金)	使途(使い道)については白石町におまかせします	3,000
若年者地元定着促進事業	クラウドファンディング分	375
合 計		513,000

令和8年度地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費及びその他社会保障施策に要する経費

平成26年及び令和元年に消費税率(国・地方)が引き上げられたことに伴う地方消費税交付金の増収部分は、その用途を明確化し、社会保障4経費及びその他社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。

(歳入) 地方消費税交付金(社会保障財源化分) 325,930 千円
 (歳出) 社会保障4経費及びその他社会保障施策に要する経費 4,709,241 千円

(単位:千円)

事業名	経費 (予算額)	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国県支出金	町債	その他	引上げ分の地方消費税(社会保障財源化分の市町村交付金)	その他
社会福祉事業	41,265	8,856	0	11,129	2,856	18,424
障害者福祉事業	1,177,600	843,411	0	113,035	81,503	139,651
老人福祉事業	134,566	3,399	8,000	78,280	9,313	35,574
児童福祉事業	1,740,781	1,304,631	93,000	126,900	120,481	95,769
子ども・子育て支援事業	129,907	75,098	0	25,243	8,991	20,575
国民健康保険事業	154,767	101,473	0	0	10,712	42,582
介護保険事業	454,935	13,655	0	0	31,486	409,794
後期高齢者医療事業	531,158	98,112	0	0	40,021	393,025
子どもの医療事業	108,670	15,967	85,600	101	4,262	2,740
保健衛生事業	101,680	19,334	9,900	19,933	7,037	45,476
疾病予防事業	133,912	3,884	0	2,761	9,268	117,999
合計	4,709,241	2,487,820	196,500	377,382	325,930	1,321,609

区分	令和8年度 当初			会計	国民健康保険特別会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	1	項	1	目	1	細事業名	(歳入)国民健康保険税			所属	住民課 保険係
目 名 称	一般被保険者国民健康保険税					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	777,117					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	7
	前年度当初	734,930	前年度最終	779,630					777,117	継 続	
第3次白石町総合計画				第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 18	社会保障制度の適正な運用			
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 4 節 社会保障の充実			取組 1	国民健康保険制度の健全な運営			

1 目的

国民健康保険税は、国民健康保険を運営するために必要な費用(納付金)に充てるため、被保険者の属する世帯の世帯主に対して賦課する税であり分類上は地方税、直接税、目的税に該当する。現在、被保険者相互扶助のための医療給付費分、後期高齢者の負担を軽減するための後期高齢者支援金分、介護保険制度運営のための介護納付金分の3区分で賦課されている。

また、子ども・子育て支援法により、新たに令和8年度から毎年度、子ども・子育て支援納付金を徴収する。

2 事業内容

県の推計による被保険者数・世帯数・所得をもとに、国民健康保険税(医療給付費分・後期高齢者支援金分・介護納付金分)を賦課する。

3 予算額

節	予算額	細 節	内容説明				
			積算合計①	保険税軽減分②	収納率③	端数調整④	計 (①-②×③-④)
1.医療給付費分現年課税分	524,480	医療給付費分現年課税分	765,150,800円	220,511,652円	96.30%	7,500円	524,480,000円
2.後期高齢者支援金分現年課税分	159,660	後期高齢者支援金分現年課税分	214,505,679円	48,703,370円	96.30%	7,624円	159,660,000円
3.介護納付金分現年課税分	56,030	介護納付金分現年課税分	83,756,461円	25,568,415円	96.30%	5,088円	56,030,000円
4.子ども・子育て支援納付金分現年課税分	16,857	子ども・子育て支援納付金分現年課税分	16,856,900円	-	-	-	16,856,900円
5.医療給付費分滞納繰越分	13,990	医療給付費分滞納繰越分	46,647,261円	-	30.00%	4,178円	13,990,000円
6.後期高齢者支援金分滞納繰越分	4,100	後期高齢者支援金分滞納繰越分	13,693,221円	-	30.00%	7,966円	4,100,000円
7.介護納付金分滞納繰越分	2,000	介護納付金分滞納繰越分	6,676,904円	-	30.00%	3,071円	2,000,000円
合 計	777,117						

区分	令和8年度 当初			会計	国民健康保険特別会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円		
款	2	項	1	目	1	細事業名	一般被保険者療養給付費			所属	住民課 保険係	
目 名 称	一般被保険者療養給付費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	2,135,927					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	11	
	前年度当初 2,131,162 前年度最終 2,041,162						2,135,927			0	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 18	社会保障制度の適正な運用				
				第 4 節 社会保障の充実			取組 1	国民健康保険制度の健全な運営				

1 目的

国民健康保険に基づき、被保険者の疾病、負傷に関して必要な保険給付を行うことにより、地域住民の医療を保障し、住民の福祉増進に寄与する。

2 事業内容

一般被保険者が疾病、負傷のために保険医療機関または、保険薬局で現物給付として行う療養の給付等に要する経費から、一般被保険者の一部負担金に相当する額を控除した額を医療機関に支払う。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18. 負担金、補助 及び交付金	2,135,927	負担金	一般被保険者療養給付費 2,135,927,000 円
合 計	2,135,927		

財源	
普通交付金	2,135,927

4 事業の効果

被保険者の福祉増進に寄与する。

区分	令和8年度 当初			会計	国民健康保険特別会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	3	項	1	目	1	細事業名	国民健康保険事業費納付金 (一般被保険者医療給付費分)			所属	住民課 保険係
目 名 称	一般被保険者医療給付費分					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	699,997					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	12・13
	前年度当初	755,729	前年度最終	774,267			40,369		107,065	552,563	継 続
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 2 章	健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】	施策 18	社会保障制度の適正な運用				
				第 4 節	社会保障の充実	取組 1	国民健康保険制度の健全な運営				

その他の財源 一般会計繰入金(保険基盤安定繰入金他)

1 目的

平成30年度からの国保県広域化により、佐賀県の国保特別会計から交付される保険給付費等交付金の交付に要する費用その他国保事業に要する費用に充てるため、県内市町は事業費納付金として県に納付しなければならない。

2 事業内容

保険税収納必要額(医療給付費－公費等による収入額)を市町ごとの医療費水準と所得水準等で按分し決定される。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
18. 負担金、補助及び交付金	699,997	負担金	一般被保険者医療給付費分納付金 699,997,000 円
合 計	699,997		

財源		
県費	保険者努力支援分	8,892
	特別調整交付金分	21,154
	県繰入金(2号分)	10,323
その他 (繰入金)	保険基盤安定繰入金(保険税軽減分)	54,446
	保険基盤安定繰入金(保険者支援分)	40,638
	財政安定化支援事業繰入金	9,398
	未就学児均等割保険税繰入金	1,943
	産前産後保険税繰入金	640

4 事業の効果

県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営が図られる。

区分	令和8年度 当初	会計	国民健康保険特別会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円			
款	4	項	2	目	1	細事業名	特定健康診査	所属	住民課 保険係		
目 名 称	特定健康診査等事業費					財 源 内 訳			予算書頁		
予 算 額	21,587					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	15
	前年度当初	22,827	前年度最終	20,527		20,785			802	継 続	
第3次白石町総合計画		第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 16	保健体制の充実					
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)		第 3 節 保健・医療体制の充実			取組 2	主体的な健康づくりの推進					

1 目的

高齢者の医療の確保に関する法律により、平成20年4月から医療保険者に対し、40歳～74歳の被保険者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための特定健康診査の実施が義務付けられたため、健診を実施し、生活習慣病予防を図る。

2 事業内容

対象者	40歳～74歳の国民健康保険被保険者				
健診項目	基本的な健診項目	既往歴調査、自覚・他覚症状の有無検査、身長、体重、腹囲、BMI測定、血圧、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査、尿検査			
	詳細な健診項目	貧血検査、心電図検査、眼底検査、血清クレアチニン検査（医師の判断による）			
健診費用	基本的な健診項目	集団健診:7,000円	個別健診:8,448円	左記金額から自己負担額1,000円を差引いた額を公費負担	
	詳細な健診項目	集団健診・個別健診	貧血:242円	心電図:1,430円	眼底:1,232円
	自己負担額	集団健診:1,000円	個別健診:1,000円		

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明
7. 報償費	85	その他報償費	検診通知発送事務 85,000円
10. 需用費	624	消耗品費	未受診者勧奨はがき、トナー、その他事務用品 61,000円
			未受診者採尿キット等医師会支払分 270,000円
		印刷製本費	受診勧奨用窓あき封筒 142,000円 住民健診ガイドブック、受診券 151,000円
11. 役務費	1,492	通信運搬費	受診票・受診券送付通知、未受診者勧奨通知 811,000円 結果通知・料金後納・受取人払い郵便 130,000円
		手数料	データ管理業務手数料 551,000円
12. 委託料	19,107	その他委託料	集団健診 6,191,000円
			ドック、個別健診 7,418,208円
			詳細な健診、二次健診、ヘルスサポート事業 1,280,790円
			特定健診実施率向上対策事業(事務費含む) 4,216,300円
13. 使用料及び賃借料	169	その他使用料	健診会場施設使用料、データヘルス支援ツール 119,000円
		その他借上料	健診会場用品リース料 50,000円
18. 負担金、補助金及び交付金	110	負担金	保険者データヘルス計画支援システム負担金 110,000円
合 計	21,587		

財源	
保険者努力支援分	4,352
県繰入金(2号分)	9,889
特定健康診査等負担金	6,544

4 事業の効果

健康に関する理解と関心を深め、将来の生活習慣病を予防することにつながる。

区分	令和8年度 当初		会計	国民健康保険特別会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円		
款	4	項	2	目	1	細事業名			特定保健指導	所属	住民課 保険係
目 名 称	特定健康診査等事業費					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	12,239					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	15・16
	前年度当初	7,521	前年度最終	5,851			12,239			0	継 続
第3次白石町総合計画			第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 16	保健体制の充実				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 3 節 保健・医療体制の充実			取組 2	主体的な健康づくりの推進				
1 目的											
高齢者の医療の確保に関する法律により、平成20年4月から医療保険者に対し、40歳～74歳の被保険者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための特定保健指導の実施が義務付けられ、特定健康診査で得られたデータを用い、特定保健指導対象者を選定し、生活習慣病予防のための保健指導を実施する。併せて糖尿病性腎症重症化予防事業、重症化予防事業も実施。											
2 事業内容											
対象者		40歳～74歳の国民健康保険被保険者で、特定健康診査の結果、健康の保持に努める必要があると選定した者									
特定保健 指導内容	動機付け支援	特定健康診査の結果及び生活習慣の状況に関する調査結果を踏まえ、面接による支援から3～6か月経過後の実績評価を行う。									
	積極的支援	特定健康診査の結果及び生活習慣の状況に関する調査結果を踏まえ、面接による支援及び行動計画の進捗状況に関する中間評価、3～6か月経過後の実績評価を行う。									
糖尿病性腎症重症化予防事業		糖尿病が重症化するリスクの高い医療機関未受診者・治療中断者、糖尿病で通院する患者のうち、腎症が重症化するリスクの高い者への保健指導									
重症化予防事業		重篤な疾患のリスクを悪化させないことを目的とした保健指導									
3 予算額											
節	予算額	細節	内容説明								
1. 報酬	7,579	非常勤職員報酬	会計年度任用職員保健師・管理栄養士報酬 7,579,000円								
3. 職員手当等	2,549	期末手当	会計年度任用職員期末手当 1,384,000円								
		勤勉手当	会計年度任用職員勤勉手当 1,165,000円								
4. 共済費	560	職員共済組合負担金	共済組合負担金 540,000円								
		共済組合事務費負担金	事務費負担金 20,000円								
7. 報償費	326	その他報償費	保健指導及び重症化予防業務 326,000円								
8. 旅費	396	費用弁償	会計年度任用職員通勤手当 396,000円								
10. 需用費	461	消耗品費	保健指導用消耗品、事務用品 365,000円								
			保健指導用書籍、パンフレット 96,000円								
11. 役務費	64	通信運搬費	特定保健指導・重症化予防通知 52,000円								
		手数料	データ管理業務手数料 10,000円								
		傷害保険料	保健師等(随時勤務)傷害保険料 2,000円								
12. 委託料	76	その他委託料	動機付け支援、積極的支援 76,000円								
13. 使用料及び賃借料	168	その他使用料	特定保健指導用ソフト使用料 36,000円								
			体成分分析器リース料 132,000円								
17. 備品購入費	60	その他備品購入費	血圧計購入費 60,000円								
合 計	12,239										
4 事業の効果 保健指導により、健康な生活習慣の重要性に対する理解と関心を深め、生活習慣見直しのきっかけとなり、生活習慣病を予防することにつながる。											

財源	
保険者努力支援分	4,114
県繰入金(2号分)	7,127
特定健康診査等負担金	998

区分	令和8年度 当初			会計	後期高齢者医療特別会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円	
款	2	項	1	目	1	細事業名	後期高齢者医療広域連合納付金			所属	住民課 保険係
目 名 称	広域連合納付金					財 源 内 訳					予算書頁
予 算 額	545,345					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	9
	前年度当初	439,938	前年度最終	450,261				545,345	0	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 18	社会保障制度の適正な運用			
				第 4 節 社会保障の充実			取組 3	後期高齢者医療制度の充実			

その他の財源 保険料、事務費繰入金
保険基盤安定負担金 延滞金

1 目的

後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律により、国民の共同連帯の理念に基づき高齢者の適切な医療の給付等を行い、国民保健の向上及び高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。

2 事業内容

町は、後期高齢者医療制度の事務を処理する特別会計の設置、広域連合の経費負担、保険基盤安定制度の負担、保険料の徴収と広域連合への納付、被保険者の資格・給付等に関する申請・届出の受付などを行う。

3 予算額

節	予算額	細節	内容説明	
18. 負担金、補助及び交付金	545,345	負担金	特別徴収保険料	243,912,000 円
			普通徴収保険料	148,777,000 円
			過年分保険料	1,425,000 円
			広域連合共通費一般会計分	7,316,000 円
			広域連合共通費特別会計分	13,098,000 円
			保険基盤安定負担金	130,816,000 円
			延滞金	1,000 円
合 計	545,345			

4 事業の効果

後期高齢者医療制度の円滑な運営に寄与する。

区分	令和8年度 当初		会計	後期高齢者医療特別会計	総合戦略	無	過疎計画	無	単位:千円			
款	3	項	1	目	1	細事業名			高年齢者の保健事業と介護予防の 一体的実施事業	所属	住民課 保険係	
目 名 称	疾病予防費					財 源 内 訳				予算書頁		
予 算 額	11,360					国庫	県費	地方債	その他	一般財源	10	
	前年度当初	9,850	前年度最終	10,835					11,360	0	継 続	
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 2 章 健やかで安心できるやさしいまち【保健・福祉の充実】			施策 18	社会保障制度の適正な運用					
			第 4 節 社会保障の充実			取組 3	後期高齢者医療制度の充実					
						その他の財源 後期高齢者の保健事業と介護予防の一体的 実施事業委託料						
1 目的												
人生100年時代を見据え、高齢者の健康増進を図り、できる限り健やかに過ごせる社会としていくため、高齢者一人ひとりに対して、きめ細やかな保 健事業と介護予防を実施する。												
2 事業内容												
佐賀県後期高齢者医療広域連合からの委託に基づき、白石町が受託して、高齢者の健康の保持増進のための事業を実施する。 健康課題等の分析を行い、医療関係団体等への情報共有や後期高齢者医療、国民健康保険、介護保険等の庁内関係部局で相互に連携し実施する。 ・被保険者に対する個別的支援(ハイリスクアプローチ) 生活習慣病の重症化予防・健康状態が不明な高齢者等に対するアウトリーチ支援 ・通いの場等への積極的な関与等(ポピュレーションアプローチ) 健康教育・健康相談												
3 予算額												
節	予算額	細 節		内 容 説 明								
1. 報酬	2,995	非常勤職員報酬		保健師報酬	1,497,000円							
				管理栄養士報酬	1,498,000円							
3. 職員手当等	1,138	期末手当		会計年度任用職員期末手当	618,000円							
		勤勉手当		会計年度任用職員勤勉手当	520,000円							
4. 共済費	292	職員共済組合負担金		会計年度任用職員共済組合負担金	282,000円							
		共済組合事務費負担金		会計年度任用職員共済組合事務費負担金	10,000円							
8. 旅費	75	費用弁償		会計年度任用職員通勤手当	75,000円							
10. 需用費	315	消耗品費		血压健康手帳、トナー、事務用品	268,000円							
		燃料費		公用車ガソリン代	47,000円							
11. 役務費	44	通信運搬費		通知発送用郵送料	44,000円							
13. 使用料及び賃借料	301	公用車リース料		公用車リース料	301,000円							
27. 繰出金	6,200	一般会計繰出金		企画・調整担当保健師人件費相当額(上限額)	6,200,000円							
計	11,360											
4 事業の効果												
高齢者の健康増進を図り、できる限り健やかに過ごせる社会を作ることに寄与する。												

区分	令和8年度 当初			会計	下水道事業会計	総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円		
款	4	項	1	目	1	細事業名	農業集落排水機能強化事業				所属	生活環境課 下水施設係
目 名 称	建設改良費					財 源 内 訳					予算書頁	
予 算 額	120,732					国庫	県費	地方債	その他	損益勘定留保資金	39・40	
	前年度当初	16,916	前年度最終	15,541		55,950		44,600	20,182	0	継 続	
第3次白石町総合計画				第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】			施策 4	上下水道の整備				
(人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)				第 1 節 生活基盤の充実			取組 2	下水道施設の計画的な整備				
1 目的												
農業集落排水施設について、経年劣化による施設の摩耗及び腐食の対策等の機能強化事業を実施し、施設の長寿命化及び集約化による効率的な運営を図る。												
2 事業内容												
住ノ江地区、牛屋東分地区の管路施設改修を新規事業として取り組むための事業計画概要書及び最適化整備構想の作成。												
◎ 年度別事業費見込額												
		R8事業費	R9事業費	R10事業費	R11以降事業費							
下区地区		89,500	7,600	89,500	485,400							
住ノ江地区		7,800	13,500	69,500	326,000							
牛屋東分地区		15,000	7,800	25,000	8,300							
計		112,300	28,900	184,000	819,700							
3 予算額												
節	予算額	内容説明	財 源 内 訳									
			国庫補助金	地方債	負担金	出資金						
02. 給料	3,249	給料(1名分)			3,249							
03. 手当	1,400	住居手当、時間外勤務手当等			1,400							
04. 賞与引当金繰入金	550	賞与、法定福利費引当金繰入額			550							
05. 法定福利費	1,573	職員共済組合、退職手当組合負担金			1,573							
09. 備用品費	250	書籍購入他				250						
10. 燃料費	130	公用車ガソリン代				130						
13. 光熱水費	687	庁舎電気料、水道料				687						
14. 修繕費	100	公用車修繕費				100						
18. 通信運搬費	241	庁舎電話料、郵送料				241						
19. 手数料	20	公用車車検手数料				20						
20. 保険料	40	公用車保険料				40						
21. 委託料	32,300	設計書、計画概要書、最適化整備構想作成委託	15,950	4,700		11,650						
22. 使用料及び賃借料	180	積算システム使用料等				180						
23. 工事請負費	80,000	下区地区機能強化工事	40,000	39,900		100						
30. 公課費	12	重量税、印紙代				12						
合 計	120,732		55,950	44,600	6,772	13,410						
4 事業の効果												
施設の長寿命化により事業の効率的な運営を図れる。												

地方債の名称 下水道事業債 22,300
過疎対策事業債 22,300
その他の財源 一般会計負担金 6,772
一般会計出資金 13,410

区分	令和8年度 当初		会計	下水道事業会計		総合戦略	有	過疎計画	有	単位:千円																					
款	4	項	1	目	1	細事業名		特定環境公共下水道施設整備事業			所属	生活環境課 下水施設係																			
目 名 称		建設改良費				財 源 内 訳					予算書頁																				
予 算 額		12,000				国庫	県費	地方債	その他	損益勘定留保資金	40																				
		前年度当初	15,000	前年度最終	45,500	6,000		5,900	100	0	継 続																				
第3次白石町総合計画 (人と大地がうるおい輝く豊穡のまち)			第 1 章 ゆとりある快適な住みよいまち【町の基盤整備】				施策 4	上下水道の整備																							
			第 1 節 生活基盤の充実				取組 2	下水道施設の計画的な整備																							
1 目的						地方債の名称 下水道事業債 3,000 過疎対策事業債 2,900 その他の財源 一般会計出資金																									
<p>下水道の整備を行うことにより生活環境の改善と公共用水域の水質保全及び公衆衛生の向上に寄与する。 経年劣化による浄化センター設備等の摩耗及び腐食対策等の機能強化事業を実施し、施設の長寿命化による効率的な運営を図るため、実施設計及び更新工事を行う。</p>																															
2 事業内容																															
白石浄化センターのストックマネジメント実施計画に伴い、膜処理ユニット等の更新を行うため、実施設計及び更新工事を行う。																															
3 予算額																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>節</th> <th>予算額</th> <th>細節</th> <th colspan="2">内容説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21. 委託料</td> <td>7,000</td> <td>委託料</td> <td>ストックマネジメント実施設計委託料</td> <td>7,000,000円</td> </tr> <tr> <td>23. 工事請負費</td> <td>5,000</td> <td>工事請負費</td> <td>ストックマネジメント工事請負費</td> <td>5,000,000円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>12,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												節	予算額	細節	内容説明		21. 委託料	7,000	委託料	ストックマネジメント実施設計委託料	7,000,000円	23. 工事請負費	5,000	工事請負費	ストックマネジメント工事請負費	5,000,000円	合 計	12,000			
節	予算額	細節	内容説明																												
21. 委託料	7,000	委託料	ストックマネジメント実施設計委託料	7,000,000円																											
23. 工事請負費	5,000	工事請負費	ストックマネジメント工事請負費	5,000,000円																											
合 計	12,000																														
4 事業の効果																															
処理施設の長寿命化を行うことで、下水道処理施設の機能を維持することができる。																															